

# 火災の実態について

(平成27年中)

消防庁予防課



# 目 次

## 第 一 章 住宅火災の実態について

<b>1 序 説</b>	2
<b>2 住宅火災出火件数</b>	3
(1) 建物火災のうち住宅火災の件数	3
(2) 発火源別火災件数	4
(3) 着火物別火災件数	5
(4) 出火箇所別火災件数	6
(5) 建物構造別火災件数	7
(6) 時間帯別火災件数	8
(7) 月別火災件数	9
(8) 都道府県別火災件数	10
<b>3 住宅火災による死者数</b>	13
(1) 建物火災による死者のうち住宅火災による死者数	13
(2) 発火源別死者数	14
(3) 着火物別死者数	16
(4) 出火箇所別死者数	17
(5) 建物構造別死者数	18
(6) 時間帯別死者数	19
(7) 月別死者数	20
(8) 都道府県別死者数	21
(9) 年齢別死者数	24
(10) 階別死者数	26
(11) 死に至った経過別死者数（年齢別）	27
(12) 死に至った経過別死者数（タイプ別）	29
(13) 発火源と出火箇所の関係	31
(14) 発火源と着火物の関係	32
(15) 出火箇所と着火物の関係	33
<b>4 住宅火災による負傷者数</b>	34
(1) 建物火災による負傷者のうち住宅火災による負傷者数	34
(2) 発火源別負傷者数	35
(3) 着火物別負傷者数	36
(4) 出火箇所別負傷者数	37
(5) 建物構造別負傷者数	38
(6) 時間帯別負傷者数	39
(7) 月別負傷者数	40
(8) 都道府県別負傷者数	41
<b>5 3名以上の死者が発生した住宅火災</b>	44
<b>参考資料</b>	45



## 第二章 火災による死者の実態について

<b>1 序 説</b>	52
<b>2 火災による死者全体の実態について</b>	53
(1) 出火件数と火災による死者数の推移	53
(2) 都道府県別の死者発生状況	54
(3) 月別の死者発生状況	58
(4) 時間帯別の死者発生状況	59
(5) 火災種別ごとの死者発生状況	60
(6) 建物用途別、階層別の死者発生状況	61
(7) 建物構造別の死者発生状況	62
(8) 建物用途別、構造別の火災発生件数、死者発生状況	64
(9) 防火対象物政令用途区分別の死者発生状況	67
(10) 年齢別、性別の死者発生状況	71
(11) 1件で3人以上の死者を出した火災	72
(12) 出火原因別の死者発生状況	75
<b>3 放火自殺者を除いた死者の実態について</b>	76
(1) 放火自殺者を除いた月別の死者発生状況	76
(2) 放火自殺者を除いた時間帯別の死者発生状況	77
(3) 放火自殺者を除いた火災種別ごとの死者発生状況	78
(4) 放火自殺者を除いた建物用途別、階層別の死者発生状況	79
(5) 放火自殺者を除いた建物構造別の死者発生状況	80
(6) 放火自殺者を除いた建物用途別、構造別の死者発生状況	82
(7) 死因別の死者発生状況	83
(8) 死に至った経過と年齢別の死者発生状況	84
(9) 高齢者、身体不自由者等の建物用途別、階層別の死者発生状況	89
<b>4 放火自殺者の実態について</b>	90
(1) 放火自殺者の火災種別ごとの死者発生状況	90
(2) 放火自殺者の月別、時間帯別の死者発生状況	91
(3) 放火自殺者の年齢別、性別の死者発生状況	93
<b>参考資料</b>	94



## 第一章

# 住宅火災の実態について





## 1 序 説

平成27年中の建物火災は22,197件(放火の1,848件を含む。)(前年比1,444件減)発生し、全火災の56.8%(前年54.0%)を占めている。さらに、放火を除いた建物火災20,349件(前年比1,271件減)のうち、住宅火災は11,102件(放火を除く。)(前年比753件減)で54.6%(前年54.8%)を占めている。

死者については、建物火災による死者の1,086人(放火自殺者等134人を除く。)(前年比41人減)のうち914人(放火自殺者等106人を除く。)(前年比92人減)(84.2%)(前年89.3%)、また、負傷者については建物火災による負傷者の5,060人(放火による340人を除く。)(前年比114人減)のうち3,483人(放火による234人を除く。)(前年比164人減)(68.8%)(前年70.5%)を住宅火災が占めている。

この資料は、火災による死者等の調査のうち、特に住宅火災について分析したものであり、今後の住宅防火対策推進に係る広報資料として活用願うために作成したものである。

なお、資料中の「住宅」とは火災報告取扱要領の一般住宅、共同住宅、併用住宅の総称である。また、「放火を除く。」とは、火災報告取扱要領の出火原因の経過中91「放火」に分類されるものを除いたものであり、「放火自殺者等を除く。」とは、火災による死者の調査表の「放火自殺者(心中の道づれを含む。）」、「放火自殺者の巻添者」及び「放火殺人の犠牲者」を除く総称である。

[概要表]

(平成27年中)

	火災件数(件)	死者数(人)	負傷者数(人)
全火災	39,111 (35,078)	1,563 (1,204)	6,309 (5,827)
建物火災	22,197 (20,349)	1,220 (1,086)	5,400 (5,060)
住宅火災	12,097 (11,102)	1,020 (914)	3,717 (3,483)
一般住宅火災	7,811 (7,259)	802 (716)	2,475 (2,305)
共同住宅火災	3,774 (3,365)	190 (172)	1,107 (1,050)
併用住宅火災	512 (478)	28 (26)	135 (128)
住宅以外の建物火災	10,100 (9,247)	200 (172)	1,683 (1,577)
建物火災以外の火災	16,914 (14,729)	343 (117)	909 (767)

- (注) 1 火災件数及び負傷者数における( )内の数値は、放火を除いた数値である。  
 2 死者数における( )内の数値は、放火自殺者等を除いた数値である。  
 3 合計欄の値が四捨五入により各値の合計と一致しない場合がある。以下、本章及び第2章において同じ。

## 2 住宅火災出火件数

### (1) 建物火災のうち住宅火災の件数

建物火災件数(放火を除く。)は20,349件(前年比1,271件減)で、そのうち住宅火災が11,102件(前年比753件減)(54.6%)(前年54.8%)を占めている。

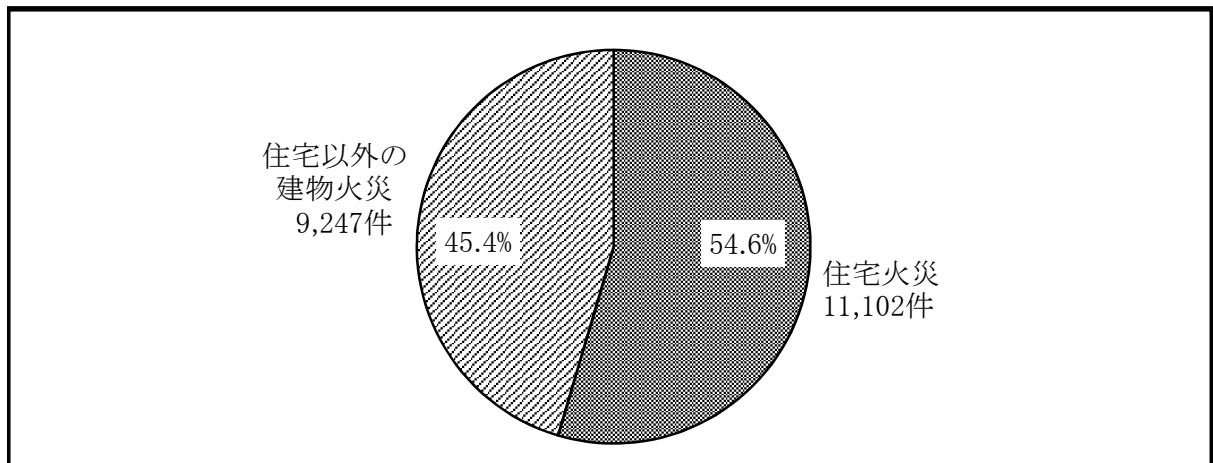
また、住宅火災のうち、一般住宅に係る火災が全体の65.4%(前年65.9%)を占めている。

建物火災のうち住宅火災の件数(放火を除く)

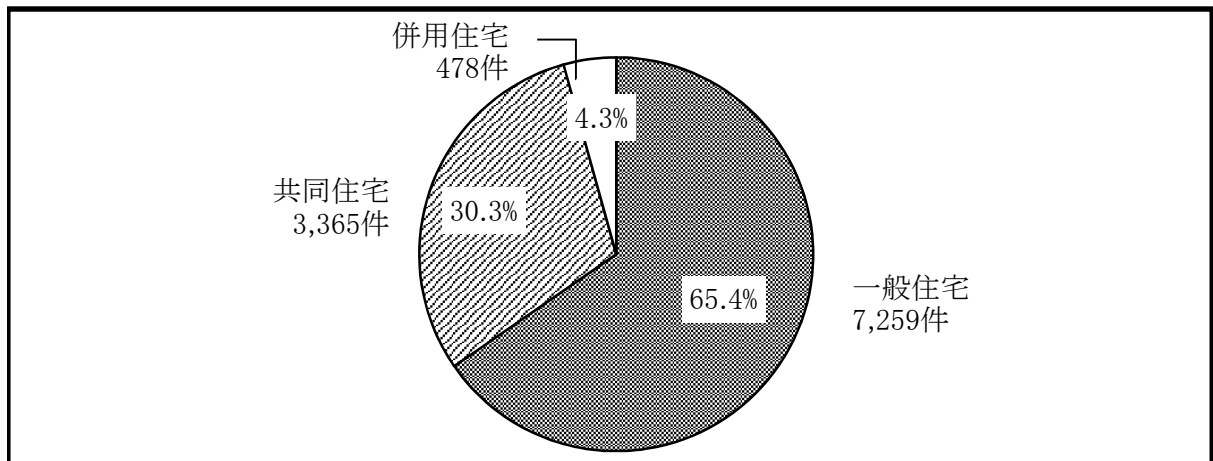
建物火災(件)	住宅火災(件)			住宅以外の建物火災(件)	
	合計	一般住宅	共同住宅		併用住宅
20,349	11,102	7,259	3,365	478	9,247
100.0%	54.6%	[65.4%]	[30.3%]	[4.3%]	45.4%

(\* [ ]は、住宅火災の件数(11,102件)に占める割合)

建物火災のうち住宅火災の件数(放火を除く)



住宅形態別の火災の件数(放火を除く)



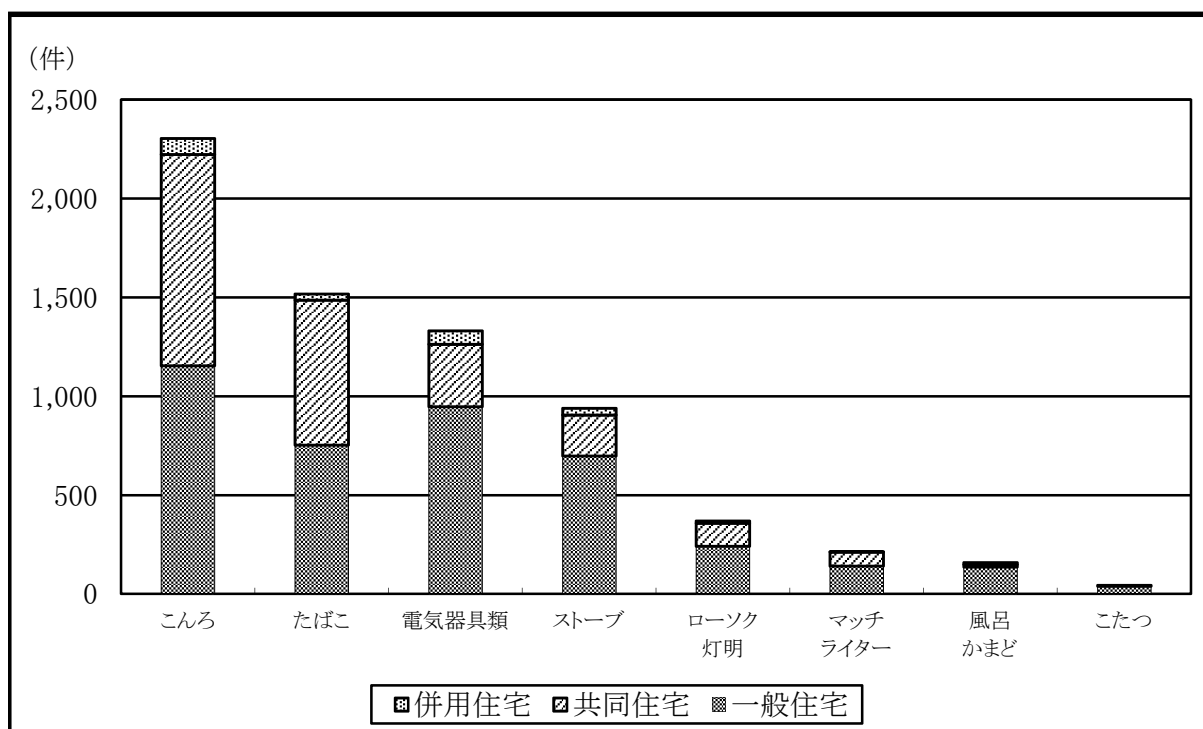
## (2) 発火源別火災件数

住宅火災の発火源別火災件数は、多いものから順に「こんろ」によるもの2,304件(20.8%)、「たばこ」によるもの1,517件(13.7%)、「電気器具類」によるもの1,332件(12.0%)、「ストーブ」によるもの939件(8.5%)の順である。最も多い「こんろ」による火災が、住宅火災のほぼ5件に1件を占めている。

発火源別火災件数(放火を除く)

発火源	区分	建物火災 (件)	住宅火災(件)				
			合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	
こ	ん	ろ	3,421	2,304	1,155	1,069	80
た	ば	こ	2,200	1,517	753	734	30
電	気	器	3,127	1,332	948	315	69
ス	ト	ー	1,208	939	699	206	34
ロ	ー	ソ	437	369	241	117	11
マ	ッ	チ	333	214	142	71	1
風	呂	か	193	159	137	13	9
こ	た	つ	48	44	40	4	0
そ	の	他	6,416	2,486	1,797	530	159
不	明		2,966	1,738	1,347	306	85
合	計	20,349	11,102	7,259	3,365	478	

発火源別火災件数(放火を除く)



(\* 発火源のその他、不明は除く)

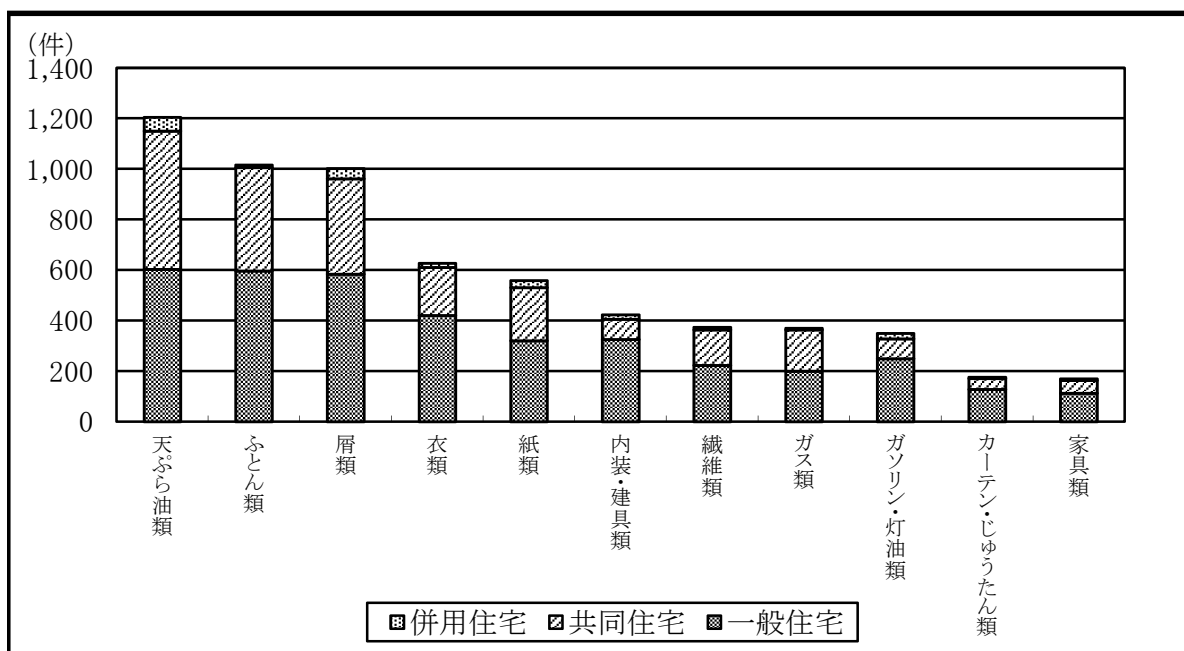
### (3) 着火物別火災件数

住宅火災の着火物別火災件数は、多いものから「天ぷら油類」によるもの1,204件(10.8%)、「ふとん類」によるもの1,016件(9.2%)、「屑類」によるもの1,002件(9.0%)である。「天ぷら油類」「ふとん類」「屑類」の上位3つで住宅火災全体の約3割を占めている。

着火物別火災件数(放火を除く)

着火物	区分	建物火災 (件)	住宅火災(件)			
			合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅
天ぷら油類		2,035	1,204	603	547	54
ふとん類		1,240	1,016	596	409	11
屑類		2,170	1,002	584	377	41
衣類		789	627	420	190	17
紙類		981	558	320	211	27
内装・建具類		732	423	325	80	18
繊維類		621	374	223	141	10
ガス類		626	370	200	163	7
ガソリン・灯油類		806	350	249	79	22
カーテン・じゅうたん類		225	176	128	43	5
家具類		258	169	113	50	6
その他		6,798	2,997	2,022	804	171
不明		3,068	1,836	1,476	271	89
合計		20,349	11,102	7,259	3,365	478

着火物別火災件数(放火を除く)



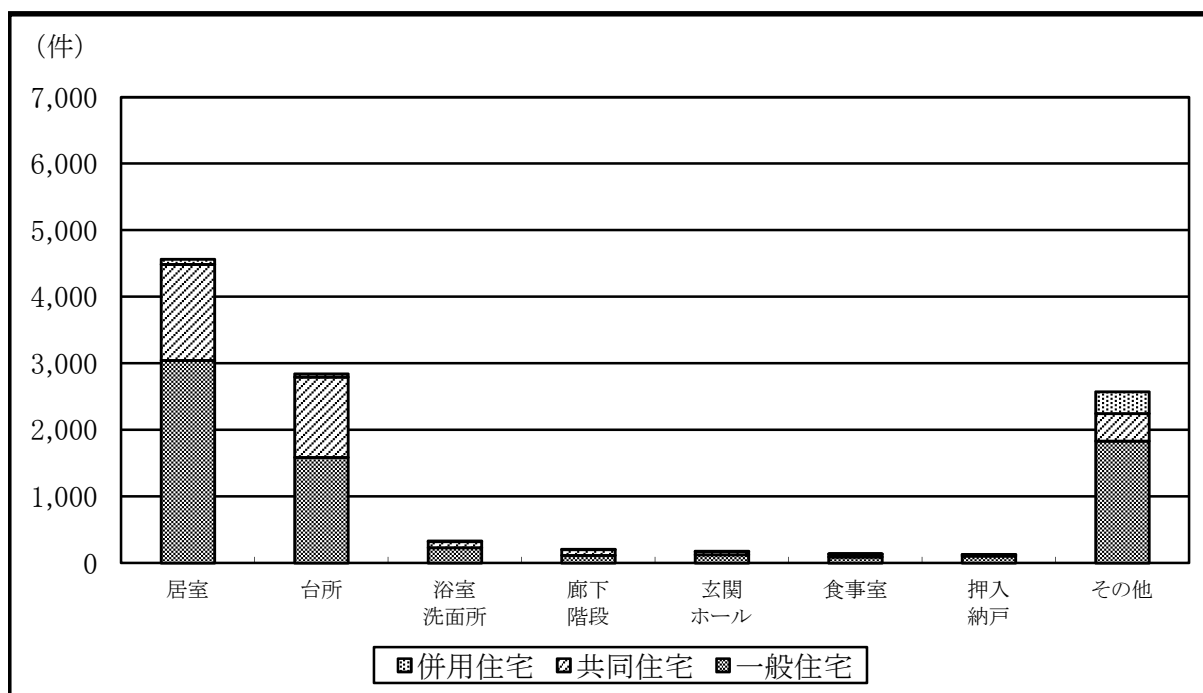
#### (4) 出火箇所別火災件数

住宅火災件数のうち「居室」を出火箇所とする火災が4,566件(41.1%)と最も多く、次いで「台所」を出火箇所とする火災が2,842件(25.6%)と前年と同じ順になっている。この「居室」または「台所」を出火箇所とする火災だけで全体の66.7%を占め、主な出火箇所となっている。

出火箇所別火災件数(放火を除く)

出火箇所	区分	建物火災 (件)	住宅火災(件)			
			合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅
居 室		5,219	4,566	3,045	1,443	78
台 所		3,271	2,842	1,587	1,208	47
浴 室・洗 面 所		523	332	234	91	7
廊 下・階 段		355	209	117	87	5
玄 関・ホ ー ル		286	176	125	50	1
食 事 室		166	137	93	42	2
押 入・納 戸		145	127	105	20	2
そ の 他		10,162	2,575	1,831	415	329
不 明		222	138	122	9	7
合 計		20,349	11,102	7,259	3,365	478

出火箇所別火災件数(放火を除く)



(\* 出火箇所の不明は除く)

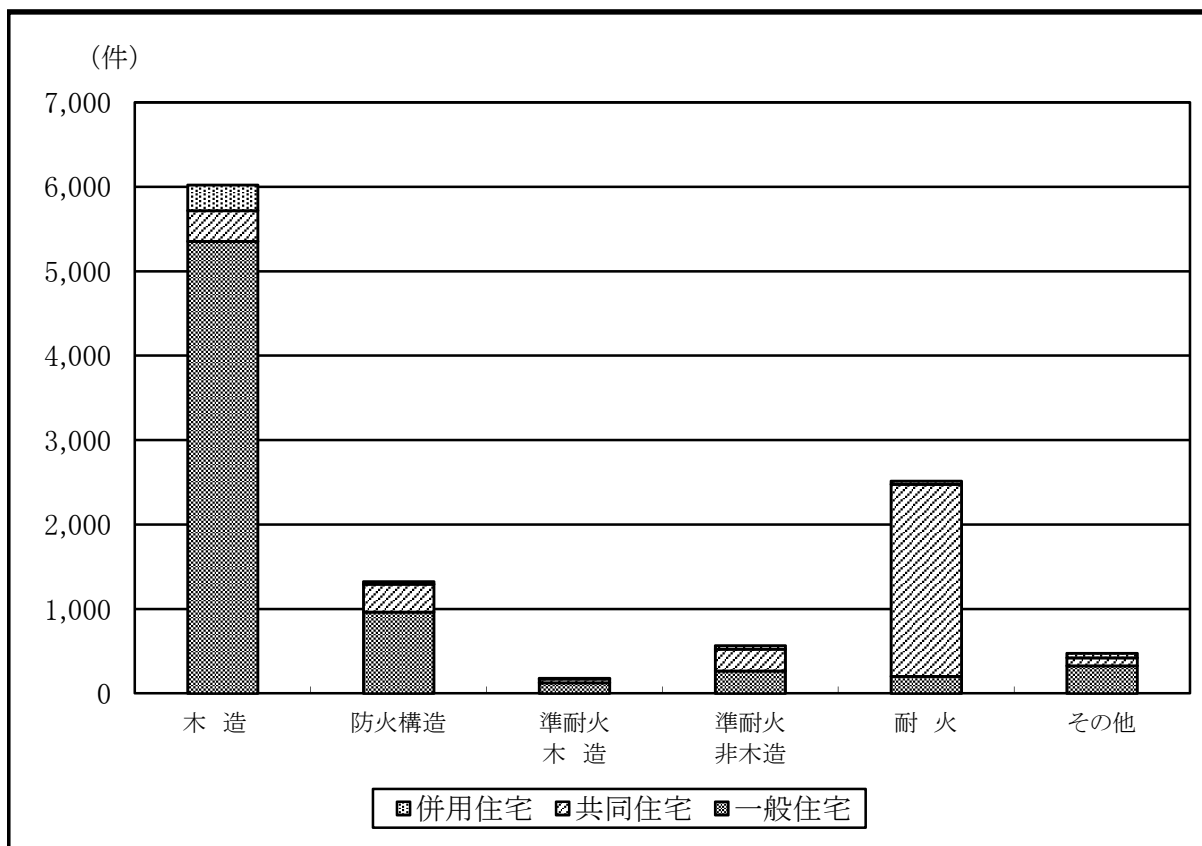
### (5) 建物構造別火災件数

住宅火災件数のうち「木造建築物」が6,024件(54.3%)と住宅火災の5割以上を占めている。次いで「耐火建築物」が2,516件(22.7%)、「防火構造建築物」が1,324件(11.9%)となっている。

建物構造別火災件数(放火を除く)

建物構造	区分	建物火災 (件)	住宅火災(件)			
			合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅
木造建築物		8,446	6,024	5,356	362	306
防火構造建築物		1,795	1,324	965	330	29
準耐火木造建築物		267	179	127	46	6
準耐火非木造建築物		2,292	568	268	257	43
耐火建築物		5,524	2,516	204	2,275	37
その他		1,815	477	326	95	56
不明		210	14	13	0	1
合計		20,349	11,102	7,259	3,365	478

建物構造別火災件数(放火を除く)



(\* 建物構造の不明は除く)

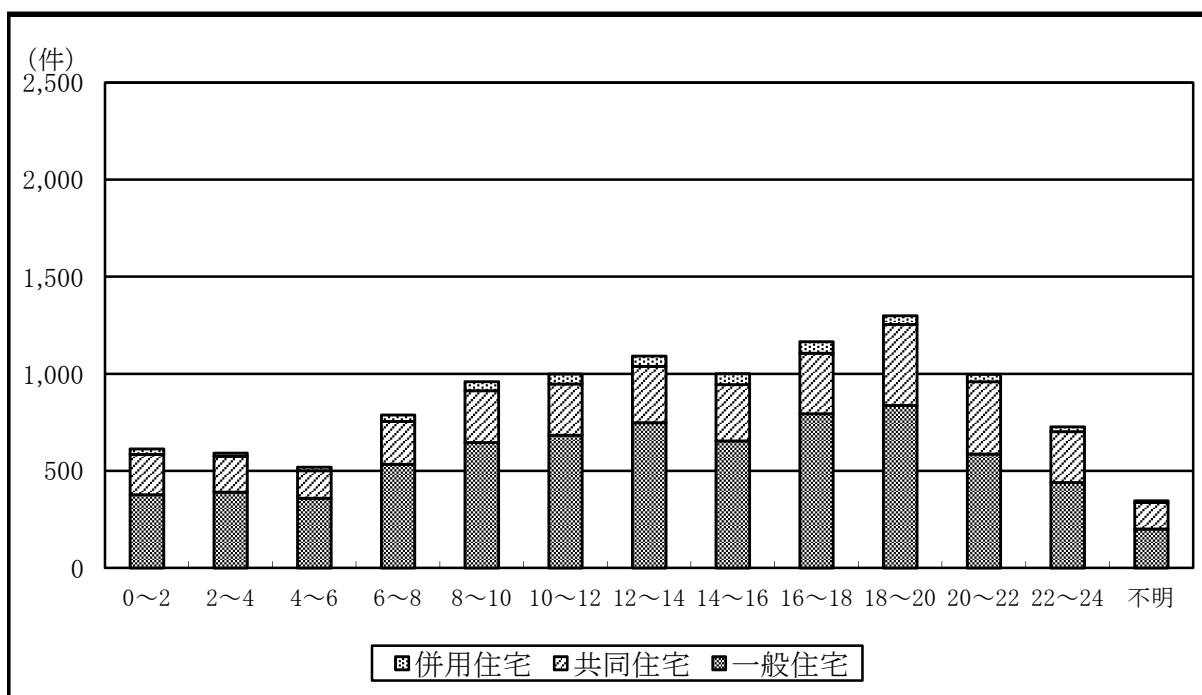
### (6) 時間帯別火災件数

住宅火災の時間帯別火災件数は、就寝時間帯以外に多く発生しており、前年と同じく「18時から20時」が1,300件(11.7%)と最も多く、次いで「16時から18時」の1,166件(10.5%)、というように夕飯時に多くなっている。

時間帯別火災件数(放火を除く)

時間帯	区分 建物火災 (件)	住宅火災(件)			
		合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅
0 ~ 2	1,122	614	378	207	29
2 ~ 4	1,047	592	391	185	16
4 ~ 6	923	519	359	142	18
6 ~ 8	1,260	788	535	221	32
8 ~ 10	1,727	960	647	266	47
10 ~ 12	2,011	999	685	263	51
12 ~ 14	2,171	1,091	749	290	52
14 ~ 16	2,041	1,001	654	291	56
16 ~ 18	2,160	1,166	795	311	60
18 ~ 20	2,158	1,300	837	417	46
20 ~ 22	1,719	997	587	373	37
22 ~ 24	1,337	728	440	262	26
不明	673	347	202	137	8
合計	20,349	11,102	7,259	3,365	478

時間帯別火災件数(放火を除く)



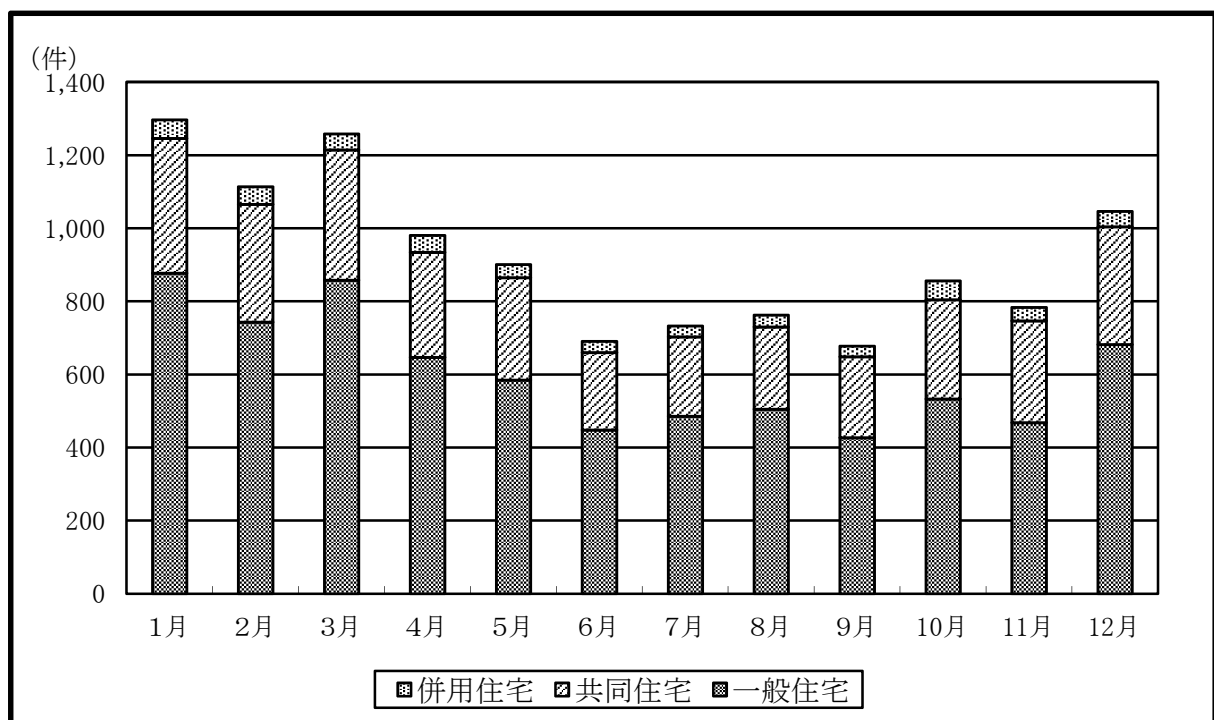
### (7) 月別火災件数

住宅火災の月別火災件数は、前年と同じく1月から3月、12月までの4ヶ月間が多く、また、この期間に全体の4割(42.5%)を超える4,715件の火災が発生している。

月別火災件数(放火を除く)

月	区分	建物火災 (件)	住宅火災(件)			
			合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅
1月		2,093	1,297	877	369	51
2月		1,913	1,114	743	323	48
3月		2,178	1,258	858	357	43
4月		1,776	981	647	287	47
5月		1,819	901	585	280	36
6月		1,322	691	448	212	31
7月		1,452	733	486	217	30
8月		1,497	763	505	225	33
9月		1,316	678	427	222	29
10月		1,669	856	533	272	51
11月		1,446	784	468	279	37
12月		1,868	1,046	682	322	42
合計		20,349	11,102	7,259	3,365	478

月別火災件数(放火を除く)





### (8) 都道府県別火災件数

住宅火災の多い都道府県は、「東京都(1,277件)」、「大阪府(840件)」、「神奈川県(669件)」の順となっており、少ない都道府県は、「福井県(43件)」、「鳥取県(56件)」、「石川県(65件)」の順となっている。

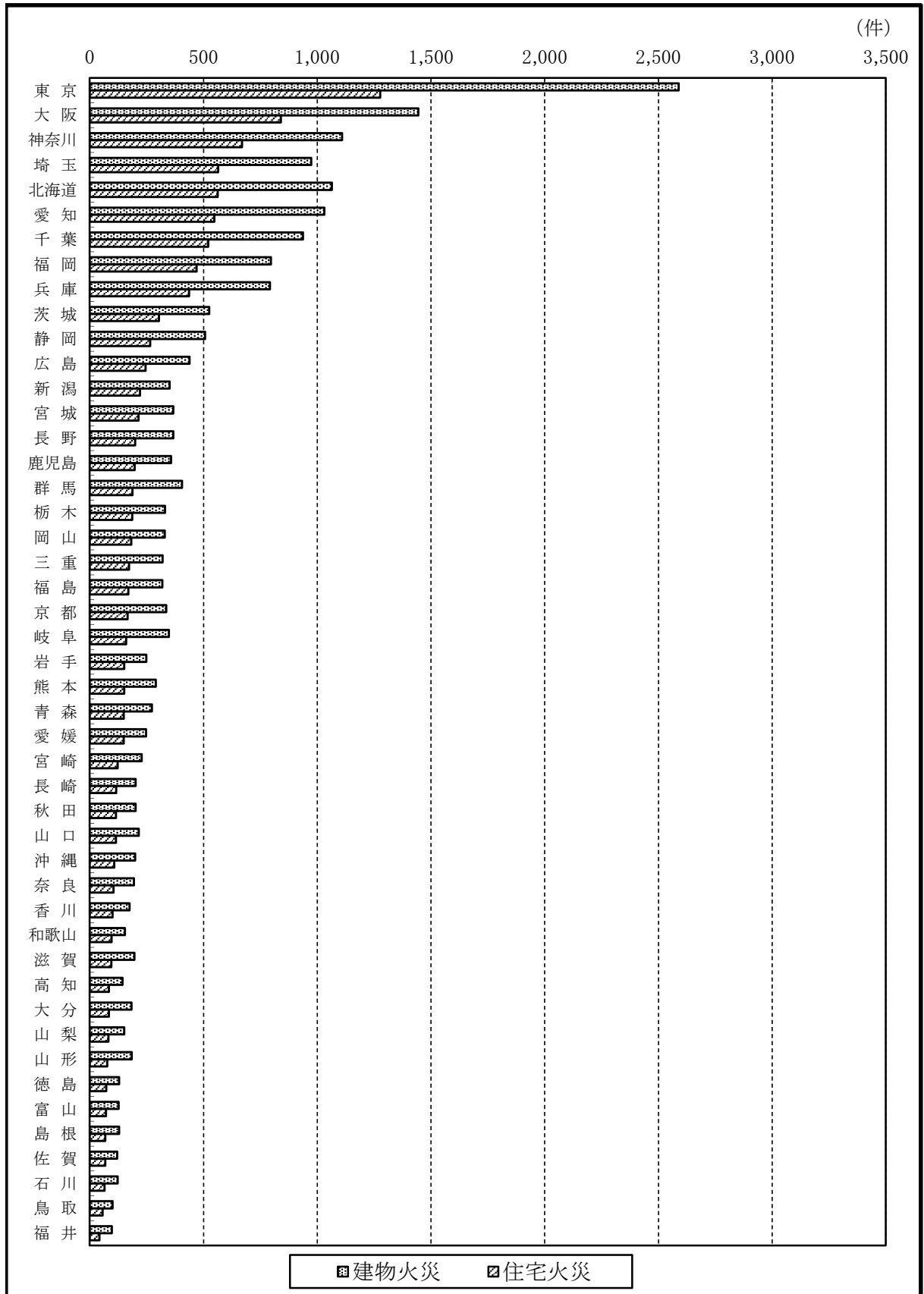
また、10万世帯当たりの住宅火災件数は「岩手県(29.1件)」が最も多く、次いで「秋田県(27.7件)」、「茨城県(25.5件)」となっている。

都道府県別出火件数(放火を除く)

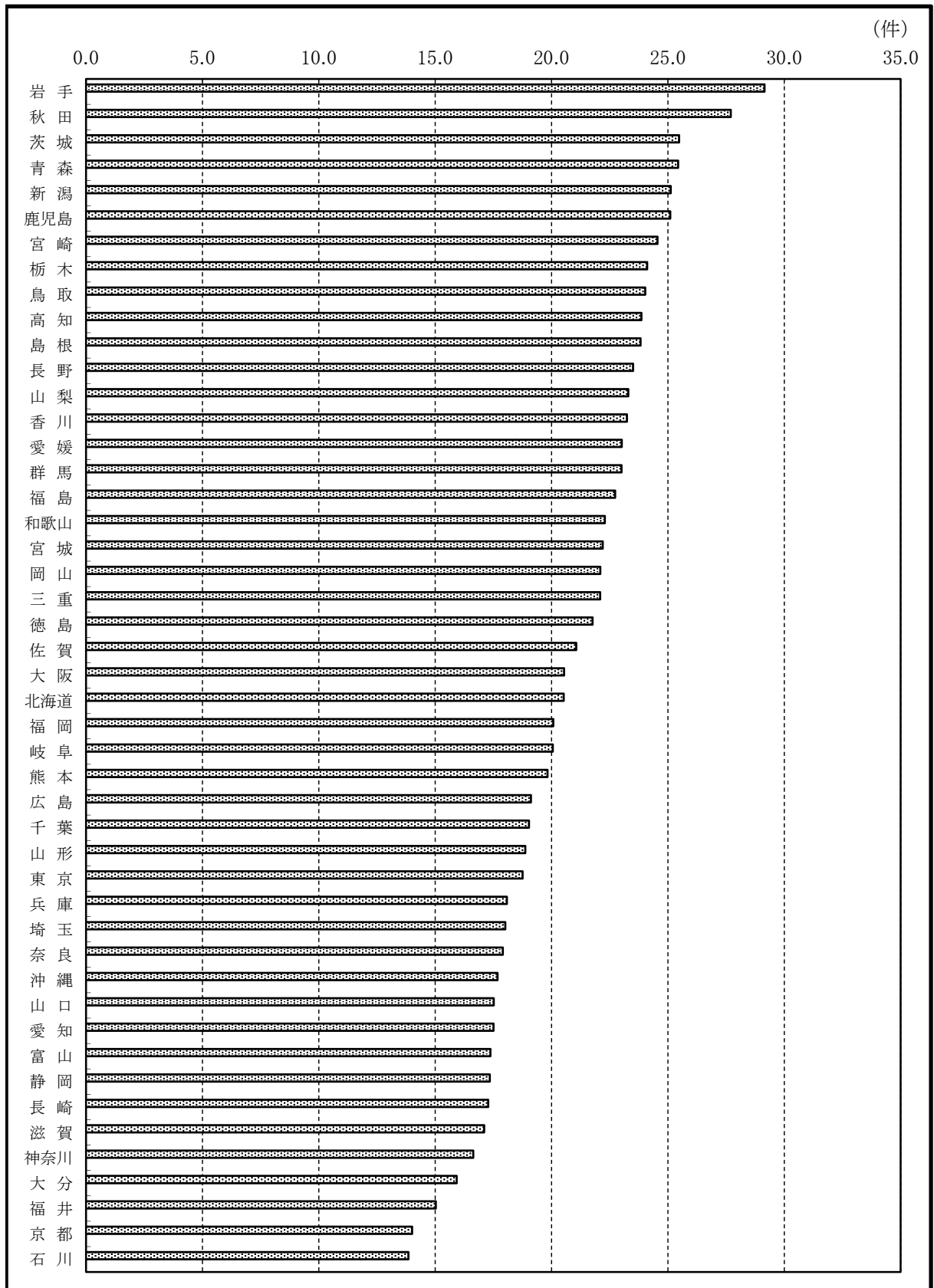
都道府県名	区分 建物火災 (件)	住宅火災(件)				10万世帯当たりの 住宅火災件数	世 帯 数
		合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅		
北海道	1,064	562	359	186	17	20.5	2,738,320
青森	273	149	128	6	15	25.4	585,814
岩手	248	151	122	18	11	29.1	518,036
宮城	367	214	154	52	8	22.2	964,107
秋田	202	115	95	9	11	27.7	415,210
山形	184	77	60	12	5	18.9	407,980
福島	319	170	149	15	6	22.7	747,907
茨城	525	304	261	29	14	25.5	1,193,222
栃木	331	187	156	17	14	24.1	775,603
群馬	405	188	140	36	12	23.0	817,156
埼玉	974	565	357	186	22	18.0	3,137,102
千葉	937	521	337	163	21	19.0	2,738,047
東京	2,589	1,277	519	754	4	18.8	6,808,641
神奈川	1,109	669	322	332	15	16.6	4,021,496
新潟	351	221	198	5	18	25.1	879,737
富山	127	71	61	9	1	17.4	408,710
石川	123	65	50	13	2	13.8	469,368
福井	97	43	37	3	3	15.0	286,158
山梨	151	82	71	10	1	23.3	351,966
長野	367	199	182	7	10	23.5	846,762
岐阜	348	160	131	20	9	20.1	797,835
静岡	507	266	186	66	14	17.3	1,533,254
愛知	1,031	548	294	233	21	17.5	3,130,697
三重	320	173	142	18	13	22.1	783,195
滋賀	196	95	63	27	5	17.1	555,407
京都	336	166	107	53	6	14.0	1,185,019
大阪	1,444	840	410	391	39	20.5	4,089,821
兵庫	792	436	255	163	18	18.1	2,411,217
奈良	194	104	80	18	6	17.9	580,868
和歌山	155	96	74	13	9	22.3	430,720
鳥取	100	56	44	8	4	24.0	233,101
島根	129	68	58	9	1	23.8	285,456
岡山	330	182	143	27	12	22.1	823,841
広島	439	245	158	75	12	19.1	1,281,863
山口	215	115	85	20	10	17.5	656,573
徳島	129	72	57	10	5	21.8	330,900
香川	175	100	93	5	2	23.2	430,287
愛媛	247	149	116	26	7	23.0	647,336
高知	144	84	67	8	9	23.9	352,028
福岡	796	470	284	168	18	20.1	2,341,422
佐賀	120	68	50	12	6	21.1	322,900
長崎	202	116	93	18	5	17.3	671,288
熊本	290	151	121	19	11	19.8	761,653
大分	183	84	66	14	4	15.9	527,519
宮崎	228	123	100	16	7	24.5	501,041
鹿児島	357	197	160	25	12	25.1	784,886
沖縄	199	108	64	41	3	17.7	610,912
合計	20,349	11,102	7,259	3,365	478	19.8	56,172,381

\* 世帯数は、平成26年3月31日現在の「平成26年度消防防災・震災対策現況調査」による。

都道府県別出火件数(放火を除く)



都道府県別10万世帯当たりの住宅火災件数(放火を除く)



### 3 住宅火災による死者数

#### (1) 建物火災による死者のうち住宅火災による死者数

建物火災による死者数(放火自殺者等を除く。)は1,086人(前年比41人減)で、このうち住宅火災による死者数は914人(前年比92人減)(84.2%)(前年89.3%)である。

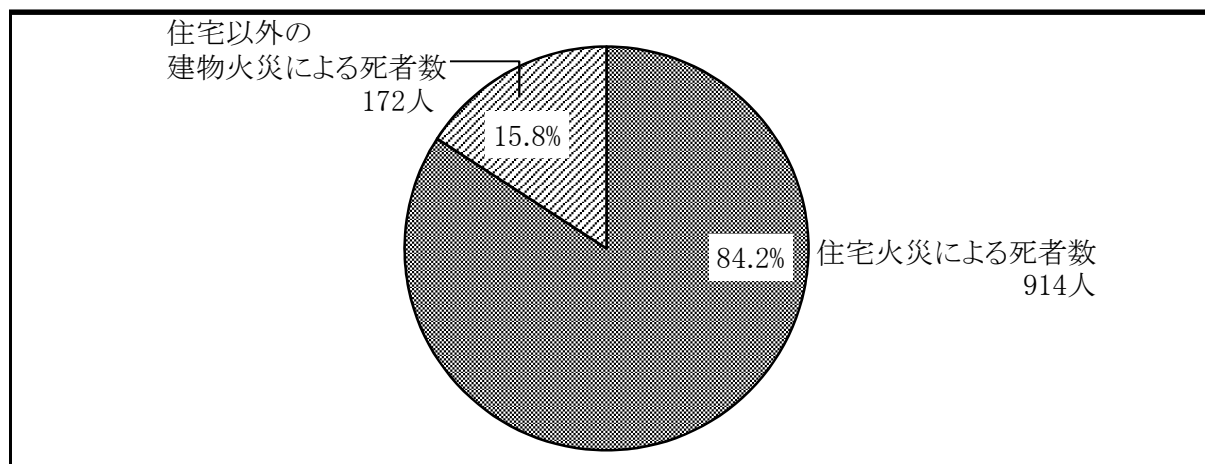
また、住宅火災による死者のうち716人(前年比85人減)(78.3%)(前年79.6%)は一般住宅において発生している。

建物火災の死者のうち住宅火災による死者数(放火自殺者等を除く)

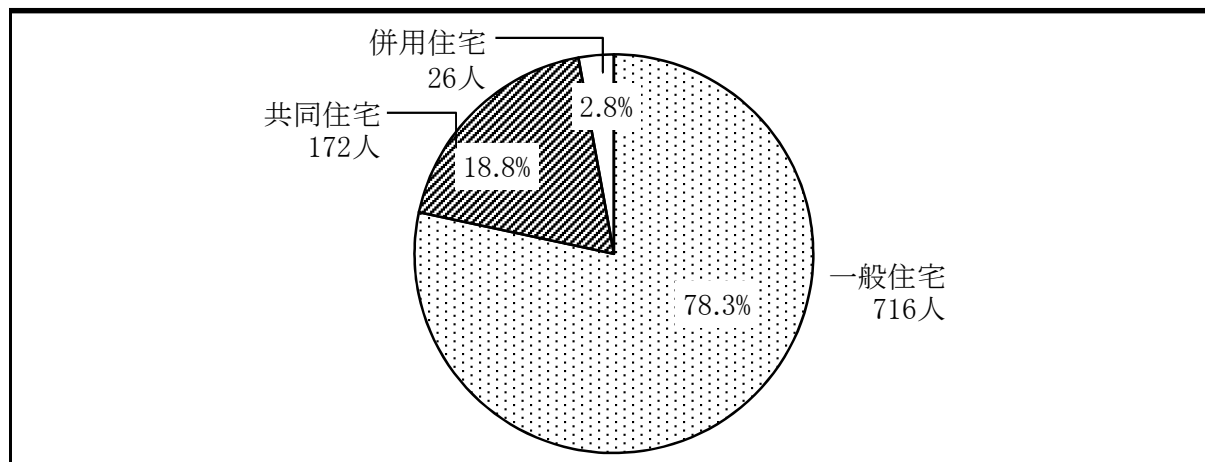
建物火災による死者数(人)	住宅火災による死者数(人)				住宅以外の建物火災による死者数(人)
	合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	
1,086	914	716	172	26	172
100.0%	84.2%	[78.3%]	[18.8%]	[2.8%]	15.8%

(\* [ ]は、住宅火災による死者数(914人)に占める割合)

建物火災による死者発生状況(放火自殺者等を除く)



住宅形態別の死者発生状況(放火自殺者等を除く)



## (2) 発火源別死者数

死者の発生した住宅火災の発火源は、「たばこ」によるもの125人(13.7%)、「ストーブ」によるもの89人(9.7%)、「電気器具類」によるもの59人(6.5%)である。また、65歳以上の高齢者については「たばこ」によるもの83人(13.6%)、「ストーブ」によるもの64人(10.5%)、次いで「電気器具類、こんろ」によるもの40人(6.5%)となっている。

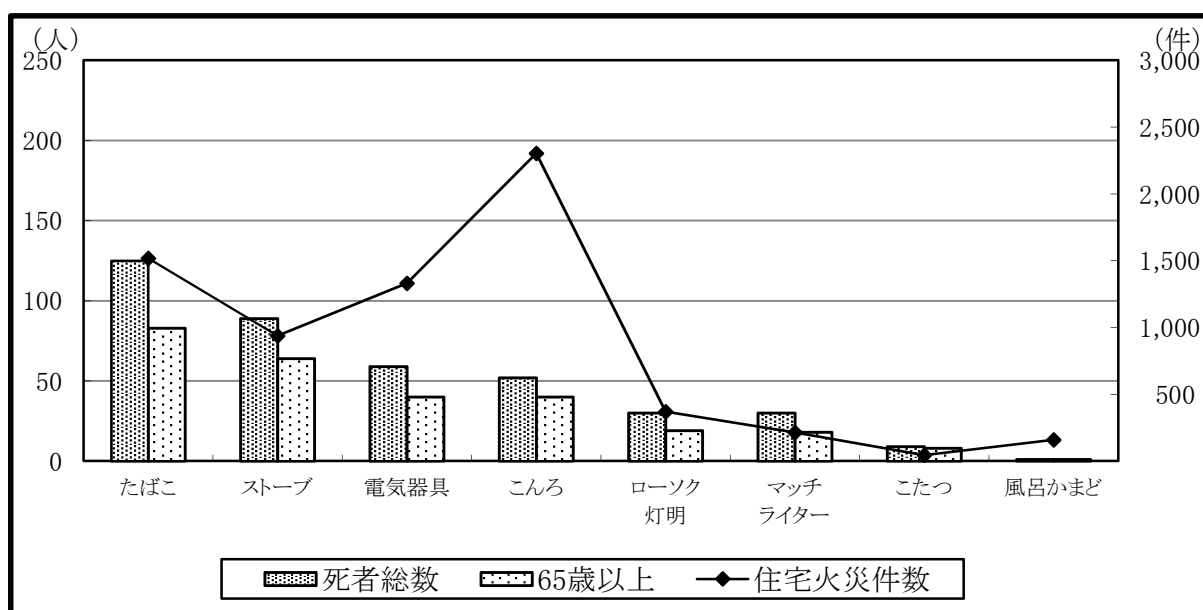
住宅火災の件数との関連をみると、「風呂かまど」は火災件数の割に死者数が少なくなっている。

発火源をエネルギー別にみると、「ストーブ」にあつては「石油」によるもの41人(46.1%)、「電気」によるもの40人(44.9%)で9割以上(91.0%)を占めている。また、「こんろ」にあつては、「ガス」が43人(82.7%)と最も多く、次いで「電気」の4人(7.7%)となっている。

発火源別死者数(放火自殺者等を除く)

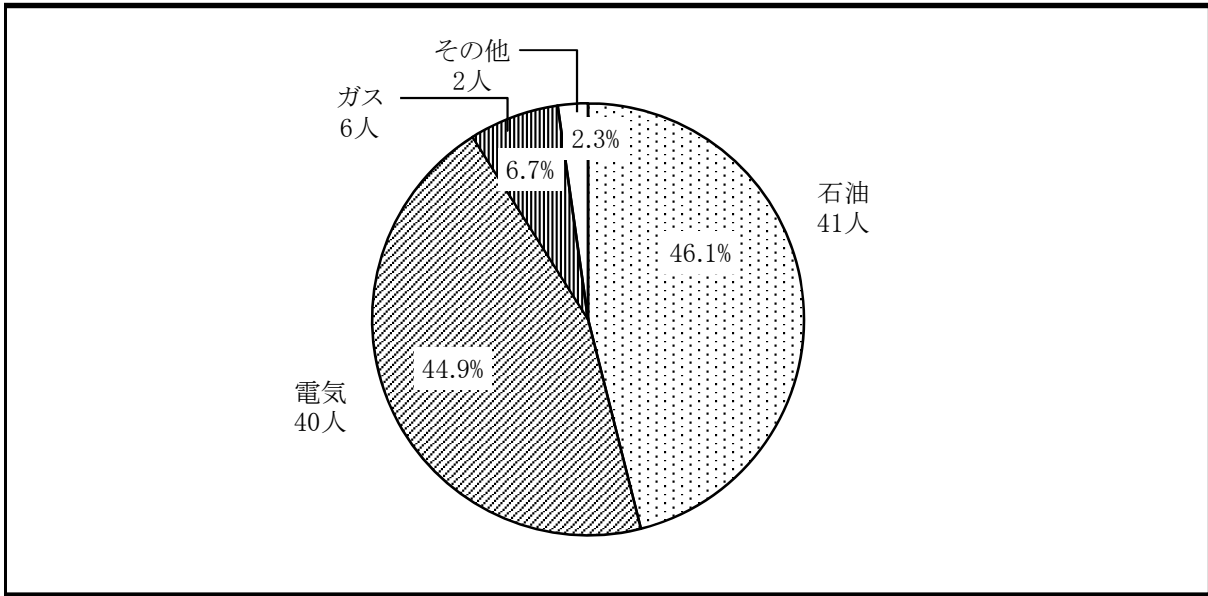
発火源	年齢	死者総数	5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上	不明	住宅火災 件数
たばこ		125		42	83		1,517
ストーブ		89	1	24	64		939
電気器具類		59		18	40	1	1,332
こんろ		52		12	40		2,304
ローソク・灯明		30	1	11	19		369
マッチ・ライター		30		11	18		214
こたつ		9		1	8		44
風呂かまど		1			1		159
その他		46		11	35		2,486
不明		473	6	164	303		1,738
合計		914	8	294	611	1	11,102

発火源別死者数(放火自殺者等を除く)

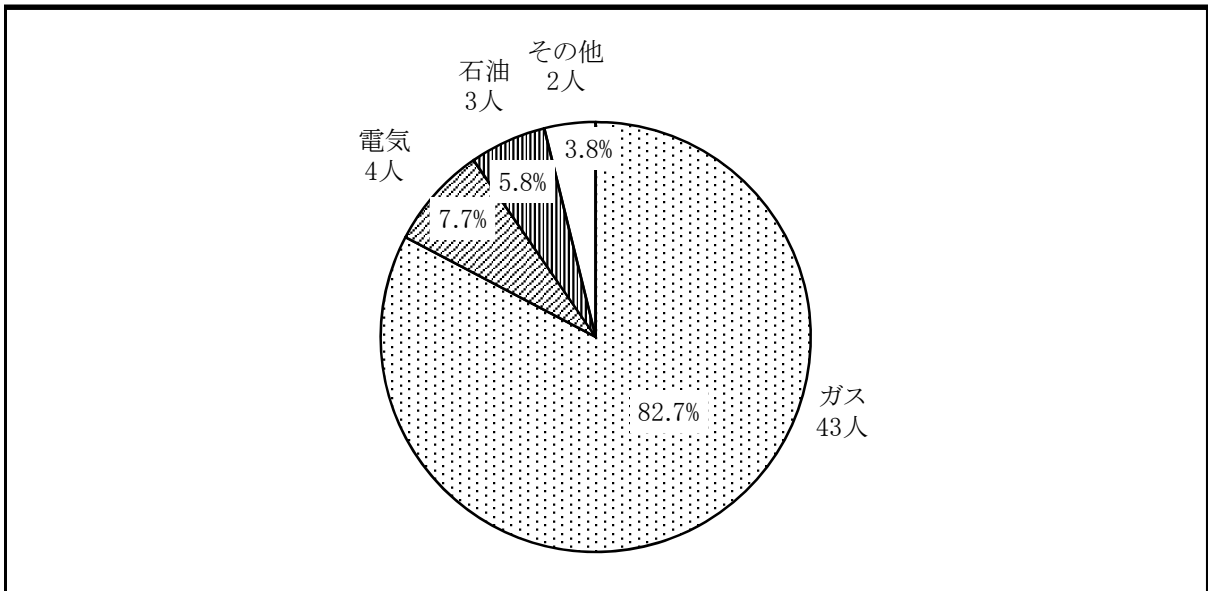


(\* 発火源のその他、不明は除く)

ストーブのエネルギー別死者数(放火自殺者等を除く)



こんろのエネルギー別死者数(放火自殺者等を除く)



### (3) 着火物別死者数

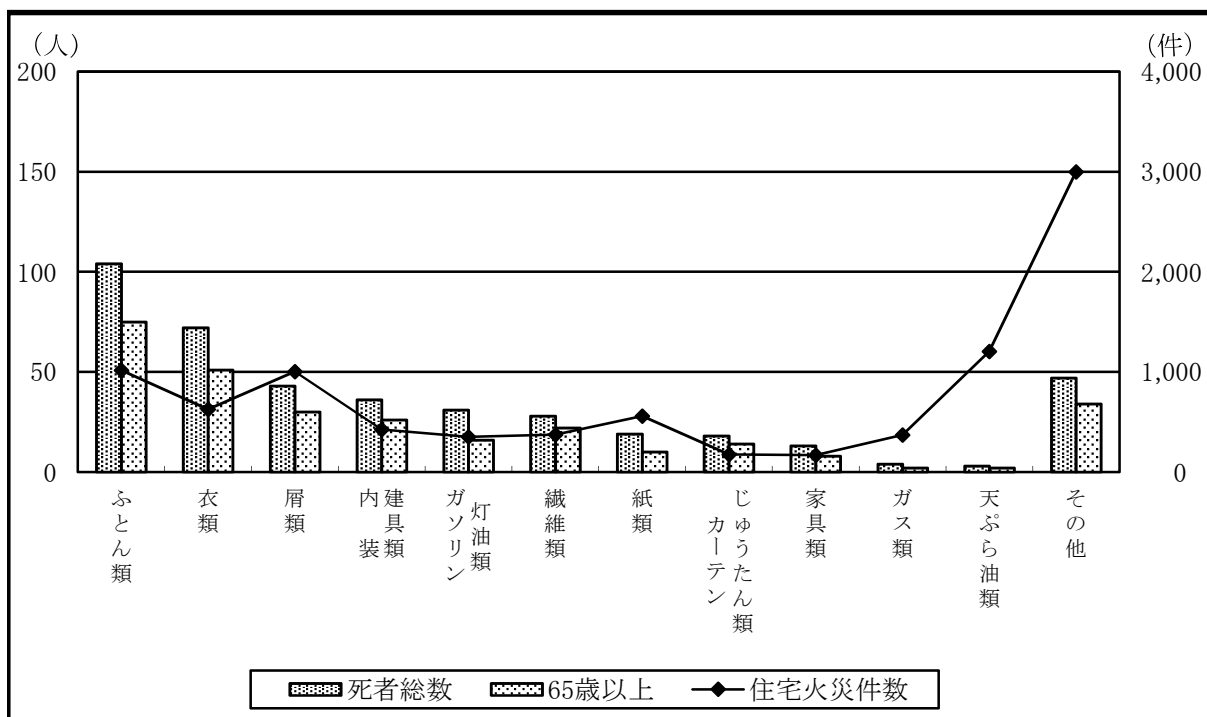
死者の発生した住宅火災の着火物は、多いものから順に「ふとん類」が104人(11.4%)、次いで「衣類」72人(7.9%)と前年と同じ順になっている。

住宅火災の件数との関連をみると、「天ぷら油類」は火災件数の割に死者数が少なくなっているが、「衣類」、「ふとん類、カーテン・じゅうたん類」は多くなっている。

着火物別死者数(放火自殺者等を除く)

着火物	年齢	死者総数	5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上	不明	住宅火災 件数
ふとん類		104		29	75		1,016
衣類		72	1	20	51		627
屑類		43		13	30		1,002
内装・建具類		36		9	26	1	423
ガソリン・灯油類		31	2	13	16		350
繊維類		28		6	22		374
紙類		19		9	10		558
カーテン・じゅうたん類		18		4	14		176
家具類		13		5	8		169
ガス類		4		2	2		370
天ぷら油類		3		1	2		1,204
その他		47		13	34		2,997
不明		496	5	170	321		1,836
合計		914	8	294	611	1	11,102

着火物別死者数(放火自殺者等を除く)



(\* 着火物の不明は除く)

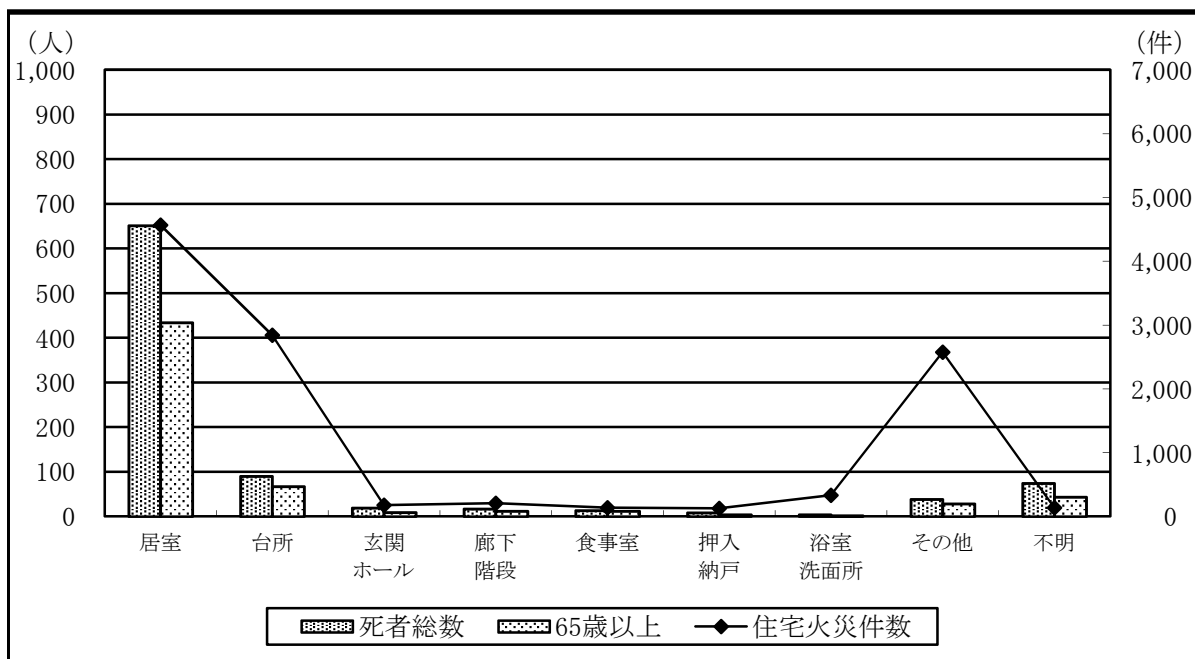
#### (4) 出火箇所別死者数

死者の発生した住宅火災のうち出火箇所として多いのは「居室」で、651人(前年比123人減)(71.2%)(前年76.9%)の死者が発生している。また、居室内での死者を年齢別にみると、65歳以上の高齢者が434人(66.7%)と7割近くを占めている。

出火箇所別死者数(放火自殺者等を除く)

出火箇所	年齢	死者総数	5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上	不明	住宅火災 件数
居室		651	3	214	434		4,566
台所		90	1	22	67		2,842
玄関・ホール		19	1	9	9		176
廊下・階段		17		5	12		209
食事室		13		1	12		137
押入・納戸		8	1	3	4		127
浴室・洗面所		4		2	2		332
その他		38		9	28	1	2,575
不明		74	2	29	43		138
合計		914	8	294	611	1	11,102

出火箇所別死者数(放火自殺者等を除く)





### (5) 建物構造別死者数

死者の発生した住宅火災を建物構造別にみると、前年と同じく「木造建築物」が最も多く662人(前年比35人減)(72.4%)(前年69.3%)となっており、その内464人(前年比34人減)(70.1%)(前年71.4%)が65歳以上の高齢者である。

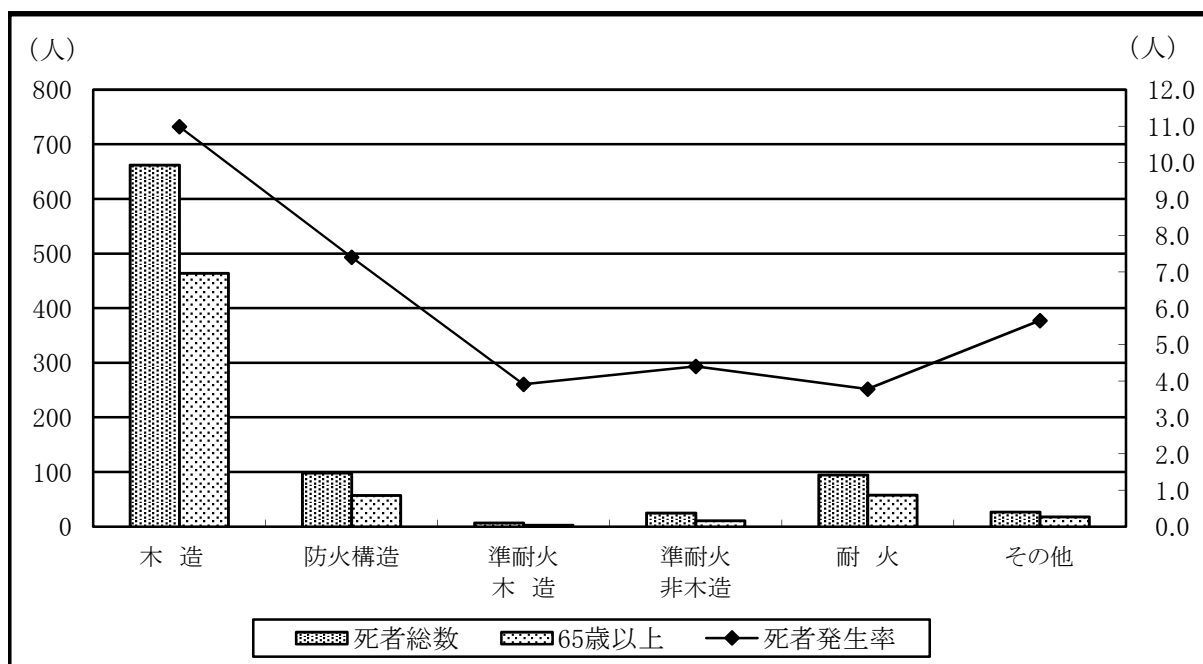
住宅火災100件当たりの死者発生率をみると、「耐火建築物」が3.8人(前年4.0人)に対し、「木造建築物」が11.0人(前年10.6人)と「木造建築物」で火災が発生した場合の死者発生率が高い値を示している。

建物構造別死者数(放火自殺者等を除く)

建物構造	年齢					住宅火災 件数	死者 発生率
	死者総数	5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上	不明		
木造建築物	662	6	191	464	1	6,024	11.0
防火構造建築物	98		41	57		1,324	7.4
準耐火木造建築物	7		4	3		179	3.9
準耐火非木造建築物	25	1	13	11		568	4.4
耐火建築物	95	1	36	58		2,516	3.8
その他	27		9	18		477	5.7
不明	0					14	0.0
合計	914	8	294	611	1	11,102	8.2

(\* 死者発生率は、住宅火災100件当たりの死者数を示す。)

建物構造別死者数(放火自殺者等を除く)



(\* 建物構造の不明は除く)

### (6) 時間帯別死者数

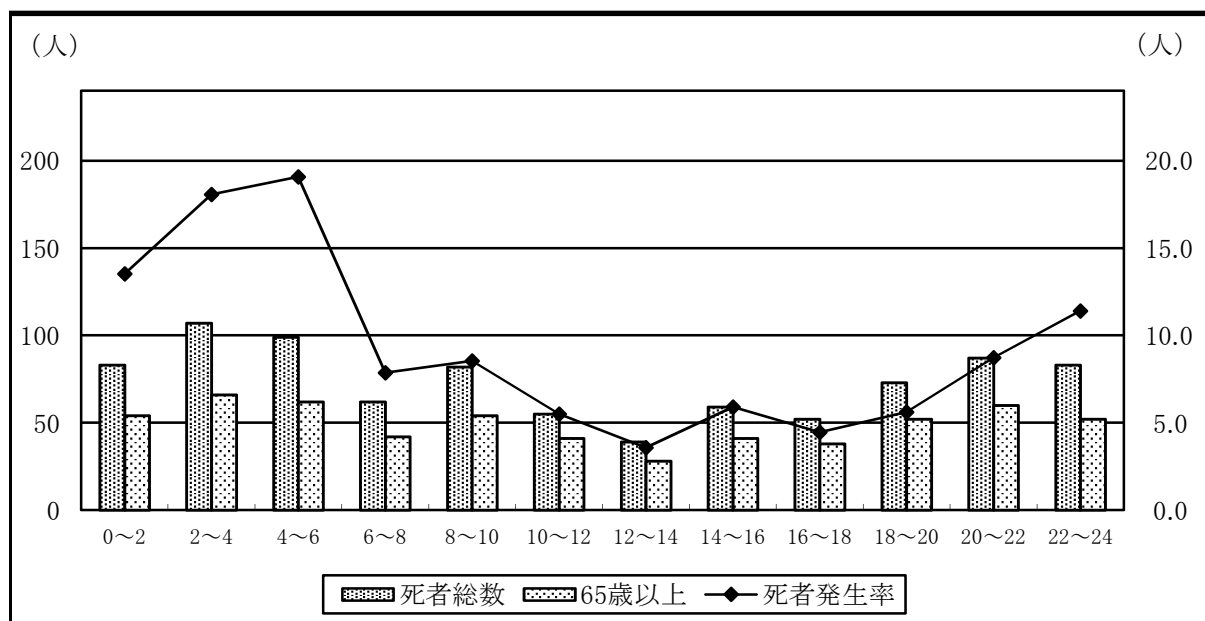
死者の発生した住宅火災を時間帯別にみると、0時から6時の深夜に289人(31.6%)と多くの死者が発生しているが、同時刻の住宅火災の件数は少なくなっており、死者発生率が高くなっている。

時間帯別死者数(放火自殺者等を除く)

時間帯	年齢	死者総数	5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上	不明	住宅火災 件数	死者 発生率
0 ~ 2		83		28	54	1	614	13.5
2 ~ 4		107	2	39	66		592	18.1
4 ~ 6		99		37	62		519	19.1
6 ~ 8		62	1	19	42		788	7.9
8 ~ 10		82		28	54		960	8.5
10 ~ 12		55		14	41		999	5.5
12 ~ 14		39	2	9	28		1,091	3.6
14 ~ 16		59		18	41		1,001	5.9
16 ~ 18		52		14	38		1,166	4.5
18 ~ 20		73		21	52		1,300	5.6
20 ~ 22		87	2	25	60		997	8.7
22 ~ 24		83	1	30	52		728	11.4
不明		33		12	21		347	9.5
合計		914	8	294	611	1	11,102	8.2

(\* 死者発生率は、住宅火災100件当たりの死者数を示す。)

時間帯別死者数(放火自殺者等を除く)



(\* 時間帯の不明は除く)

### (7) 月別死者数

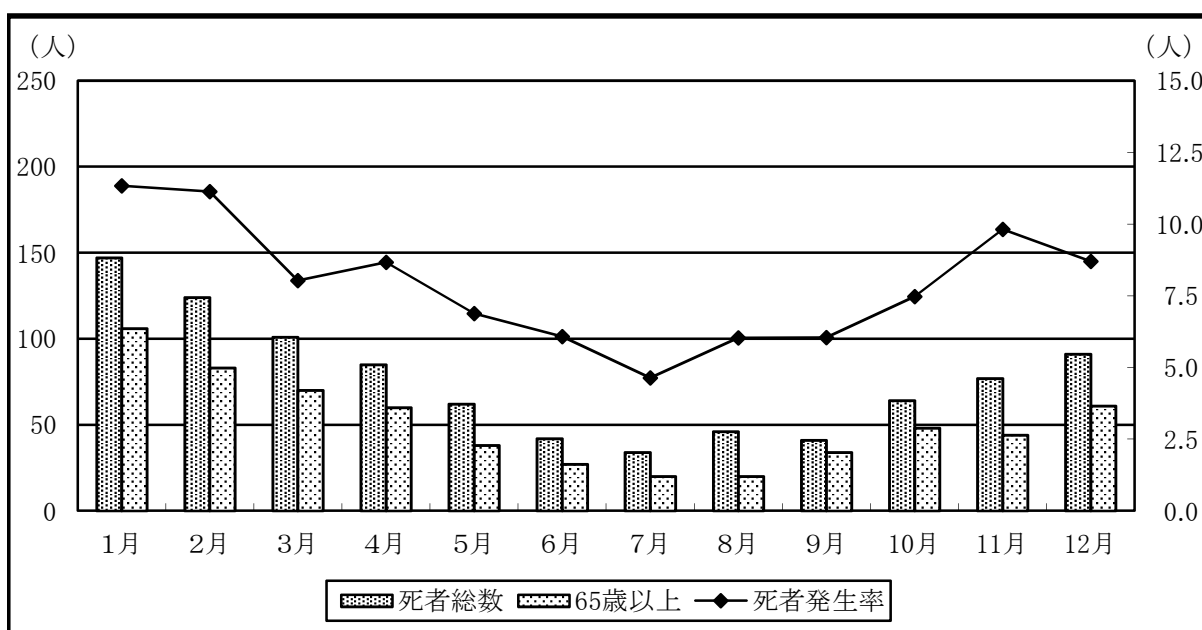
死者の発生した住宅火災を月別にみると、前年と同じく1月から3月、12月までの4ヶ月間に463人(50.7%)と多くの死者が発生している。住宅火災の件数との関連をみると1月と2月の2ヶ月間は1割以上の死者発生率となっている。

月別死者数(放火自殺者等を除く)

月	年齢					住宅火災 件数	死者 発生率
	死者総数	5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上	不明		
1月	147	1	39	106	1	1,297	11.3
2月	124		41	83		1,114	11.1
3月	101	1	30	70		1,258	8.0
4月	85	2	23	60		981	8.7
5月	62	2	22	38		901	6.9
6月	42		15	27		691	6.1
7月	34	2	12	20		733	4.6
8月	46		26	20		763	6.0
9月	41		7	34		678	6.0
10月	64		16	48		856	7.5
11月	77		33	44		784	9.8
12月	91		30	61		1,046	8.7
合計	914	8	294	611	1	11,102	8.2

(\* 死者発生率は、住宅火災100件当たりの死者数を示す。)

月別死者数(放火自殺者等を除く)



### (8) 都道府県別死者数

死者の発生した住宅火災を都道府県別にみると、「大阪府(58人)」が最も多く、次いで「東京都(50人)」、「埼玉県(48人)」となっている。一方、死者の少ない都道府県は、「鳥取県、島根(3人)」、「石川県、福井県、佐賀県、沖縄県(4人)」となっている。

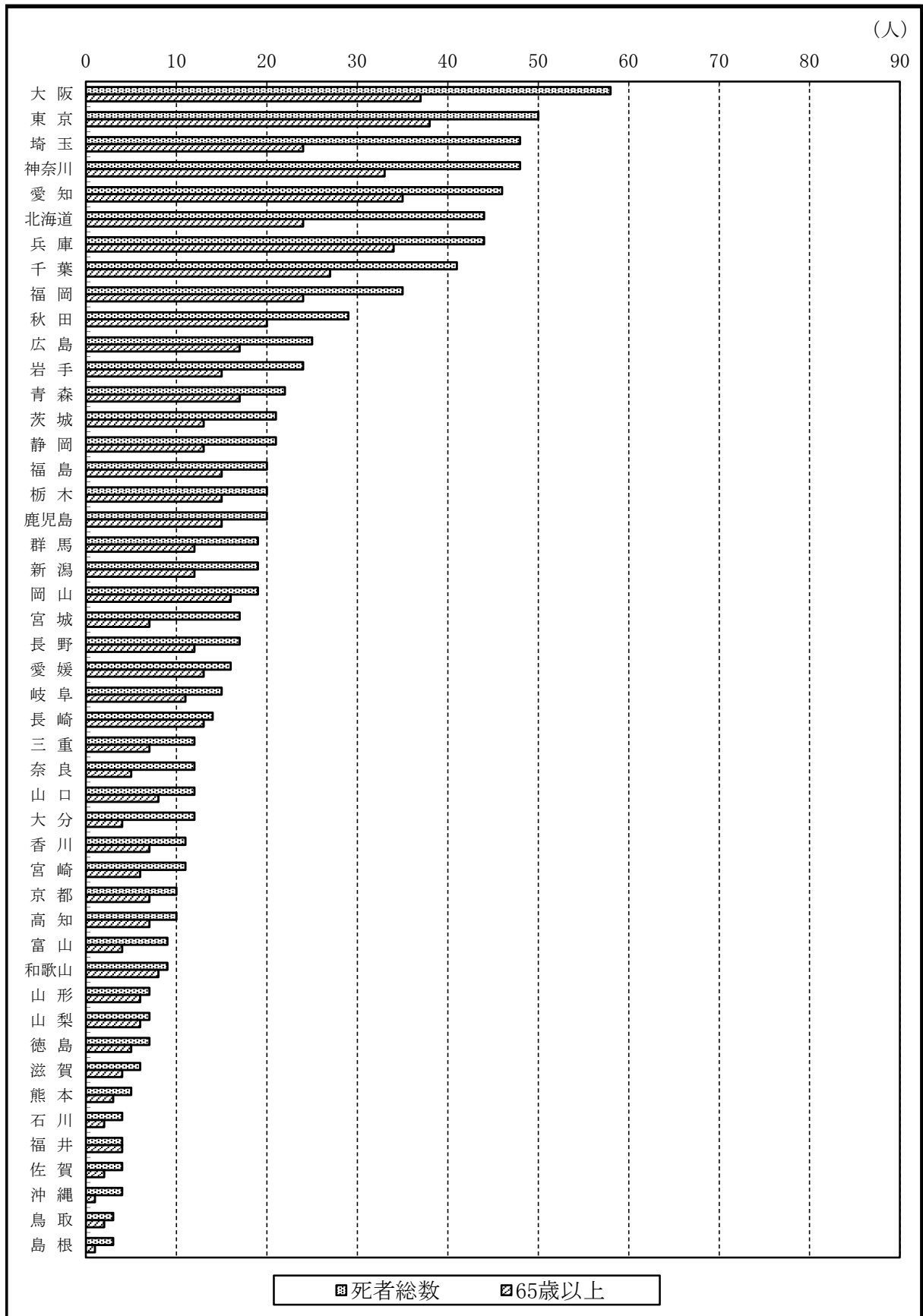
また、人口10万人当たりの死者数をみると、「秋田県(2.77人)」が最も多く、次いで「岩手県(1.86人)」、「青森県(1.64人)」となっている。

都道府県別死者数(放火自殺者等を除く)

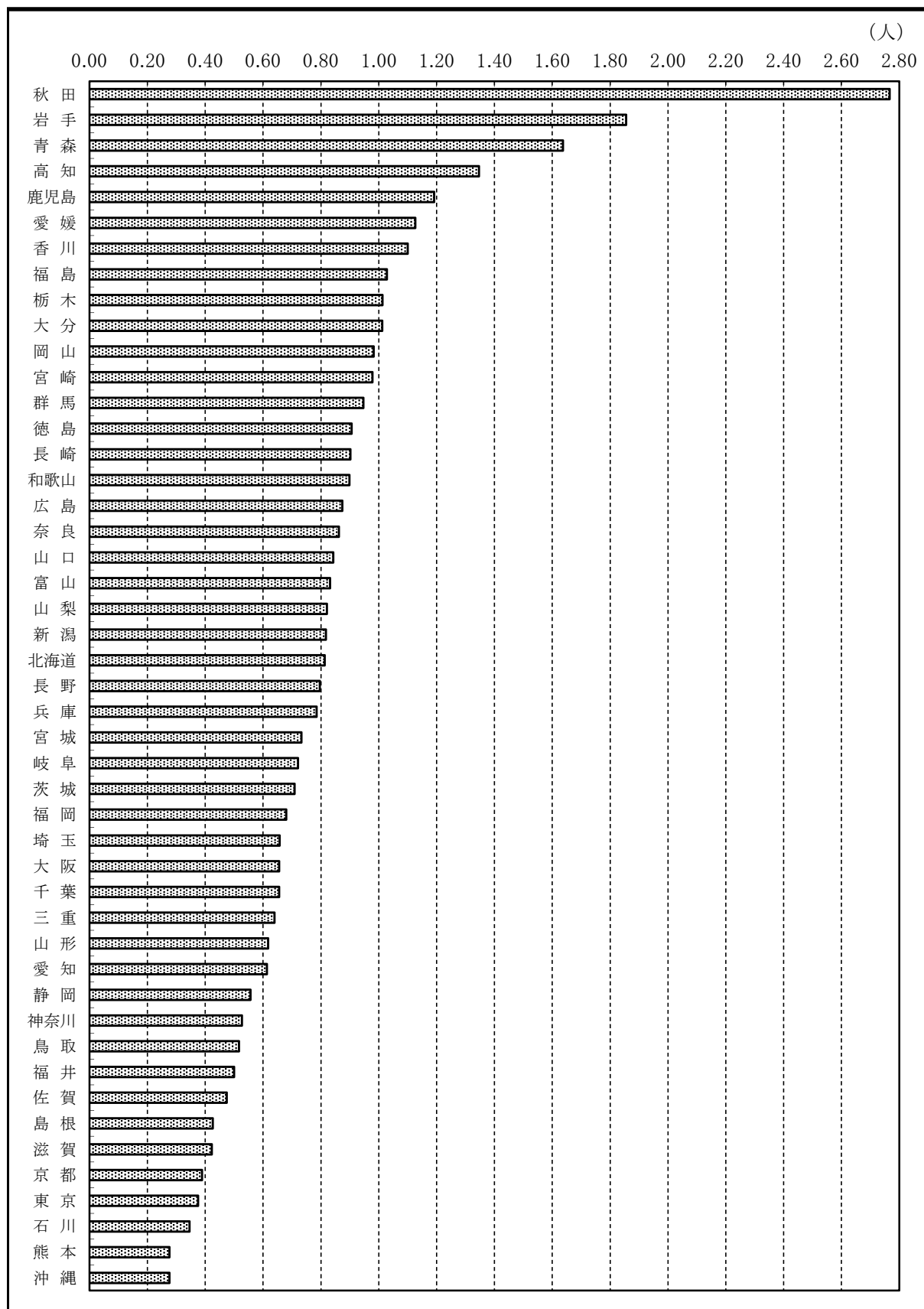
都道府県名	年齢				不明	人口10万人当たりの死者数	人口
	死者数	5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上			
北海道	44		20	24		0.81	5,412,731
青森	22		5	17		1.64	1,343,829
岩手	24		9	15		1.86	1,293,617
宮城	17		10	7		0.73	2,321,042
秋田	29	2	7	20		2.77	1,048,227
山形	7		1	6		0.62	1,133,835
福島	20		5	15		1.03	1,945,692
茨城	21		8	13		0.71	2,962,968
栃木	20		5	15		1.01	1,975,416
群馬	19		7	12		0.95	2,006,729
埼玉	48	3	21	24		0.66	7,306,325
千葉	41		14	27		0.66	6,258,197
東京	50		12	38		0.37	13,333,360
神奈川	48		15	33		0.53	9,104,422
新潟	19		7	12		0.82	2,325,875
富山	9		5	4		0.83	1,082,233
石川	4		2	2		0.35	1,156,292
福井	4			4		0.50	800,458
山梨	7		1	6		0.82	853,152
長野	17		4	12	1	0.80	2,135,762
岐阜	15		4	11		0.72	2,080,497
静岡	21		8	13		0.56	3,775,742
愛知	46		11	35		0.61	7,504,139
三重	12		5	7		0.64	1,877,181
滋賀	6		2	4		0.42	1,419,178
京都	10		3	7		0.39	2,573,710
大阪	58		21	37		0.66	8,850,125
兵庫	44		10	34		0.79	5,603,838
奈良	12		7	5		0.86	1,391,805
和歌山	9		1	8		0.90	1,001,553
鳥取	3		1	2		0.52	580,233
島根	3		2	1		0.43	703,499
岡山	19		3	16		0.98	1,933,270
広島	25		8	17		0.87	2,861,425
山口	12		4	8		0.84	1,424,561
徳島	7		2	5		0.91	772,617
香川	11		4	7		1.10	999,744
愛媛	16		3	13		1.13	1,420,255
高知	10		3	7		1.35	742,619
福岡	35		11	24		0.68	5,144,124
佐賀	4		2	2		0.47	843,305
長崎	14		1	13		0.90	1,552,846
熊本	5		2	3		0.28	1,809,595
大分	12	3	5	4		1.01	1,186,039
宮崎	11		5	6		0.98	1,124,189
鹿児島	20		5	15		1.19	1,678,731
沖縄	4		3	1		0.28	1,449,819
合計	914	8	294	611	1	0.71	128,104,801

\* 人口は、3月31日現在の平成26年度消防防災・震災対策現況調査による。

都道府県別死者数(放火自殺者等を除く)



都道府県別人口10万人当たりの死者数(放火自殺者等を除く)



### (9) 年齢別死者数

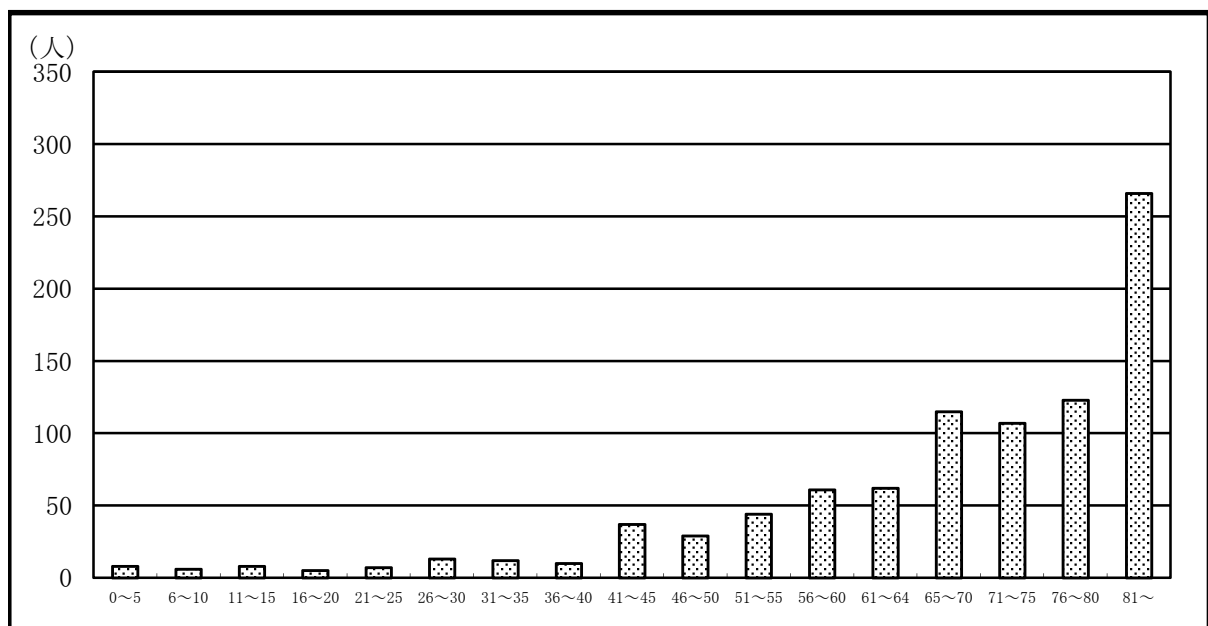
住宅火災における年齢別の死者は高齢者に多くみられ、65歳以上の高齢者の死者(611人)(前年比88人減)は全体の66.8%(前年69.5%)を占めている。

また、人口10万人当たりの死者数についても、同様の傾向がみられる。

年齢別死者数(放火自殺者等を除く)

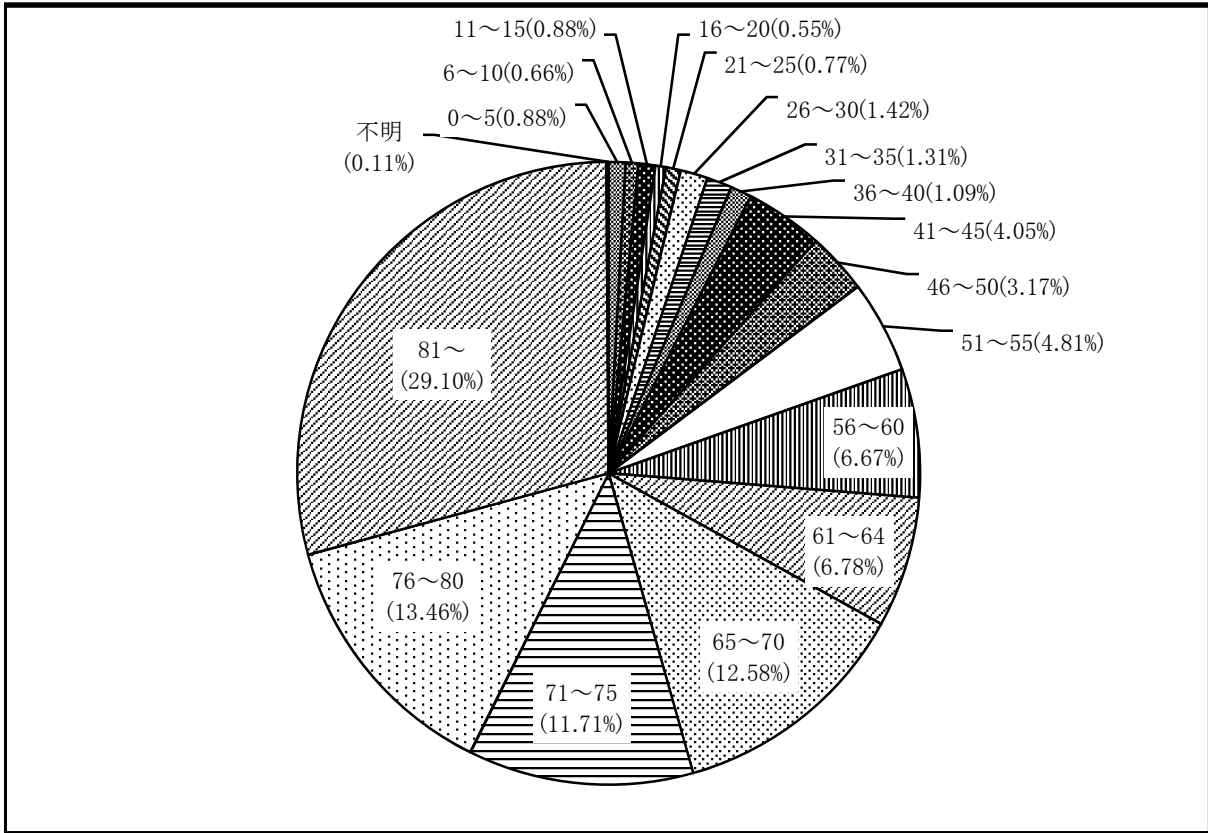
年 齢	死者数 (人)	比率 (%)	人口10万人当たり の死者数(人)
0 ～ 5	8	0.88	0.13
6 ～ 10	6	0.66	0.11
11 ～ 15	8	0.88	0.14
16 ～ 20	5	0.55	0.08
21 ～ 25	7	0.77	0.12
26 ～ 30	13	1.42	0.20
31 ～ 35	12	1.31	0.16
36 ～ 40	10	1.09	0.12
41 ～ 45	37	4.05	0.38
46 ～ 50	29	3.17	0.34
51 ～ 55	44	4.81	0.57
56 ～ 60	61	6.67	0.80
61 ～ 64	62	6.78	0.90
65 ～ 70	115	12.58	1.05
71 ～ 75	107	11.71	1.39
76 ～ 80	123	13.46	2.04
81 ～	266	29.10	3.05
不 明	1	0.11	—
合 計	914	100.0	—

年齢別死者数(放火自殺者等を除く)

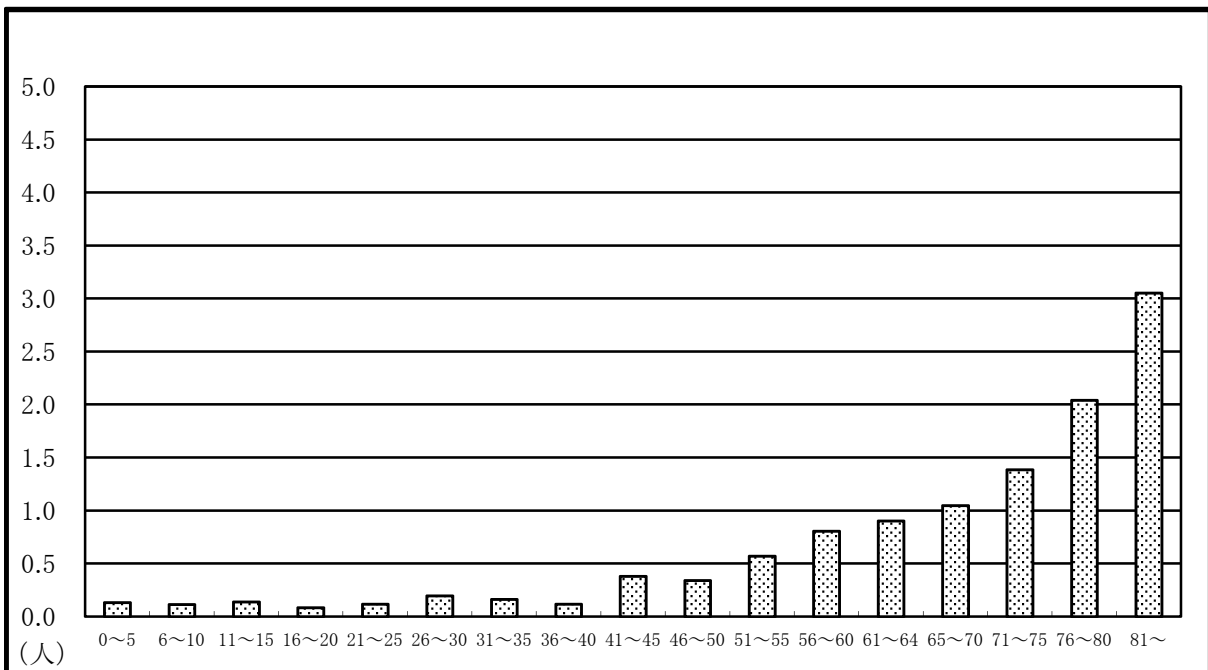


(\* 年齢の不明は除く)

年齢別死者数(放火自殺者等を除く)



年齢別人口10万人当たりの死者数(放火自殺者等を除く)



(\*年齢の不明は除く)



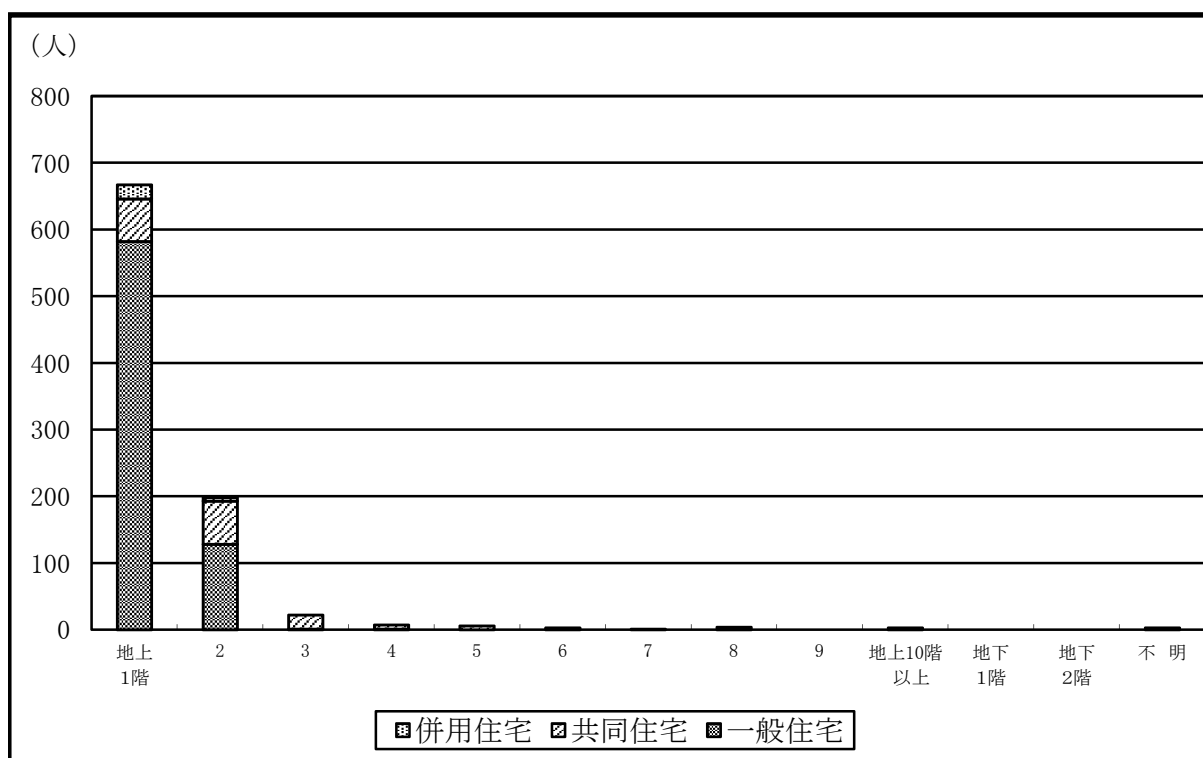
### (10) 階別死者数

住宅火災における階別の死者数は、「1階」と「2階」で全体の94.6%(前年92.4%)に当たる865人(前年比65人減)となっている。

階別死者数(放火自殺者等を除く)

階数	区分	合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅
地上1階		667	582	64	21
2		198	128	65	5
3		22	1	21	
4		7	1	6	
5		6		6	
6		3	1	2	
7		1		1	
8		4		4	
9		0			
地上10階以上		3		3	
地下1階		0			
地下2階		0			
不明		3	3		
合計		914	716	172	26

階別死者数(放火自殺者等を除く)



(11) 死に至った経過別死者数(年齢別)

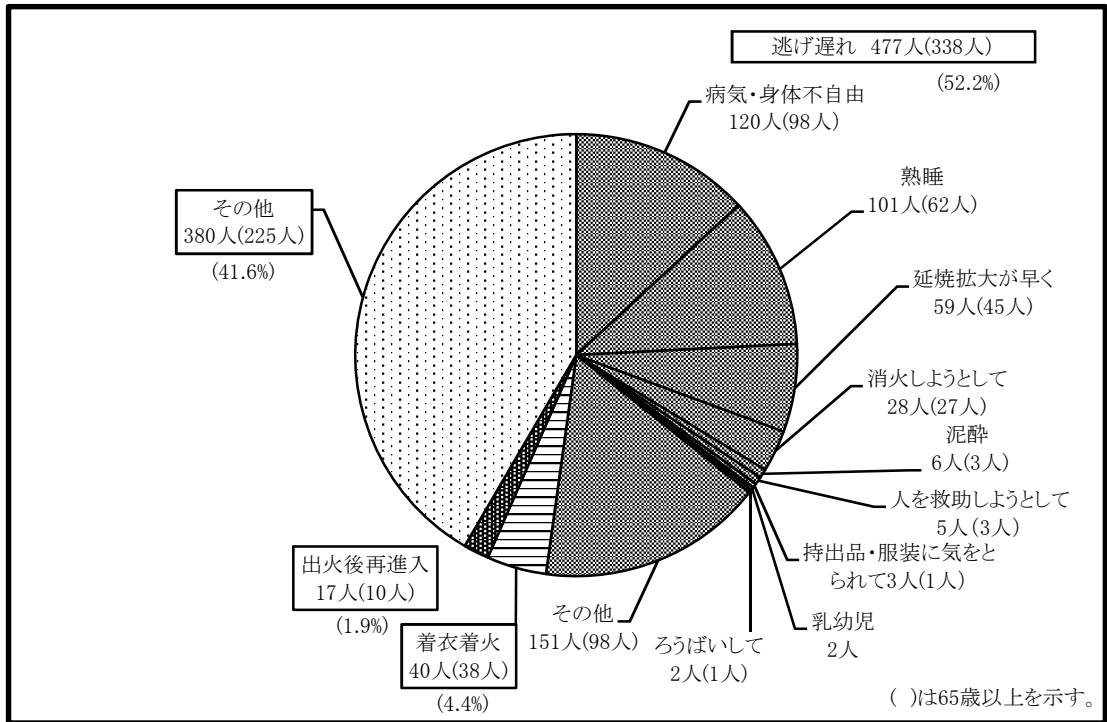
住宅火災での死者数を経過別にみると、「逃げ遅れ」が477人(前年比67人減)(52.2%)(前年54.1%)と最も多く、以下「着衣着火」が40人(前年32人減)(4.4%)(前年7.2%)、「出火後再進入」が17人(前年比5人増)(1.9%)(前年1.2%)と前年と同じ順になっている。

また、「着衣着火」での死者には65歳以上の高齢者が多く、40人中38人(95.0%)(前年72人中65人(90.3%))となっている。

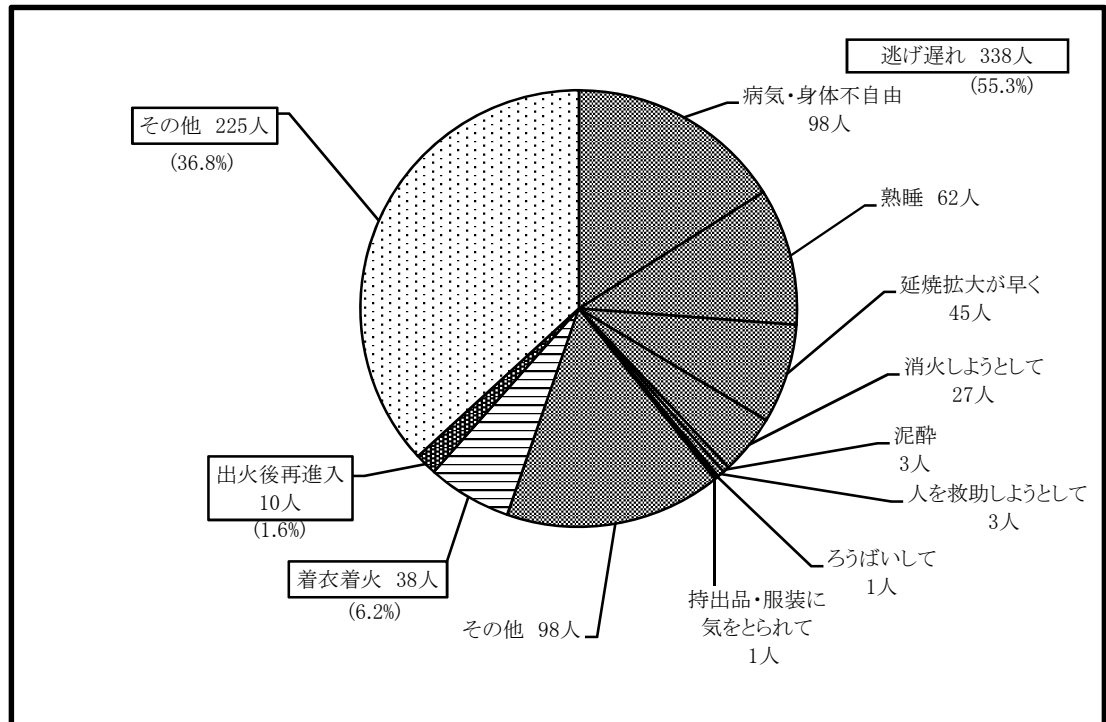
死に至った経過別死者数(放火自殺者等を除く)

区 分		5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上	不 明	計 (%)		
逃げ遅れ	発見が遅れ、気付いた時は火煙が回り、既に逃げ道がなかったと思われるもの(全く気付かなかった場合を含む)	熟睡	1	38	62	101	176 (19.3)	
		泥酔		2	1	3		
		病気・身体不自由		7	21	28		
		その他		15	29	44		
	判断力に欠け、あるいは、体力的条件が悪く、ほとんど避難できなかったと思われるもの	乳幼児	2				2	52 (5.7)
		泥酔		1	2		3	
		病気・身体不自由		7	27		34	
		老衰			4		4	
		その他		4	5		9	
	延焼拡大が速かった等のため、ほとんど避難ができなかったと思われるもの	ガス爆発のため		1			1	18 (2.0)
		危険物燃焼のため		2			2	
		その他	1	2	12		15	
	逃げれば逃げられたが、逃げる機会を失ったと思われるもの	ろうばいして		1	1		2	51 (5.6)
持出品・服装に気をとられて			2	1		3		
火災をふれ回っているうち						0		
消火しようとして			1	27		28		
人を救助しようとして			2	3		5		
その他			6	7		13		
避難行動を起こしているが逃げ切れなかったと思われるもの(一応自力避難したが、避難中、火傷、ガス吸引により、病院等で死亡した場合を含む)	身体不自由のため		8	50		58	180 (19.7)	
	延焼拡大が早く		14	45		59		
	逃げ道を間違えて			6		6		
	出入口施錠のため		2	2		4		
	その他		20	33		53		
出火後再進入	いったん屋外へ避難後、再進入したと思われるもの。出火時屋外にいて出火後再進入したと思われるもの	救助・物品搬出のため		2		2	17 (1.9)	
		消火のため		2	6	8		
		その他		3	4	7		
着衣着火	着衣着火し、火傷(熱傷)あるいはガス中毒により死亡したと思われるもの	喫煙中			3	3	40 (4.4)	
		炊事中			13	13		
		採暖中			2	2		
		たき火中				0		
		火遊び				0		
		その他火気取扱中			12	12		
		その他		2	8	10		
		その他						
その他	上記以外の経過等		5	6		11	380 (41.6)	
	不明・調査中	4	145	219	1	369		
合 計		8	294	611	1	914		

死に至った経過別死者発生状況(放火自殺者等を除く)



65歳以上の死に至った経過別死者発生状況(放火自殺者等を除く)



## (12) 死に至った経過別死者数(タイプ別)

次のページは、高齢者、乳幼児及び病気・身体不自由者等と健常者とを次のようなタイプ(1~6)に分類し、死に至った経過を分析したもので、行動制約度が高いほど死者発生数が多いことがわかる。

- ①タイプ1 ; 補助手薄な自力避難困難者
- ②タイプ2 ; 補助手薄な行動制約者
- ③タイプ3 ; 補助手薄でない自力避難困難者
- ④タイプ4 ; 補助手薄でない行動制約者
- ⑤タイプ5 ; 補助手薄な健常者
- ⑥タイプ6 ; 補助手薄でない健常者

家族それぞれの火災時の対応能力を次の様に分類する。

自力避難困難者 ; 火災時に自力で避難することが困難と思われる、寝たきりの人、歩行不可能な人、歩行困難な人、5歳以下の乳幼児又はこれらに準ずる人をいう。

補助手薄 ; 補助可能者と同居していないか、又は同居していても一人になる時間が多い等のため火災時に補助可能者の手助けが期待できない状態をいう。

補助可能者 ; 12歳以上65歳未満で火災時に初期消火、通報、避難補助等を的確に行うことができる人をいう。

高齢者 ; 65歳以上の人をいう。

行動制約者 ; 火災時に自分だけは何とか避難できるが、初期消火、通報、避難補助等が困難と思われる人で、歩行以外の身体障害のある人、高齢者又はこれに準ずる人をいう。

健常者 ; 自力避難困難者又は行動制約者以外の人をいう。

死に至った経過別死者(タイプ別)(放火自殺者等を除く)

区 分		1	2	3	4	5	6	計(%)			
逃げ遅れ	発見が遅れ、気付いた時は火煙が回り、既に逃げ道がなかったと思われるもの(全く気付かなかった場合を含む)	熟睡	8	34	5	30	13	11	101	176 (19.3)	
		泥酔		1			2		3		
		病気・身体不自由	10	4	12	2			28		
		その他	5	18	3	7	6	5	44		
判断力に欠け、あるいは、体力的条件が悪く、ほとんど避難できなかったと思われるもの		乳幼児			2				2	52 (5.7)	
		泥酔		2		1			3		
		病気・身体不自由	18	6	6	3		1	34		
		老衰	2			2			4		
		その他		4		3	1	1	9		
延焼拡大が速かった等のため、ほとんど避難ができなかったと思われるもの		ガス爆発のため					1		1	18 (2.0)	
		危険物燃焼のため	1				1		2		
		その他	2	3	2	7		1	15		
逃げれば逃げられたが、逃げる機会を失ったと思われるもの		ろうばいして		1			1		2	51 (5.6)	
		持出品・服装に気をとられて				1	1	1	3		
		火災をふれ回っているうち									0
		消火しようとして	3	10	2	13					28
		人を救助しようとして				3			2		5
		その他	2	4	1	3	1	2			13
避難行動を起こしているが逃げ切れなかったと思われるもの(一応自力避難したが、避難中、火傷、ガス吸引により、病院等で死亡した場合を含む)		身体不自由のため	34	1	20	3			58	180 (19.7)	
		延焼拡大が早く	3	23	2	18	4	9	59		
		逃げ道を間違えて	1	4		1					6
		出入口施錠のため				2	2				4
		その他	2	18	2	18	6	7			53
出火後再進入	いったん屋外へ避難後、再進入したと思われるもの。出火時屋外にいて出火後進入したものと思	救助・物品搬出のため						2	2	17 (1.9)	
		消火のため		3		3		2	8		
		その他	1			5	1		7		
着衣着火	着衣着火し、火傷(熱傷)あるいはガス中毒により死亡したと思われるもの	喫煙中		1	2				3	40 (4.4)	
		炊事中	2	8		3			13		
		採暖中		2							2
		たき火中									0
		火遊び									0
		その他火気取扱中	5	5		2					12
		その他	2	4		3	1				10
		上記以外の経過等		8		1	1	1			11
その他		不明・調査中	42	129	22	68	61	47	369	380 (41.6)	
合 計			143	293	81	202	103	92	914		

### (13) 発火源と出火箇所の関係

死者の発生した住宅火災における発火源と出火箇所の関係をみると、出火箇所が「居室」で発火源が「たばこ」での死者数が120人(13.1%)、「居室」と「ストーブ」が78人(8.5%)となっている。

発火源と出火箇所の関係(放火自殺者等を除く)

発火源 出火箇所	たばこ	ストーブ	電気器具類	こんろ	ライター	ロソク	灯明	こたつ	風呂かまど	その他	不明	合計
居室	120 (13.1)	78 (8.5)	40 (4.4)	16 (1.8)	21 (2.3)	27 (3.0)	9 (1.0)	-	26 (2.8)	314 (34.4)	651 (71.2)	
台所	3 (0.3)	6 (0.7)	9 (1.0)	31 (3.4)	1 (0.1)	-	-	-	2 (0.2)	38 (4.2)	90 (9.8)	
玄関・ホール	-	-	1 (0.1)	-	3 (0.3)	-	-	-	2 (0.2)	13 (1.4)	19 (2.1)	
廊下・階段	-	-	1 (0.1)	-	2 (0.2)	2 (0.2)	-	-	1 (0.1)	11 (1.2)	17 (1.9)	
食事室	-	2 (0.2)	-	3 (0.3)	1 (0.1)	-	-	-	1 (0.1)	6 (0.7)	13 (1.4)	
押入・納戸	1 (0.1)	-	-	-	1 (0.1)	-	-	-	2 (0.2)	4 (0.4)	8 (0.9)	
浴室・洗面所	1 (0.1)	1 (0.1)	-	-	-	1 (0.1)	-	-	1 (0.1)	-	4 (0.4)	
その他	-	1 (0.1)	8 (0.9)	2 (0.2)	-	-	-	1 (0.1)	8 (0.9)	18 (2.0)	38 (4.2)	
不明	-	1 (0.1)	-	-	1 (0.1)	-	-	-	3 (0.3)	69 (7.5)	74 (8.1)	
合計	125 (13.7)	89 (9.7)	59 (6.5)	52 (5.7)	30 (3.3)	30 (3.3)	9 (1.0)	1 (0.1)	46 (5.0)	473 (51.8)	914 (100.0)	

(\* ( )内は死者全体に対する割合である。)

#### (14) 発火源と着火物の関係

死者の発生した住宅火災における発火源と着火物の関係をみると、発火源が「たばこ」で着火物が「ふとん類」での死者が46人(5.0%)、「ストーブ」と「ふとん類」の26人(2.8%)、「ストーブ」と「衣類」、「こんろ」と「衣類」がそれぞれ20人(2.2%)の順となっている。

発火源と着火物の関係(放火自殺者等を除く)

発火源 着火物	たばこ	ストーブ	電気器具類	こんろ	ライター	ロケットソク	こたつ	風呂かまど	その他	不明	合計
ふとん類	46 (5.0)	26 (2.8)	3 (0.3)	-	5 (0.5)	3 (0.3)	3 (0.3)	-	10 (1.1)	8 (0.9)	104 (11.4)
衣類	7 (0.8)	20 (2.2)	3 (0.3)	20 (2.2)	8 (0.9)	4 (0.4)	2 (0.2)	1 (0.1)	1 (0.1)	6 (0.7)	72 (7.9)
屑類	17 (1.9)	7 (0.8)	3 (0.3)	4 (0.4)	2 (0.2)	6 (0.7)	-	-	3 (0.3)	1 (0.1)	43 (4.7)
内装・建具類	8 (0.9)	2 (0.2)	18 (2.0)	1 (0.1)	1 (0.1)	-	-	-	4 (0.4)	2 (0.2)	36 (3.9)
ガソリン・灯油類	-	11 (1.2)	-	3 (0.3)	4 (0.4)	1 (0.1)	-	-	3 (0.3)	9 (1.0)	31 (3.4)
繊維類	11 (1.2)	8 (0.9)	1 (0.1)	1 (0.1)	2 (0.2)	1 (0.1)	1 (0.1)	-	1 (0.1)	2 (0.2)	28 (3.1)
紙類	5 (0.5)	1 (0.1)	5 (0.5)	1 (0.1)	-	2 (0.2)	-	-	5 (0.5)	-	19 (2.1)
カーテン じゅうたん類	8 (0.9)	1 (0.1)	6 (0.7)	-	-	1 (0.1)	2 (0.2)	-	-	-	18 (2.0)
家具類	5 (0.5)	2 (0.2)	1 (0.1)	2 (0.2)	-	1 (0.1)	-	-	-	2 (0.2)	13 (1.4)
ガス類	-	-	-	-	-	-	-	-	1 (0.1)	3 (0.3)	4 (0.4)
天ぷら油類	-	-	-	3 (0.3)	-	-	-	-	-	-	3 (0.3)
その他	5 (0.5)	2 (0.2)	13 (1.4)	8 (0.9)	3 (0.3)	3 (0.3)	1 (0.1)	-	9 (1.0)	3 (0.3)	47 (5.1)
不明	13 (1.4)	9 (1.0)	6 (0.7)	9 (1.0)	5 (0.5)	8 (0.9)	-	-	9 (1.0)	437 (47.8)	496 (54.3)
合計	125 (13.7)	89 (9.7)	59 (6.5)	52 (5.7)	30 (3.3)	30 (3.3)	9 (1.0)	1 (0.1)	46 (5.0)	473 (51.8)	914 (100.0)

(\* ( )内は死者全体に対する割合である。)

### (15) 出火箇所と着火物の関係

死者の発生した住宅火災における出火箇所と着火物の関係をみると、出火箇所が「居室」で着火物が「ふとん類」での死者数が104人(11.4%)、「居室」と「衣類」が41人(4.5%)、「居室」と「屑類」が32人(3.5%)となっている。

出火箇所と着火物の関係(放火自殺者等を除く)

出火箇所 着火物	居室	台所	玄関・ホール	廊下・階段	食事室	押入・納戸	浴室・洗面所	その他	不明	合計
ふとん類	104 (11.4)	-	-	-	-	-	-	-	-	104 (11.4)
衣類	41 (4.5)	17 (1.9)	3 (0.3)	-	3 (0.3)	2 (0.2)	2 (0.2)	2 (0.2)	2 (0.2)	72 (7.9)
屑類	32 (3.5)	3 (0.3)	-	4 (0.4)	2 (0.2)	-	1 (0.1)	1 (0.1)	-	43 (4.7)
内装・建具類	23 (2.5)	2 (0.2)	1 (0.1)	-	-	-	1 (0.1)	9 (1.0)	-	36 (3.9)
ガソリン・灯油類	21 (2.3)	5 (0.5)	2 (0.2)	-	-	1 (0.1)	-	1 (0.1)	1 (0.1)	31 (3.4)
繊維類	24 (2.6)	2 (0.2)	-	-	-	-	-	2 (0.2)	-	28 (3.1)
紙類	16 (1.8)	2 (0.2)	-	-	-	-	-	1 (0.1)	-	19 (2.1)
カーテン じゅうたん類	16 (1.8)	2 (0.2)	-	-	-	-	-	-	-	18 (2.0)
家具類	10 (1.1)	2 (0.2)	-	-	-	-	-	1 (0.1)	-	13 (1.4)
ガス類	2 (0.2)	-	2 (0.2)	-	-	-	-	-	-	4 (0.4)
天ぷら油類	-	3 (0.3)	-	-	-	-	-	-	-	3 (0.3)
その他	30 (3.3)	9 (1.0)	1 (0.1)	-	1 (0.1)	-	-	3 (0.3)	3 (0.3)	47 (5.1)
不明	332 (36.3)	43 (4.7)	10 (1.1)	13 (1.4)	7 (0.8)	5 (0.5)	-	18 (2.0)	68 (7.4)	496 (54.3)
合計	651 (71.2)	90 (9.8)	19 (2.1)	17 (1.9)	13 (1.4)	8 (0.9)	4 (0.4)	38 (4.2)	74 (8.1)	914 (100.0)

(\* ( )内は死者全体に対する割合である。)



#### 4 住宅火災による負傷者数

##### (1) 建物火災による負傷者のうち住宅火災による負傷者数

建物火災による負傷者数(放火を除く。)は5,060人(前年比114人減)で、このうち住宅火災による負傷者は3,483人(前年比164人減)(68.8%)(前年70.5%)である。

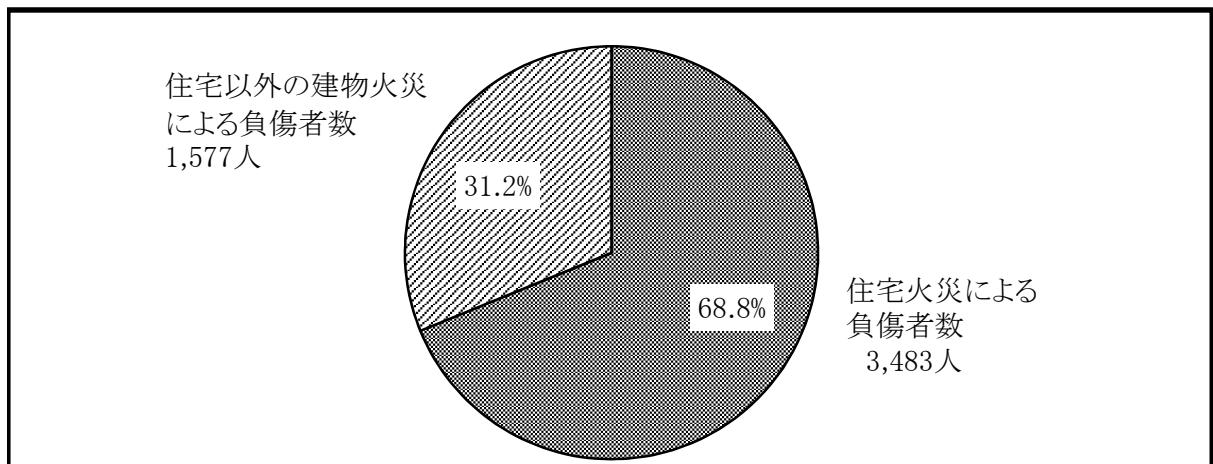
また、住宅火災による負傷者数のうち2,305人(前年比166人減)(66.2%)(前年67.8%)は一般住宅において発生している。

建物火災の負傷者のうち住宅火災による負傷者数(放火を除く)

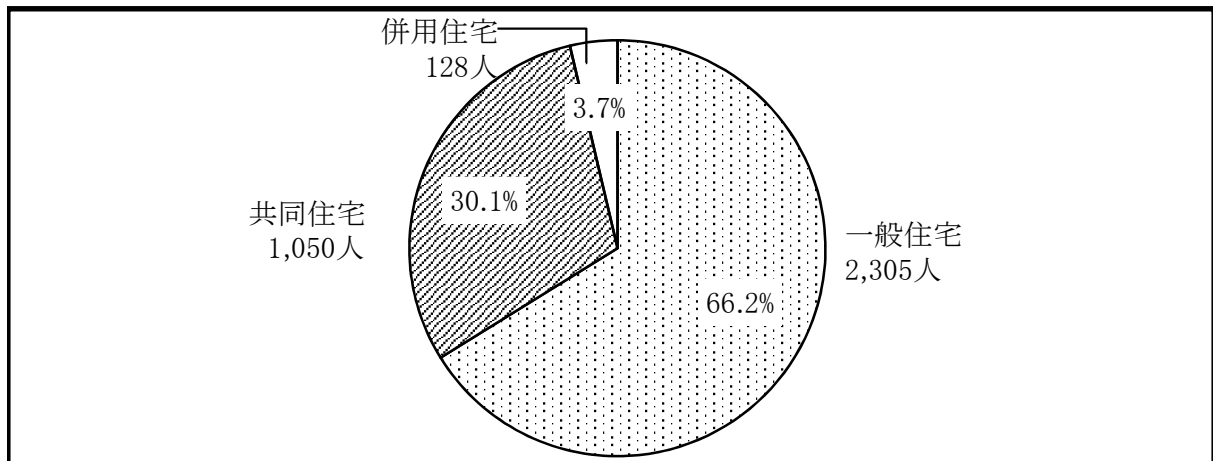
建物火災による 負傷者数(人)	住宅火災による負傷者数(人)				住宅以外の建物火災 による負傷者数(人)
	合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	
5,060	3,483	2,305	1,050	128	1,577
100.0%	68.8%	[66.2%]	[30.1%]	[3.7%]	31.2%

(\* [ ]は、住宅火災による負傷者数(3,483人)に占める割合)

建物火災による負傷者発生状況(放火を除く)



住宅形態別の負傷者発生状況(放火を除く)



## (2) 発火源別負傷者数

負傷者の発生した住宅火災の発火源は、「こんろ」によるものが840人(24.1%)と最も多く、次いで「ストーブ」によるもの425人(12.2%)、「たばこ」によるもの397人(11.4%)となっている。

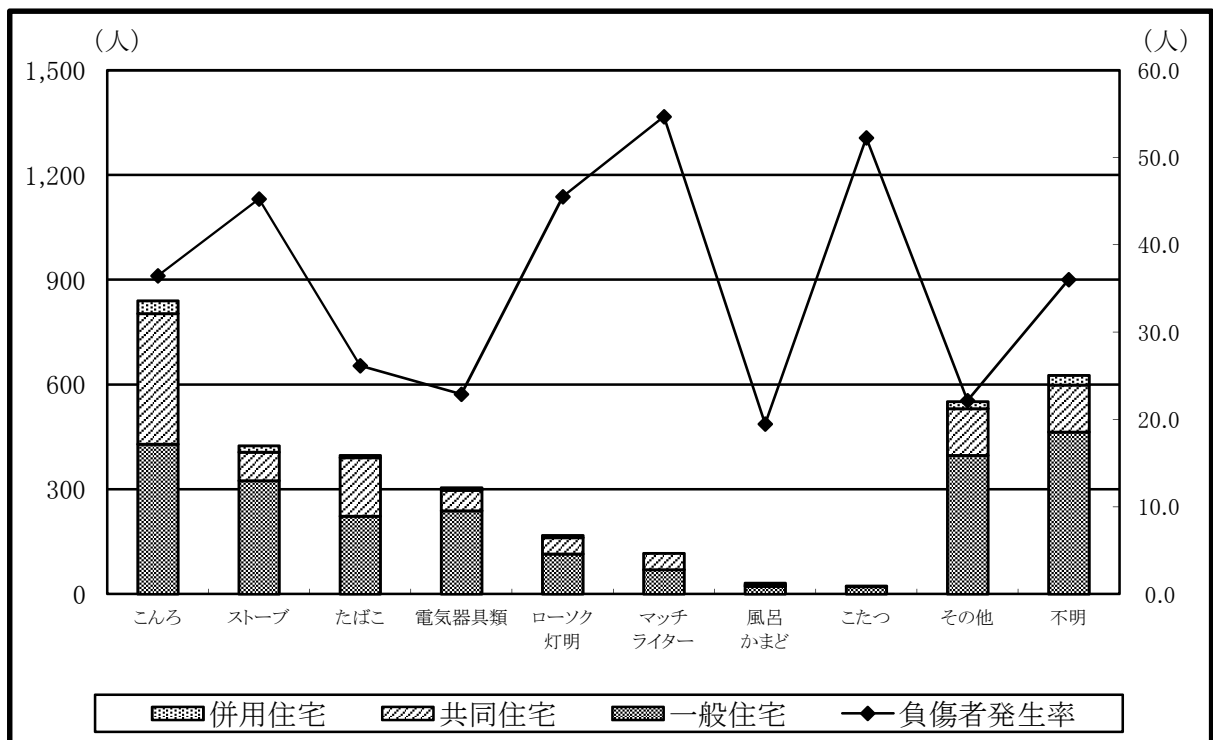
負傷者の発生率をみると、「マッチ・ライター」によるもの117人(54.7%)が、発生件数の割に多くなっている。

発火源別負傷者数(放火を除く)

発火源	区分	建物火災 (人)	住宅火災(人)			住宅火災 件数	負傷者 発生率	
			合計	一般住宅	共同住宅			併用住宅
こ ん ろ		1,211	840	429	374	37	2,304	36.5
ス ト ー ブ		523	425	325	81	19	939	45.3
た ば こ		506	397	223	168	6	1,517	26.2
電 気 器 具 類		463	305	239	58	8	1,332	22.9
ロ ー ソ ク ・ 灯 明		199	168	115	47	6	369	45.5
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー		163	117	70	47	0	214	54.7
風 呂 か ま ど		38	31	22	4	5	159	19.5
こ た つ		24	23	21	2	0	44	52.3
そ の 他		1,093	551	397	134	20	2,486	22.2
不 明		840	626	464	135	27	1,738	36.0
合 計		5,060	3,483	2,305	1,050	128	11,102	31.4

(\* 負傷者発生率は、住宅火災100件当たりの負傷者数を示す。)

発火源別負傷者数(放火を除く)



### (3) 着火物別負傷者数

負傷者の発生した住宅火災の着火物は、「衣類」が420人(12.1%)で最も多く、次いで「天ぷら油類」412人(11.8%)、「ふとん類」348人(10.0%)の順になっている。

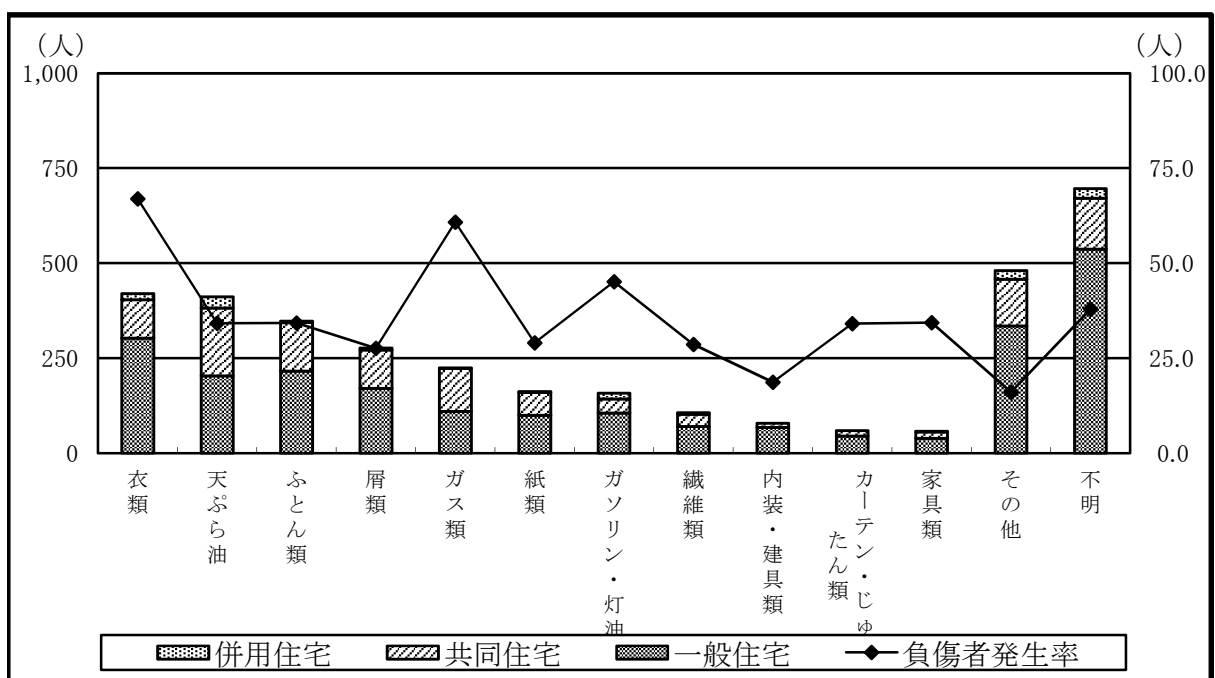
負傷者の発生率をみると「衣類」、「ガス類」が着火物のときに6割をこえて負傷者が発生している。

着火物別負傷者数(放火を除く)

着火物	区分	建物火災 (人)	住宅火災(人)			住宅火災 件数	負傷者 発生率	
			合計	一般住宅	共同住宅			併用住宅
衣類		523	420	303	101	16	627	67.0
天ぷら油類		704	412	204	178	30	1,204	34.2
ふとん類		416	348	216	128	4	1,016	34.3
屑類		397	277	171	101	5	1,002	27.6
ガス類		366	225	110	113	2	370	60.8
紙類		198	162	100	60	2	558	29.0
ガソリン・灯油類		301	158	106	37	15	350	45.1
繊維類		147	107	71	32	4	374	28.6
内装・建具類		111	79	68	11	0	423	18.7
カーテン・じゅうたん類		71	60	45	15	0	176	34.1
家具類		76	58	39	17	2	169	34.3
その他		817	481	335	123	23	2,997	16.0
不明		933	696	537	134	25	1,836	37.9
合計		5,060	3,483	2,305	1,050	128	11,102	31.4

(\* 負傷者発生率は、住宅火災100件当たりの負傷者数を示す。)

着火物別負傷者数(放火を除く)



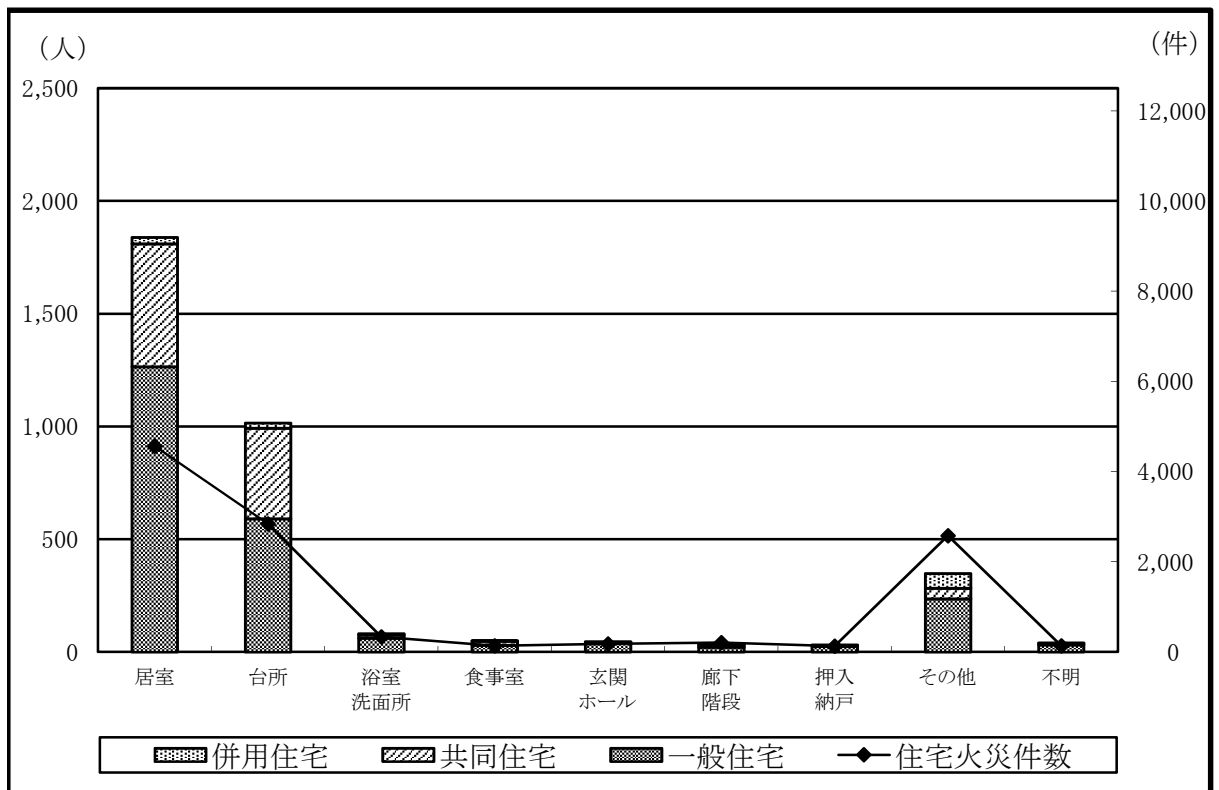
#### (4) 出火箇所別負傷者数

負傷者の発生した住宅火災の出火箇所は、多いものから「居室」の1,839人(52.8%)、「台所」の1,015人(35.7%)と前年と同じ順であり、上位2箇所ですべて2,854人と全体の8割を越す81.9%を占めている。

出火箇所別負傷者数(放火を除く)

出火箇所	区分	建物火災 (人)	住宅火災(人)			住宅火災 件数	
			合計	一般住宅	共同住宅		併用住宅
居 室	室	2,077	1,839	1,265	546	28	4,566
台 所	所	1,141	1,015	591	402	22	2,842
浴 室・洗 面 所		108	81	61	14	6	332
食 事 室		56	49	30	18	1	137
玄 関・ホ ー ル		59	46	43	3	0	176
廊 下・階 段		57	35	22	10	3	209
押 入・納 戸		42	31	25	4	2	127
そ の 他		1,467	348	236	47	65	2,575
不 明		53	39	32	6	1	138
合 計		5,060	3,483	2,305	1,050	128	11,102

出火箇所別負傷者数(放火を除く)



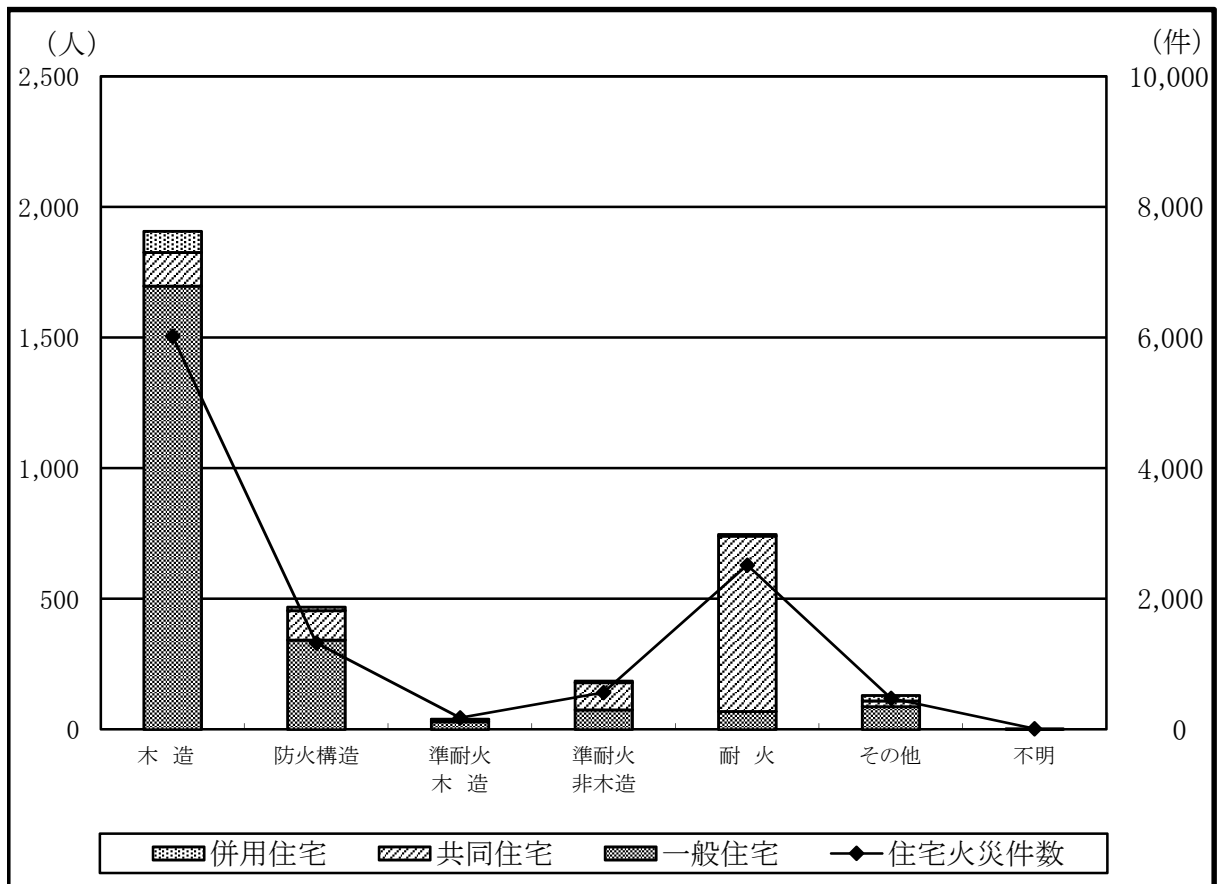
(5) 建物構造別負傷者数

住宅火災の建物構造別負傷者発生状況は、「木造建築物」が1,907人(前年比106人減)と負傷者全体の54.8%(前年55.2%)を占めている。

建物構造別負傷者数(放火を除く)

建物構造	区分	建物火災 (人)	住宅火災(人)			住宅火災 件数	
			合計	一般住宅	共同住宅		併用住宅
木造建築物		2,349	1,907	1,698	129	80	6,024
防火構造建築物		598	469	343	112	14	1,324
準耐火木造建築物		48	40	30	9	1	179
準耐火非木造建築物		478	186	75	105	6	568
耐火建築物		1,276	747	69	672	6	2,516
その他		293	131	87	23	21	477
不明		18	3	3	0	0	14
合計		5,060	3,483	2,305	1,050	128	11,102

建物構造別負傷者数(放火を除く)



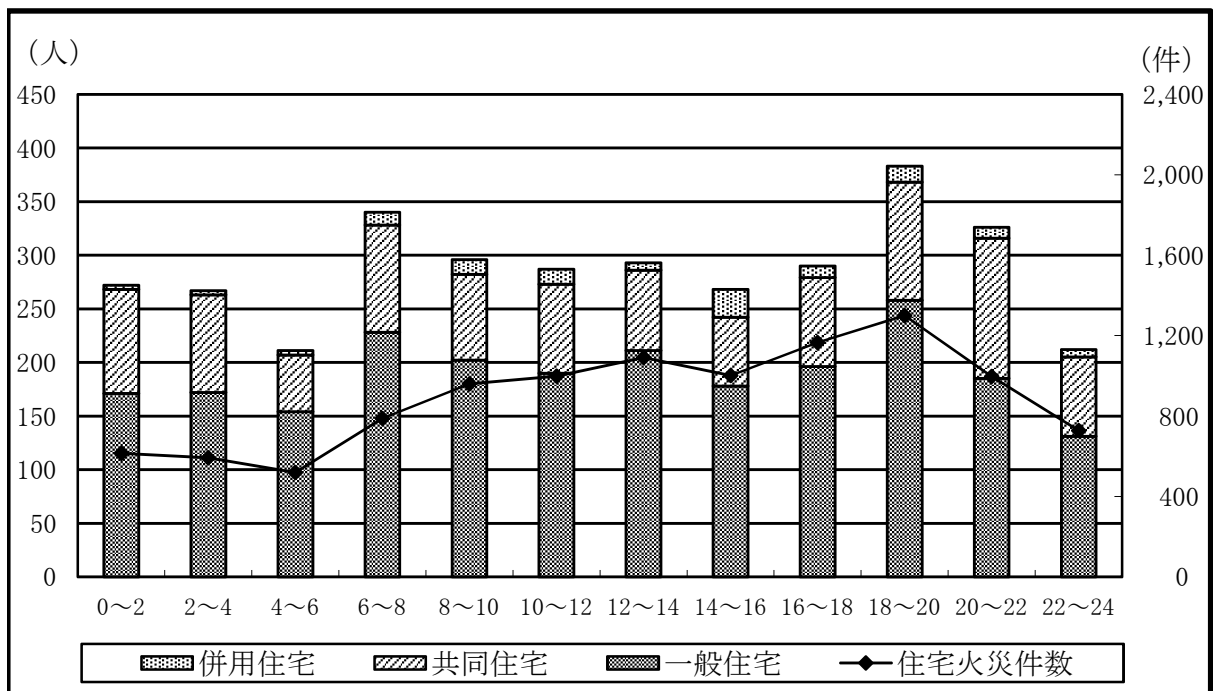
### (6) 時間帯別負傷者数

住宅火災の時間帯別負傷者発生状況は、「18時から20時」が最も多く383人(11.0%)となっている。次いで「6時から8時」の340人(9.8%)、「20時から22時」の326人(9.4%)となっており、朝夕飯準備及び朝夕食の時間帯に多く発生している。

時間帯別負傷者数(放火を除く)

時間帯	区分	建物火災 (人)	住宅火災(人)			住宅火災 件数	
			合計	一般住宅	共同住宅		併用住宅
0 ~ 2		379	272	171	97	4	614
2 ~ 4		321	267	172	91	4	592
4 ~ 6		264	211	154	53	4	519
6 ~ 8		431	340	228	100	12	788
8 ~ 10		437	296	202	80	14	960
10 ~ 12		471	287	190	83	14	999
12 ~ 14		464	293	211	75	7	1,091
14 ~ 16		453	268	178	64	26	1,001
16 ~ 18		461	290	196	83	11	1,166
18 ~ 20		536	383	258	110	15	1,300
20 ~ 22		469	326	185	131	10	997
22 ~ 24		320	212	131	74	7	728
不明		54	38	29	9	0	347
合計		5,060	3,483	2,305	1,050	128	11,102

時間帯別負傷者数(放火を除く)



(\* 時間帯の不明は除く)

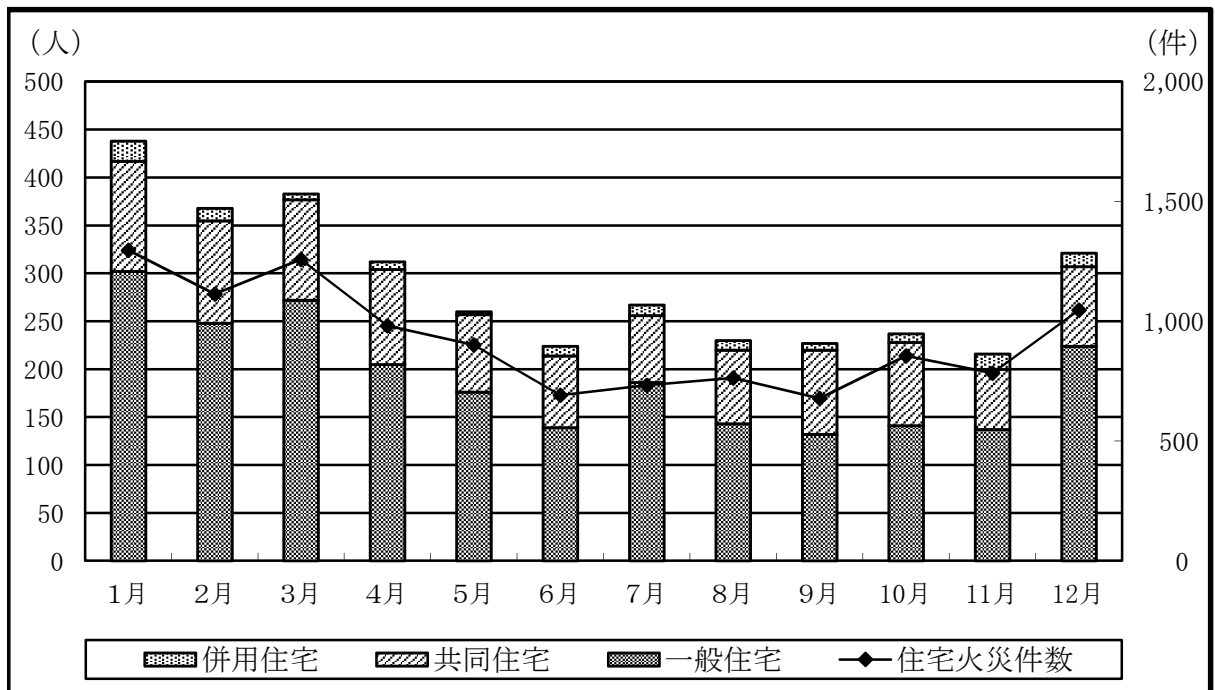
### (7) 月別負傷者数

住宅火災の月別負傷者発生状況は、概ね住宅火災件数と比例して、1月から3月、12月までの4ヶ月間に多く、全体の43.4%(前年44.7%)にあたる1,510人(前年比119人減)の負傷者が発生している。

月別負傷者数(放火を除く)

月	区分	建物火災 (人)	住宅火災(人)			住宅火災 件数	
			合計	一般住宅	共同住宅		併用住宅
1月		583	438	302	115	21	1,297
2月		518	368	248	107	13	1,114
3月		557	383	272	105	6	1,258
4月		463	312	205	99	8	981
5月		408	260	176	81	3	901
6月		336	224	139	75	10	691
7月		384	267	186	70	11	733
8月		343	230	143	77	10	763
9月		340	227	132	88	7	678
10月		352	237	141	87	9	856
11月		312	216	137	63	16	784
12月		464	321	224	83	14	1,046
合計		5,060	3,483	2,305	1,050	128	11,102

月別負傷者数(放火を除く)



## (8) 都道府県別負傷者数

住宅火災による負傷者数の多い都道府県は、「東京都(428人)」、「大阪府(279人)」、次いで「埼玉県(194人)」の順となっており、少ない都道府県は、「福井県・沖縄県(12人)」、「鳥取県・徳島県(17人)」、「島根県(18人)」の順となっている。

また、10万世帯当たりの負傷者数は、「秋田県」の11.8人が最も多く、次いで「岩手県」の9.5人、「青森県」の9.0人になっている。

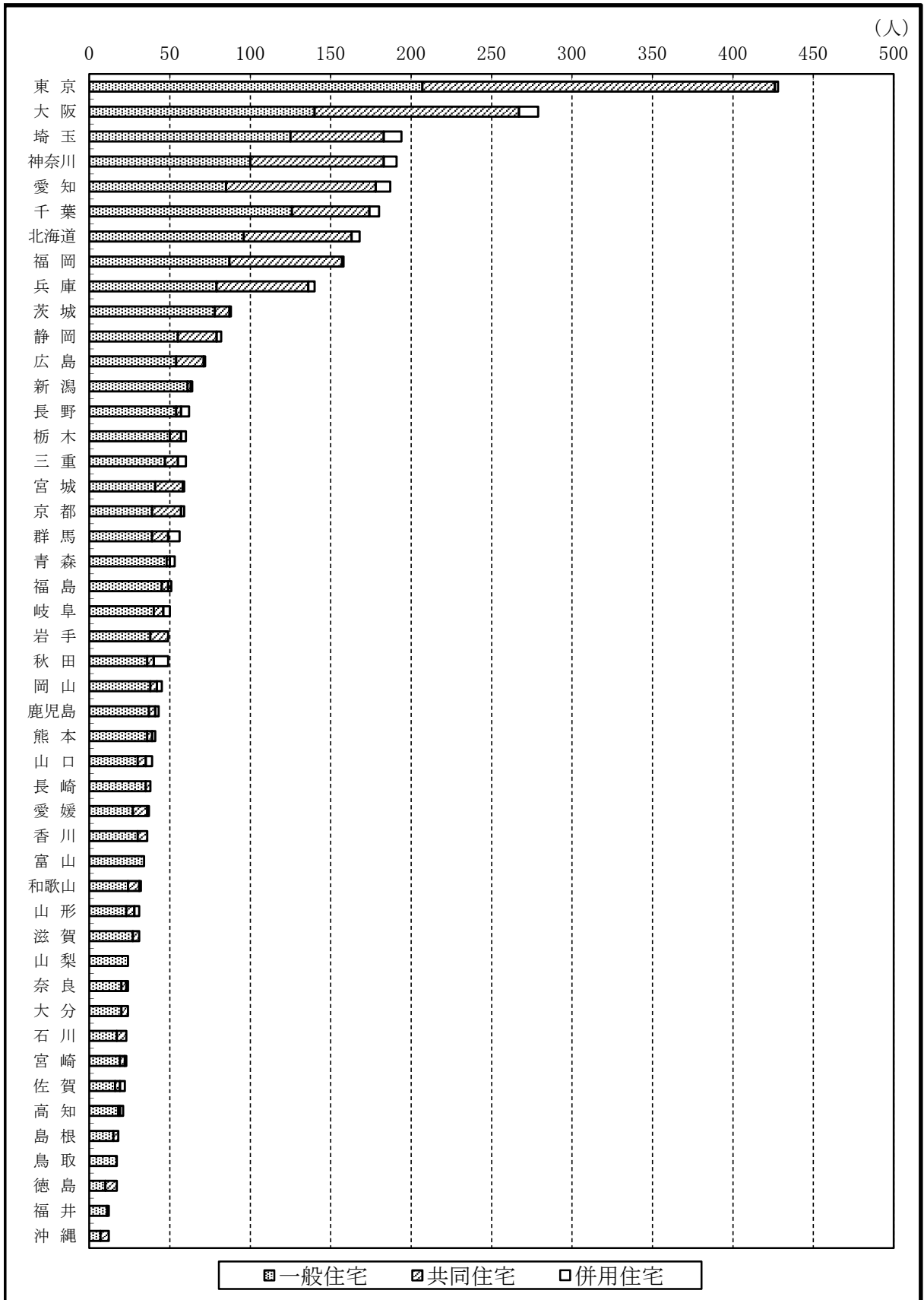
都道府県別負傷者数(放火を除く)

都道府県名	建物火災 (人)	住宅火災(人)				10万世帯当 たりの負傷者数	世帯数
		合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅		
北海道	265	168	96	67	5	6.1	2,738,320
青森	82	53	48	2	3	9.0	585,814
岩手	62	49	38	11	0	9.5	518,036
宮城	83	59	41	17	1	6.1	964,107
秋田	70	49	36	4	9	11.8	415,210
山形	49	31	23	5	3	7.6	407,980
福島	72	51	45	4	2	6.8	747,907
茨城	129	88	78	9	1	7.4	1,193,222
栃木	75	60	50	7	3	7.7	775,603
群馬	99	56	39	10	7	6.9	817,156
埼玉	254	194	125	58	11	6.2	3,137,102
千葉	243	180	126	48	6	6.6	2,738,047
東京	716	428	207	219	2	6.3	6,808,641
神奈川	276	191	100	83	8	4.7	4,021,496
新潟	83	64	61	2	1	7.3	879,737
富山	41	34	34	0	0	8.3	408,710
石川	31	23	17	6	0	4.9	469,368
福井	19	12	11	1	0	4.2	286,158
山梨	34	24	24	0	0	6.8	351,966
長野	90	62	54	3	5	7.3	846,762
岐阜	82	50	40	6	4	6.3	797,835
静岡	108	82	55	24	3	5.3	1,533,254
愛知	267	187	85	93	9	6.0	3,130,697
三重	84	60	47	8	5	7.7	783,195
滋賀	49	31	27	4	0	5.6	555,407
京都	87	59	39	18	2	5.0	1,185,019
大阪	380	279	140	127	12	6.8	4,089,821
兵庫	189	140	79	57	4	5.8	2,411,217
奈良	36	24	20	3	1	4.1	580,868
和歌山	45	32	24	7	1	7.4	430,720
鳥取	26	17	17	0	0	7.3	233,101
島根	23	18	15	3	0	6.3	285,456
岡山	74	45	38	4	3	5.5	823,841
広島	104	72	54	17	1	5.6	1,281,863
山口	52	39	30	5	4	5.9	656,573
徳島	27	17	10	7	0	5.1	330,900
香川	41	36	30	6	0	8.4	430,287
愛媛	50	37	27	9	1	5.7	647,336
高知	28	21	18	1	2	6.0	352,028
福岡	220	158	87	70	1	6.7	2,341,422
佐賀	34	22	16	3	3	6.8	322,900
長崎	59	38	35	3	0	5.7	671,288
熊本	60	41	36	3	2	5.4	761,653
大分	37	24	20	4	0	4.5	527,519
宮崎	36	23	19	3	1	4.6	501,041
鹿児島	64	43	37	4	2	5.5	784,886
沖縄	25	12	7	5	0	2.0	610,912
合計	5,060	3,483	2,305	1,050	128	6.2	56,172,381

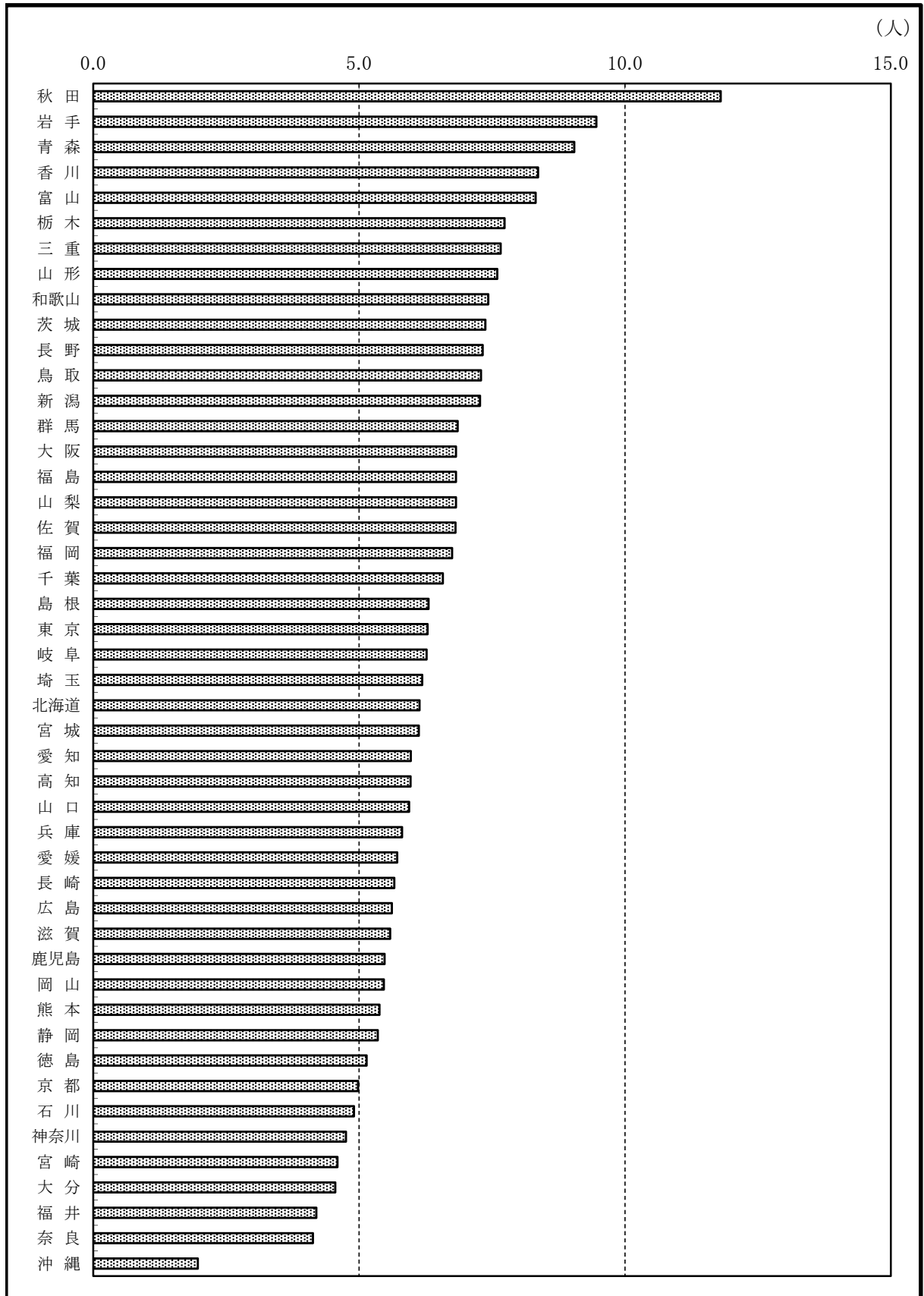
\* 世帯数は、3月31日現在の平成27年度消防防災・震災対策現況調査による。



都道府県別負傷者数(放火を除く)



都道府県別10万世帯当たりの負傷者数(放火を除く)



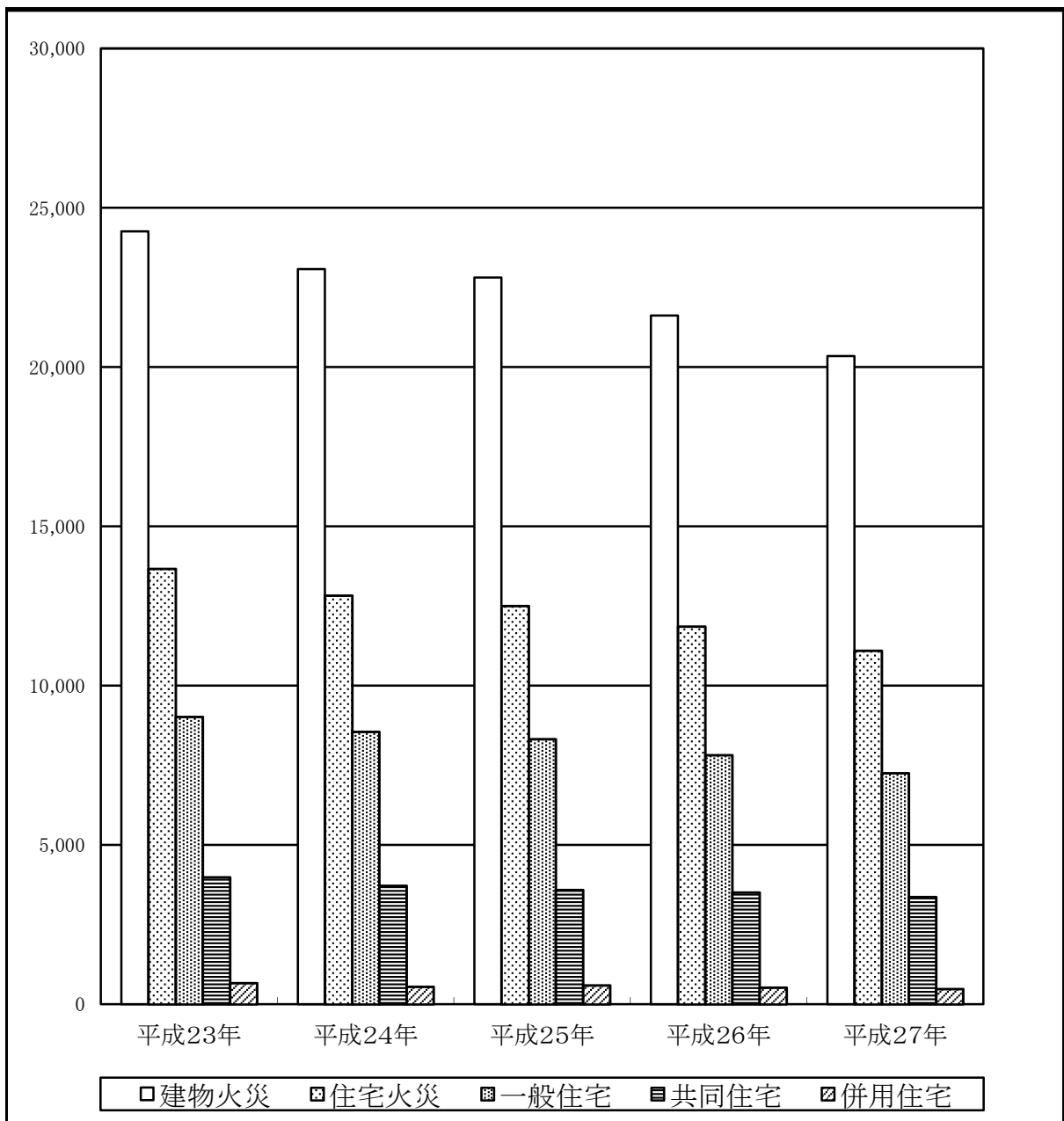
## 5 3名以上の死者が発生した住宅火災

番号	月 日	状 況
1	1月 2日	名古屋市昭和区の共同住宅より出火。死者3人。
2	1月 14日	群馬県みどり市の住宅より出火。死者3人。負傷者1人。
3	1月 20日	神戸市長田区の共同住宅より出火。死者3人。負傷者3人。
4	1月 23日	大分県中津市の住宅より出火。死者3人。負傷者1人。
5	3月 1日	大阪府高石市の住宅より出火。死者4人。
6	3月 9日	福岡県大牟田市の住宅より出火。死者3人。
7	3月 26日	奈良県生駒市の住宅より出火。死者3人。負傷者1人。
8	4月 29日	福岡県宗像市の住宅より出火。死者3人。
9	5月 1日	秋田県湯沢市の住宅より出火。死者7人。
10	7月 5日	大分県杵築市の住宅より出火。死者4人。負傷者3人。
11	7月 23日	長崎県長崎市の併用住宅より出火。死者3人。
12	8月 15日	奈良県葛城市の住宅より出火。死者3人。
13	10月 27日	茨城県那珂市の住宅より出火。死者3人。
14	11月 1日	宮崎県都城市の併用住宅より出火。死者4人。負傷者1人。

(参考資料 1)

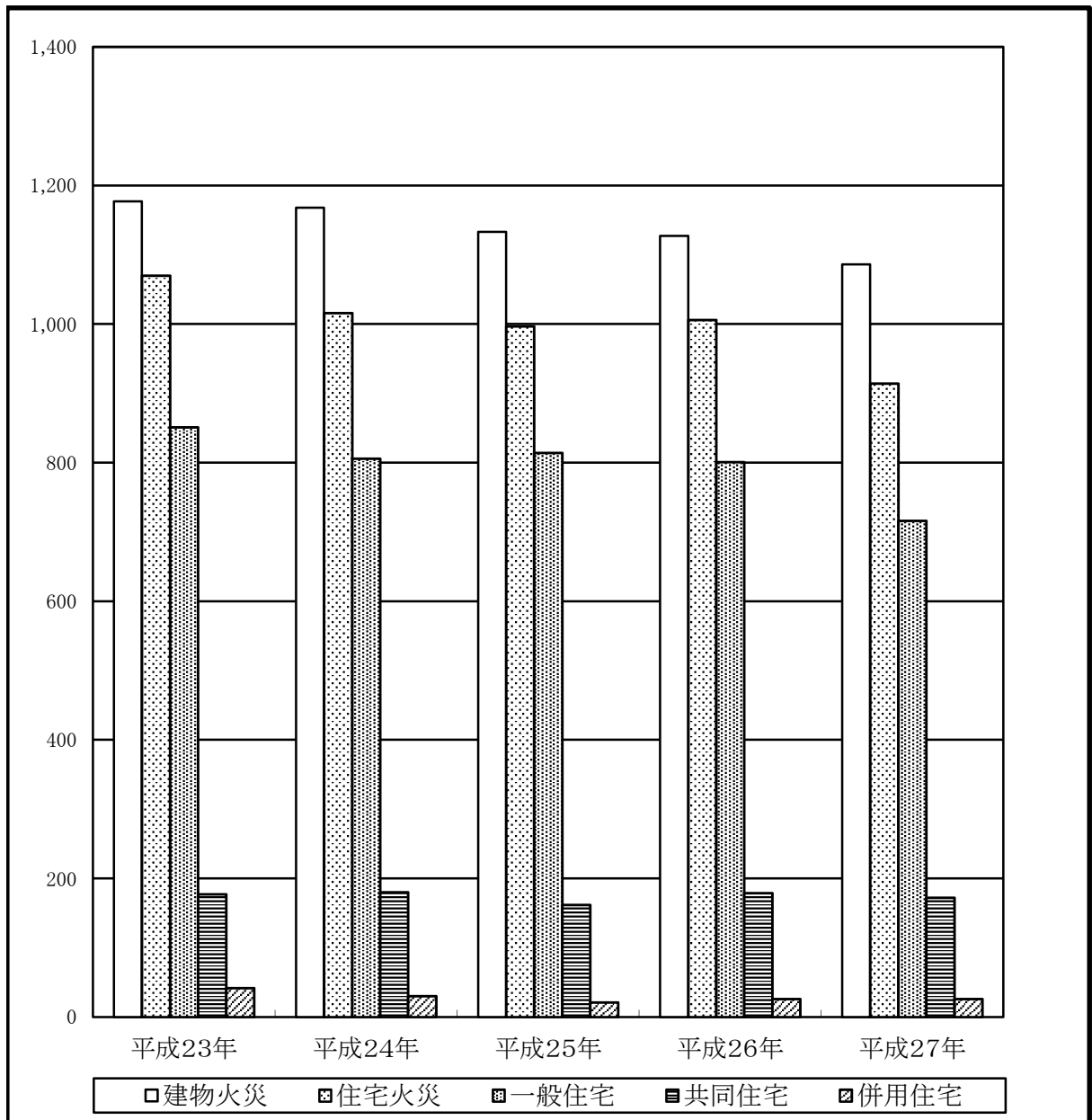
過去5年間の出火件数の推移(放火を除く)

種別	年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
建物火災		24,260	23,075	22,808	21,620	20,349
住宅火災		13,673	12,832	12,502	11,855	11,102
一般住宅		9,024	8,556	8,322	7,817	7,259
共同住宅		3,984	3,723	3,587	3,511	3,365
併用住宅		665	553	593	527	478



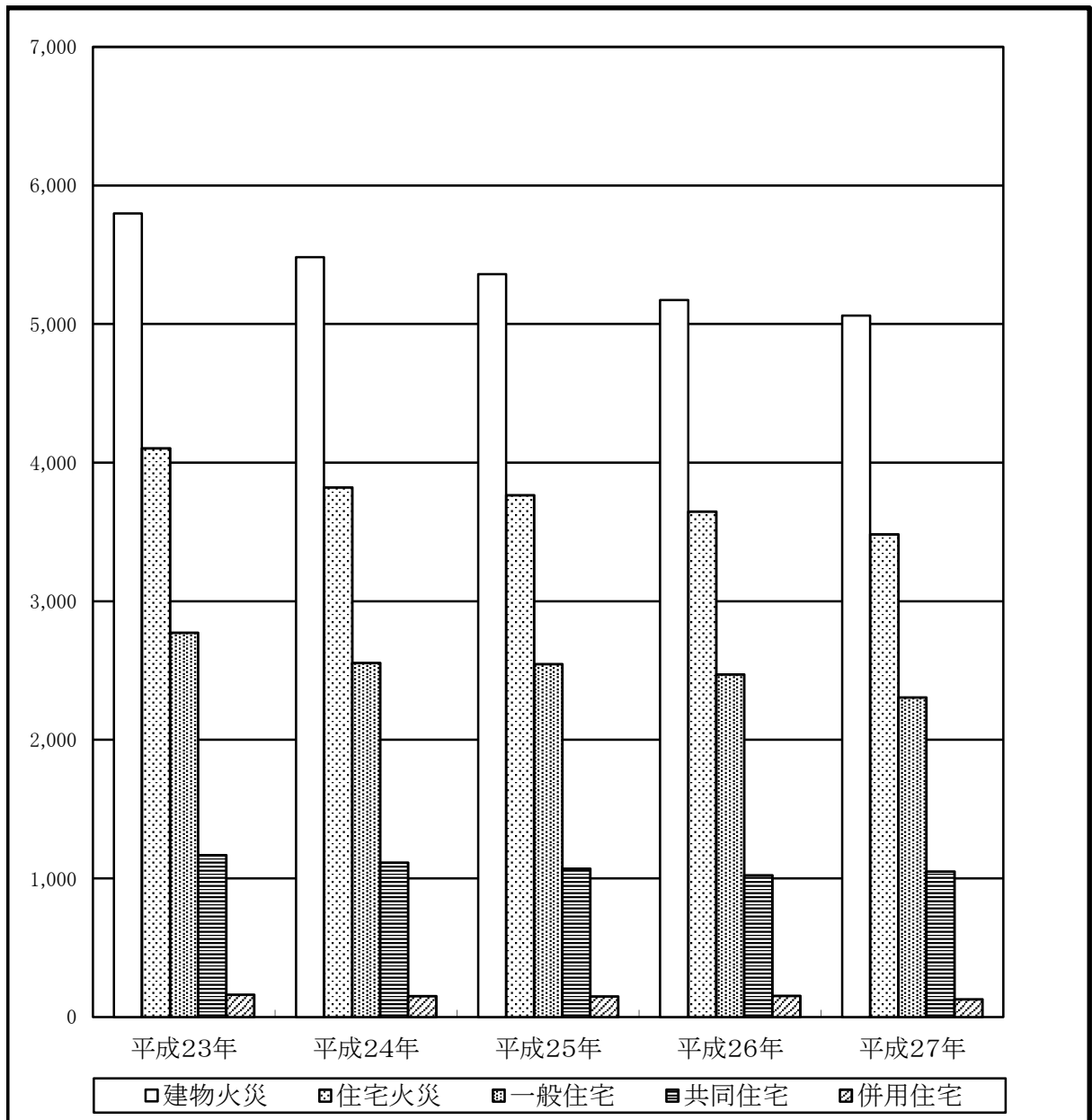
過去5年間の死者の推移(放火自殺者等を除く)

種別	年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
建物火災		1,177	1,168	1,133	1,127	1,086
住宅火災		1,070	1,016	997	1,006	914
一般住宅		851	806	814	801	716
共同住宅		177	180	162	179	172
併用住宅		42	30	21	26	26



過去5年間の負傷者の推移(放火を除く)

種別	年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
建物火災		5,798	5,482	5,360	5,174	5,060
住宅火災		4,103	3,821	3,765	3,647	3,483
一般住宅		2,774	2,555	2,547	2,471	2,305
共同住宅		1,168	1,115	1,070	1,023	1,050
併用住宅		161	151	148	153	128



(参考資料 2)

本資料は、「火災報告取扱要領」(平成6年4月21日消防災第100号)の「別表第3 出火原因分類表」及び「別表第7 出火箇所分類表」のコード番号を用い、次により分類しています。

(1) 発火源分類

住宅火災の発火源分類		出火原因分類表第1表の分類						
た	ば	こ	たばこ(4201)					
マ	ツ	チ	マッチ(4202),ライター(4203)					
こ	ん	ろ	電	気	電気こんろ(1101),電磁調理器(1127),電磁調理器(1206),電気クッキングヒータ(1209)			
			ガ	ス	都 市 ガ ス	ガスこんろ(2101),ガステーブル(2102),大型こんろ(2302)		
					プロパンガス	ガスこんろ(2201),ガステーブル(2202),簡易型ガスこんろ(カセット型)(2203),大型こんろ(2402)		
			石	油	等	石油・ガソリンこんろ(2501)		
			そ	の	他	アルコールこんろ(2526),七輪こんろ(3101),まきこんろ(3201),石炭こんろ(3301),こんろの火の粉(4306)		
ス	ト	ー	ブ	電	気	電気ストーブ・火鉢(開放式)(1102),電気ストーブ・火鉢(半密閉式)(1103),電気ストーブ・火鉢(密閉式)(1104)		
				ガ	ス	都 市 ガ ス	ガスストーブ(開放式)(2103),ガスストーブ(半密閉式)(2104),ガスストーブ(密閉式)(2105)	
						プロパンガス	ガスストーブ(開放式)(2204),ガスストーブ(半密閉式)(2205),ガスストーブ(密閉式)(2206)	
				石	油	等	石油・ガソリンストーブ(開放式)(2502),石油・ガソリンストーブ(半密閉式)(2503),石油・ガソリンストーブ(密閉式)(2504),油ストーブ(開放式)(2602),油ストーブ(半密閉式)(2603),油ストーブ(密閉式)(2604)	
				そ	の	他	まきストーブ(3202),石炭ストーブ(3402),ストーブの火の粉(4310)	
こ	た	つ	電気こたつ(1105),炭たどん(練炭)こたつ(3106)					
ロ	ー	ソ	ク	・	灯	明	ローソク(2701),ちょうちん・灯ろう(2702),灯明(2703)	
電	気	器	具	類	電気機器(電池類,家庭電化製品,OA機器等)(1301~1366,1379~1382,1399)			
					電気装置(モータ,コンデンサー,制御盤,燃料電池等)(1401~1499)			
					電灯電話等の配線(送電線,配電線,引込線等)(1501~1517,1599)			
					配線器具(スイッチ,安全器,ソケット等)(1601~1699)			
風	呂	か	ま	ど	ガ	ス	都 市 ガ ス	可動かまど・風呂かまど(2109),固定式風呂かまど(2306)
					プロパンガス	可動かまど・風呂かまど(2210),固定式風呂かまど(2406)		
					石	油	等	可動油風呂かまど(2508),固定式油風呂かまど(2608)
					そ	の	他	まき風呂かまど(3206),石炭風呂かまど(3406),風呂かまどの火の粉(4311)
不	明	不明(0009)						
そ	の	他	上記以外					

## (2) 着火物分類

住宅火災の着火物分類		出火原因分類表第3表の分類
ふとん	類	ふとん・座布団・寝具(253)
衣類	類	衣類(252)
繊維	類	繊維原料(251),繊維製品(254),その他(259)
紙	類	袋及び紙製品(255)
内装・建具類	壁軸組	合成樹脂壁(120),木づくり(121),板張ベニヤ(122),モルタル(123),しっくい(124),テックス(125),柱・けた・はり(128),その他(129)
	床	合成樹脂床(130),畳(131),板張(132)
	天井	小屋組材(141),板張(142),モルタル(143),しっくい(144),テックス(145)
	建具	ドア(161),日除け(162),唐紙・フスマ(163),障子(164),雨戸(板戸)(165),アコーディオンカーテン(166),その他(169)
家具	類	机(171),椅子・ソファー(172),戸棚・木箱(173),室内装飾品(175),その他(179),カウンター(180),炊事台(コンロ台含む)(181),実験台(183),裁縫台(184),棚(185),仏壇・神棚(186),敷板(187),その他(189)
カーテン・じゅうたん	類	上敷(134),むしろ(135),カーペット(137)じゅうたん(固定)(138),すだれ・よしず(174),カーテン(176)
ガス	類	都市ガス(221),水素(222),アセチレン(223),水と反応して発生したガス(224),プロパンガス(225),ブタンガス(226),LPG(カセット用)(227),LPG(スプレー用)(228),その他(229)
屑	類	ごみ屑(280),木屑・かんな屑・のこぎり屑(281),紙屑・わら屑(282),繊維屑(283),ぼろ・油ぼろ(284),セルロイド屑(285),合成樹脂屑(286),金属屑(287),粉塵(288),その他(289)
ガソリン・灯油	類	特殊引火物(231),第一石油類(232),アルコール類(233),第二石油類(234),第三石油類(235),第四石油類(236),可燃性液体類(238)
天ぷら油	類	動植物油類(237)
不明	明	不明(009)
その他	他	上記以外

## (3) 出火箇所分類

住宅火災の出火箇所分類		出火箇所分類表の分類
居台	室所	洋室・和室・応接間・勉強部屋・書斎・寝室(1010) 台所(1140)
浴室・洗面	所	浴室・浴場・風呂場(1170),洗面場(1180),洗たく場(1210),便所・トイレ(1220)
玄関・ホール	ル	玄関(1110),広間・ホール(1120)
廊下・階段	段	廊下・階段・縁側(1130),階段室(1150)
押入・納戸	戸	押入・納戸(1020)
食事	室	食事室(営業を目的としない。住宅、寮などの食事専用室)(1030)
不明	明	不明(9999)
その他	他	上記以外



## 第二章

# 火災による死者の実態について



## 1 序 説

平成27年中には全国で39,111件の火災が発生し、前年(43,741件)に比べ4,630件(10.6%)減少した。また、その火災により1,563人の死者が生じ、前年(1,678人)に比べ115人(6.9%)減少している。

全火災のうち建物火災による死者が、1,220人(全体の78.1%)を占め、そのうち83.6%に当たる1,020人が住宅(一般住宅、共同住宅及び併用住宅の総称。以下同じ。)火災によるものである。このため、住宅火災による死者を減らすために住宅防火対策のより一層の推進が強く望まれるところである。

火災による死者について特徴的なこととしては、高齢者(「65歳以上の者」をいう。以下同じ)等の災害弱者が多く、平成27年中の放火自殺者を除く死者1,214人のうち、高齢者が784人(64.6%)、5歳以下の乳幼児が12人(1.0%)となっており、この両年齢層の死者は、放火自殺者を除く死者全体の65.6%を占めている。

## 2 火災による死者全体の实態について

### (1) 出火件数と火災による死者数の推移

過去10年間の出火件数は平成19年の54,582件をピークに多少の増減をしながらも、全体として減少傾向にある。

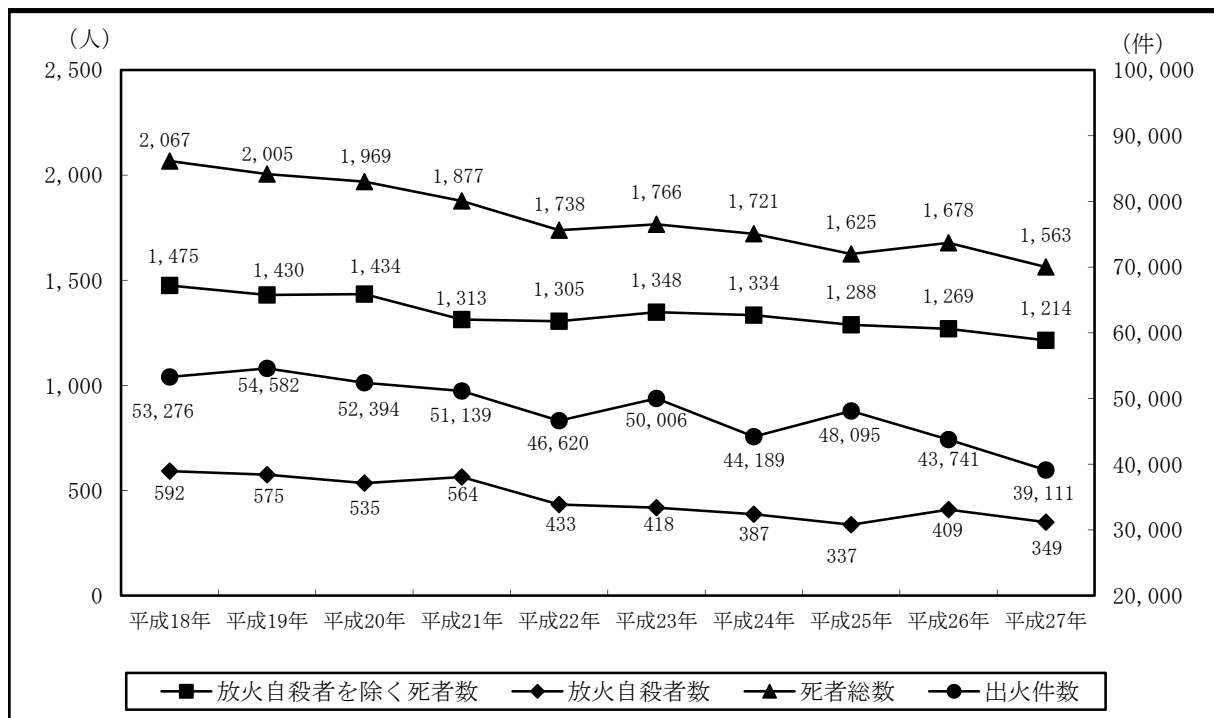
火災による死者数は、平成18年には過去10年間で最多の2,067人であったが、その後は減少傾向にあった。平成27年に過去10年間で最小の1,563人となった。10年間の平均は1,801人となっている。(第1表、第1図)

第1表 出火件数と火災による死者数の推移

(平成18年=100)

区分	年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	10年間平均
		死者数	放火自殺者を除く死者数	1,475	1,430	1,434	1,313	1,305	1,348	1,334	1,288	
	放火自殺者数	592	575	535	564	433	418	387	337	409	349	460
(人)	死者総数	2,067	2,005	1,969	1,877	1,738	1,766	1,721	1,625	1,678	1,563	1,801
指数	放火自殺者を除く死者数	100.0	96.9	97.2	89.0	88.5	91.4	90.4	87.3	86.0	82.3	90.9
	放火自殺者数	100.0	97.1	90.4	95.3	73.1	70.6	65.4	56.9	69.1	59.0	77.7
	死者総数	100.0	97.0	95.3	90.8	84.1	85.4	83.3	78.6	81.2	75.6	87.1
	出火件数(件)	53,276	54,582	52,394	51,139	46,620	50,006	44,189	48,095	43,741	39,111	48,315
	指数	100.0	102.5	98.3	96.0	87.5	93.9	82.9	90.3	82.1	73.4	90.7

第1図 出火件数と死者の推移



## (2) 都道府県別の死者発生状況

火災による死者の都道府県別の発生状況をみると、「東京都」が99人で最も多く、次いで「神奈川県」の90人、「千葉県」の87人となっている。一方、火災による死者の少ない県は、「佐賀県」が5人で最も少なく、次いで「鳥取県」の7人、「島根県、沖縄県」の8人となっている(第2表、第2図)。これを人口10万人当たりの死者数で比較すると、全国平均は前年の1.31人より0.09減少して1.22人である。この割合が最も高いのは第3表のとおり「秋田県」の3.82人で、次いで「岩手県」の3.17人、「青森県」の2.60人となっている。一方、最も低いのは、「沖縄県」の0.55人で、次いで「佐賀県」の0.59人、「滋賀県、京都府」の0.70人となっている(第3表、第3図)。

第2表 都道府県別の死者発生状況

(平成27年中) (単位:人)

都道府県		13	14	12	27	11	23	1	28	40	8	9	34
区分		東 京	神 奈 川	千 葉	大 阪	埼 玉	愛 知	北 海 道	兵 庫	福 岡	茨 城	栃 木	広 島
死 者 総 数		99	90	87	78	75	75	68	62	54	48	43	43
	放火自殺者	17	18	30	8	19	20	11	14	10	16	18	7
死 者 総 数	平成26年	97	63	71	84	92	63	81	70	46	46	45	52
	平成25年	87	94	90	80	63	72	71	60	77	53	28	26
	平成24年	116	70	91	106	81	72	61	70	61	55	40	41
	平成23年	86	103	74	100	72	92	68	54	61	53	47	44

都道府県		3	7	5	22	2	10	46	15	33	21	4	20
区分		岩 手	福 島	秋 田	静 岡	青 森	群 馬	鹿 児 島	新 潟	岡 山	岐 阜	宮 城	長 野
死 者 総 数		41	41	40	40	35	35	33	31	31	29	28	27
	放火自殺者	6	14	6	8	8	11	7	7	7	7	8	4
死 者 総 数	平成26年	33	43	35	49	26	42	47	48	29	22	40	33
	平成25年	28	32	22	43	38	32	20	46	36	30	33	42
	平成24年	34	45	20	35	36	38	36	51	27	36	48	40
	平成23年	35	41	34	38	23	39	31	47	48	41	43	39

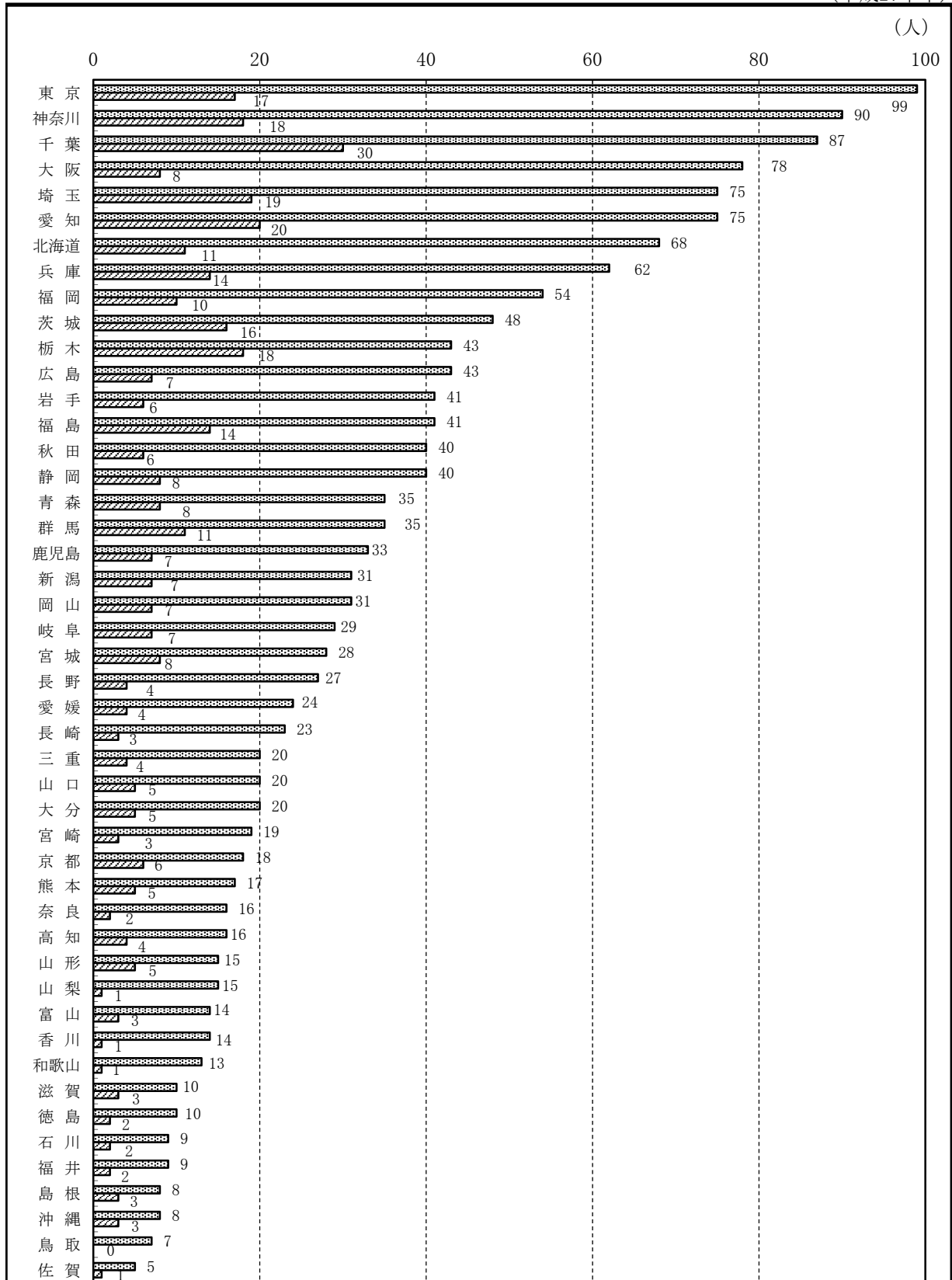
都道府県		38	42	24	35	44	45	26	43	29	39	6	19
区分		愛 媛	長 崎	三 重	山 口	大 分	宮 崎	京 都	熊 本	奈 良	高 知	山 形	山 梨
死 者 総 数		24	23	20	20	20	19	18	17	16	16	15	15
	放火自殺者	4	3	4	5	5	3	6	5	2	4	5	1
死 者 総 数	平成26年	35	15	29	25	20	17	30	28	19	20	19	19
	平成25年	30	22	31	30	14	16	31	19	13	19	26	15
	平成24年	32	22	18	34	16	14	37	29	9	15	21	31
	平成23年	23	27	33	27	23	16	29	29	27	14	18	17

都道府県		16	37	30	25	36	17	18	32	47	31	41	
区分		富 山	香 川	和 歌 山	滋 賀	徳 島	石 川	福 井	島 根	沖 縄	鳥 取	佐 賀	計
死 者 総 数		14	14	13	10	10	9	9	8	8	7	5	1,563
	放火自殺者	3	1	1	3	2	2	2	3	3	0	1	349
死 者 総 数	平成26年	22	13	19	13	15	19	8	10	11	8	7	1,678
	平成25年	14	22	23	17	9	12	11	9	12	9	18	1,625
	平成24年	19	15	16	16	5	17	10	11	6	11	7	1,721
	平成23年	18	25	25	12	11	17	12	8	18	12	12	1,766

第2図 都道府県別の死者発生状況

(平成27年中)

(人)



■ 死者総数    ■ 放火自殺者

第3表 人口10万人当たりの死者数

(平成27年中) (単位：人)

年	秋田 <sup>5</sup>	岩手 <sup>3</sup>	青森 <sup>2</sup>	栃木 <sup>9</sup>	高知 <sup>39</sup>	福島 <sup>7</sup>	鹿児島 <sup>46</sup>	山梨 <sup>19</sup>	群馬 <sup>10</sup>	愛媛 <sup>38</sup>
平成27年	3.82	3.17	2.60	2.18	2.15	2.11	1.97	1.76	1.74	1.69
平成26年	3.29	2.53	1.91	2.24	2.66	2.19	2.78	2.20	2.08	2.45
平成25年	2.04	2.13	2.77	1.39	2.51	1.62	1.18	1.74	1.58	2.08
平成24年	1.84	2.58	2.60	2.01	1.97	2.26	2.11	3.62	1.91	2.22
平成23年	3.10	2.60	1.65	2.35	1.83	2.00	1.81	1.98	1.95	1.59

年	都道府県 大分 <sup>44</sup>	宮崎 <sup>45</sup>	茨城 <sup>8</sup>	岡山 <sup>33</sup>	広島 <sup>34</sup>	長崎 <sup>42</sup>	山口 <sup>35</sup>	香川 <sup>37</sup>	千葉 <sup>12</sup>	岐阜 <sup>21</sup>
平成27年	1.69	1.69	1.62	1.60	1.50	1.48	1.40	1.40	1.39	1.39
平成26年	1.67	1.50	1.55	1.51	1.81	1.06	1.74	1.29	1.14	1.05
平成25年	1.17	1.40	1.77	1.85	0.90	1.54	2.07	2.18	1.44	1.43
平成24年	1.34	1.22	1.86	1.40	1.44	1.54	2.35	1.49	1.48	1.74
平成23年	1.91	1.39	1.78	2.48	1.54	1.87	1.86	2.48	1.20	1.97

年	都道府県 新潟 <sup>15</sup>	山形 <sup>6</sup>	和歌山 <sup>30</sup>	富山 <sup>16</sup>	徳島 <sup>36</sup>	北海道 <sup>1</sup>	長野 <sup>20</sup>	宮城 <sup>4</sup>	鳥取 <sup>31</sup>	奈良 <sup>29</sup>
平成27年	1.33	1.32	1.30	1.29	1.29	1.26	1.26	1.21	1.21	1.15
平成26年	2.05	1.66	1.88	2.02	1.92	1.49	1.53	1.72	1.37	1.35
平成25年	1.95	2.25	2.26	1.28	1.15	1.30	1.94	1.42	1.53	0.92
平成24年	2.16	1.81	1.57	1.75	0.64	1.11	1.86	2.08	1.87	0.64
平成23年	1.98	1.54	2.44	1.65	1.39	1.24	1.81	1.85	2.03	1.92

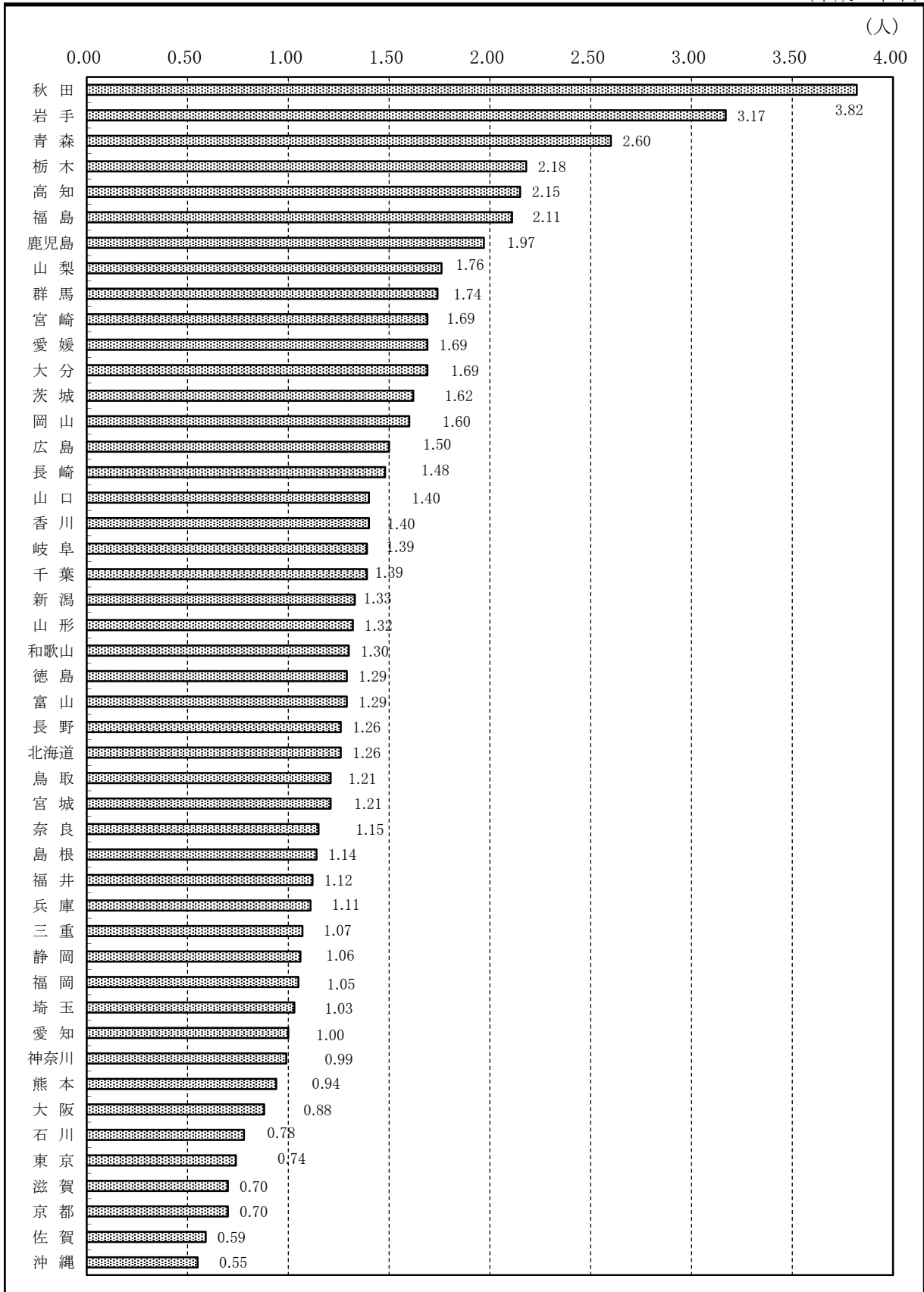
年	都道府県 島根 <sup>32</sup>	福井 <sup>18</sup>	兵庫 <sup>28</sup>	三重 <sup>24</sup>	静岡 <sup>22</sup>	福岡 <sup>40</sup>	埼玉 <sup>11</sup>	愛知 <sup>23</sup>	神奈川 <sup>14</sup>	熊本 <sup>43</sup>
平成27年	1.14	1.12	1.11	1.07	1.06	1.05	1.03	1.00	0.99	0.94
平成26年	1.41	0.99	1.25	1.56	1.29	0.90	1.26	0.84	0.69	1.54
平成25年	1.26	1.36	1.06	1.66	1.13	1.51	0.87	0.96	1.03	1.04
平成24年	1.54	1.25	1.26	0.98	0.93	1.21	1.13	0.99	0.78	1.59
平成23年	1.11	1.49	0.97	1.79	1.01	1.21	1.01	1.27	1.16	1.59

年	都道府県 大阪 <sup>27</sup>	石川 <sup>17</sup>	東京 <sup>13</sup>	滋賀 <sup>25</sup>	京都 <sup>26</sup>	佐賀 <sup>41</sup>	沖縄 <sup>47</sup>	平均
平成27年	0.88	0.78	0.74	0.70	0.70	0.59	0.55	1.22
平成26年	0.95	1.64	0.73	0.92	1.16	0.82	0.76	1.31
平成25年	0.90	1.03	0.66	1.20	1.20	2.11	0.83	1.27
平成24年	1.22	1.47	0.91	1.15	1.46	0.82	0.42	1.36
平成23年	1.15	1.47	0.68	0.86	1.14	1.40	1.27	1.39

(注) 人口は、平成23年から平成24年までは、各年3月31日現在の住民基本台帳(総務省自治行政局)による。  
平成25年から平成27年は、3月31日現在の各年度消防防災・震災対策現況調査による。

第3図 都道府県別人口10万人当たりの死者数

(平成27年中)





### (3) 月別の死者発生状況

火災による死者の月別の発生状況をみると、例年火気を使用する機会が多い冬季から春先にかけて死者が多く発生しており、平成27年中においても「1月」から「3月」及び「12月」の4ヶ月の月ごとの平均死者数は180.3人(1年間の月平均130.3人)となっており、この4ヶ月間に死者総数の46.1%に当たる721人の死者が発生している。月別の火災件数と死者の発生状況との関連を火災100件当たりの死者数で比較すると、「1月」が5.9人で死者の発生割合が最も高く、次いで「2月」の5.2人となっている(第4表、第4図)。

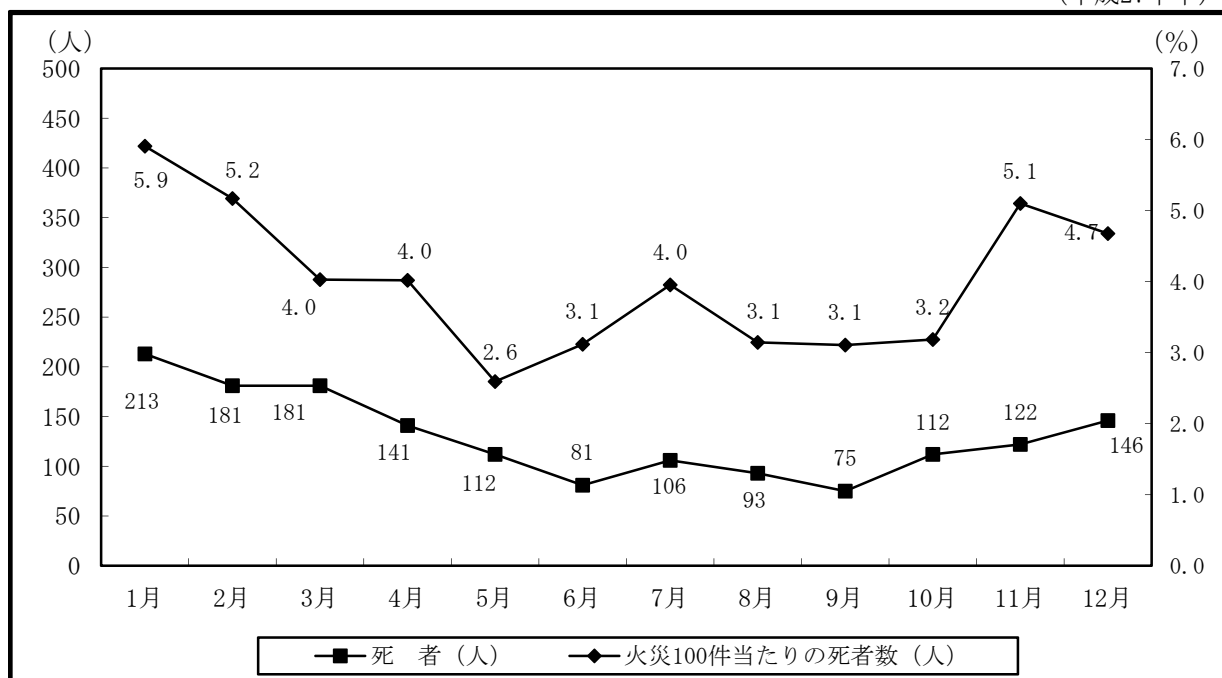
第4表 月別の死傷者の発生状況

(平成27年中)

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
死者(人)		213	181	181	141	112	81	106	93	75	112	122	146	1,563
	割合(%)	13.6	11.6	11.6	9.0	7.2	5.2	6.8	6.0	4.8	7.2	7.8	9.3	100.0
負傷者(人)		667	616	689	583	552	445	494	446	419	464	387	547	6,309
	割合(%)	10.6	9.8	10.9	9.2	8.7	7.1	7.8	7.1	6.6	7.4	6.1	8.7	100.0
火災件数(件)		3,606	3,501	4,493	3,509	4,320	2,598	2,681	2,958	2,414	3,517	2,392	3,122	39,111
	割合(%)	9.2	9.0	11.5	9.0	11.0	6.6	6.9	7.6	6.2	9.0	6.1	8.0	100.0
火災100件当たりの死者数(人)		5.9	5.2	4.0	4.0	2.6	3.1	4.0	3.1	3.1	3.2	5.1	4.7	4.0
過去5年間の死者数の平均(人)		247	216	218	158	125	96	83	80	81	102	146	192	1,745
	割合(%)	14.2	12.4	12.5	9.1	7.2	5.5	4.8	4.6	4.7	5.8	8.4	11.0	100.0

第4図 月別の死者発生状況

(平成27年中)



#### (4) 時間帯別の死者発生状況

火災による死者の時間帯別発生状況を見ると、「4時台」が90人と最も多く、次いで「0時台」が78人となっており、就寝時間帯に多くの死者が発生している。一方、最も死者の少ないのは「13時台、16時台」が41人となっており、次いで「12時台」の42人、「19時台」の47人となっている。これを昼夜別にみると、夜間（「0時～6時台」及び「19時～23時台」をいう。以下同じ。）における死者は795人で50.9%、昼間（「7時～18時台」をいう。以下同じ。）における死者は657人で42.0%となっており、夜間に発生した火災により多くの死者が発生している（第5表、第5図）。

第5表 時間帯別の死者発生状況

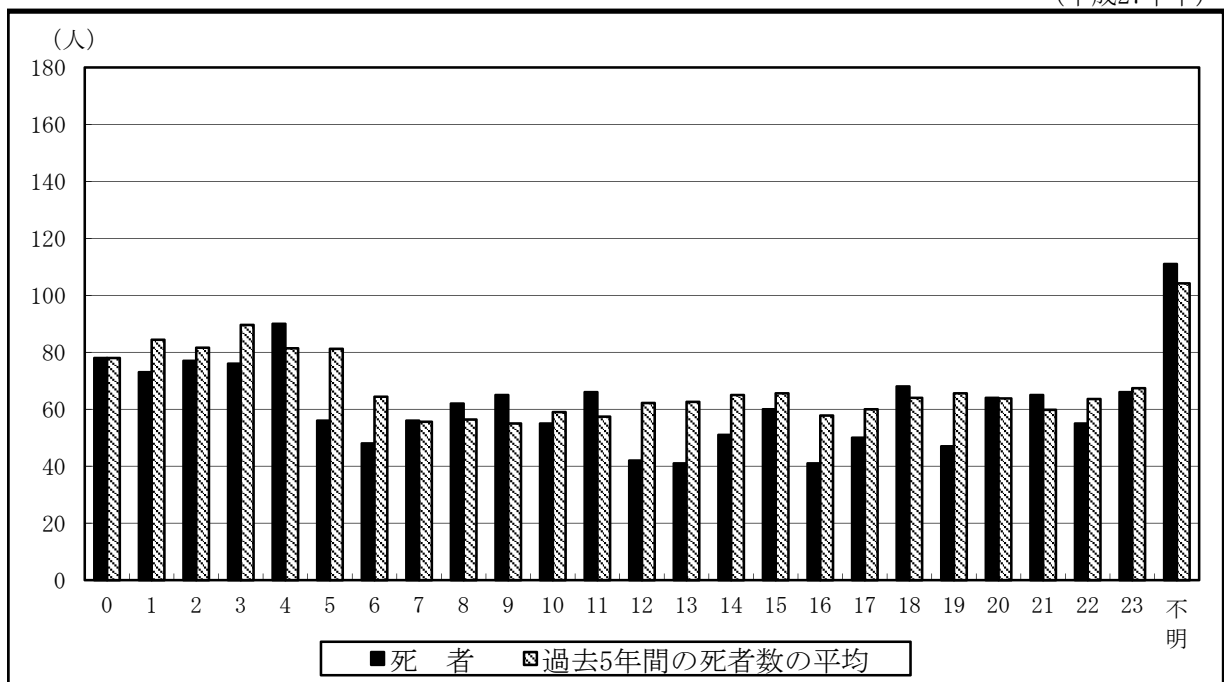
(平成27年中)

区分	時間帯	0～	1～	2～	3～	4～	5～	6～	7～	8～	9～	10～	11～	12～
死者 (人)		78	73	77	76	90	56	48	56	62	65	55	66	42
	割合 (%)	5.0	4.7	4.9	4.9	5.8	3.6	3.1	3.6	4.0	4.2	3.5	4.2	2.7
過去5年間の死者数の平均 (人)		78	84	82	90	81	81	64	56	56	55	59	57	62
	割合 (%)	4.6	4.9	4.8	5.3	4.8	4.8	3.8	3.3	3.3	3.2	3.5	3.4	3.6

区分	時間帯	13～	14～	15～	16～	17～	18～	19～	20～	21～	22～	23～	不明	計
死者 (人)		41	51	60	41	50	68	47	64	65	55	66	111	1,563
	割合 (%)	2.6	3.3	3.8	2.6	3.2	4.4	3.0	4.1	4.2	3.5	4.2	7.1	100.0
過去5年間の死者数の平均 (人)		63	65	66	58	60	64	66	64	60	64	67	104	1,706
	割合 (%)	3.7	3.8	3.8	3.4	3.5	3.8	3.8	3.7	3.5	3.7	4.0	6.1	100.0

第5図 時間帯別の死者発生状況

(平成27年中)



### (5) 火災種別ごとの死者発生状況

火災種別ごとの死者発生状況をみると、「建物火災」によるものが1,220人で前年(1,269人)に比べ49人(3.9%)減少したが、死者総数に対する割合は78.1%(前年75.6%)で増加となった。また、「林野火災」による死者は、前年(17人)に比べ9人(52.9%)減少し、8人となっている。(第6表)。

第6表 火災種別ごとの死者発生状況

(平成27年中)

区 分	火災種別						
	計	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災
死者数(人)	1,563	1,220	8	110	5	5	215
割合(%)	(100.0%)	(78.1%)	(0.5%)	(7.0%)	(0.3%)	(0.3%)	(13.8%)
死者の発生した火災件数(件)	1,414	1,085	8	102	3	2	214
割合(%)	(100.0%)	(76.7%)	(0.6%)	(7.2%)	(0.2%)	(0.1%)	(15.1%)

(注) ここでは、火災が2種以上にわたった場合、火災報告取扱要領の取扱いにかかわらず、死者が発生した方の火災種別による。

(6) 建物用途別、階層別の死者発生状況

建物用途別の死者発生状況をみると、住宅(「一般住宅、共同住宅及び併用住宅」をいう。以下同じ。)火災での死者が1,020人で83.6%を占めている。建物階層別の死者発生状況は、「1階」での死者が822人(67.4%)と最も多く、次いで「2階」が283人(23.2%)となっている(第7表)。

第7表 建物用途別、階層別の死者発生状況

(平成27年中) (単位:人)

建物用途 階層	小計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	劇場	公会堂	キャバレー	遊技場	性風俗	カラオケBOX	料理店	飲食店	物品販売店舗	旅館・ホテル	病院・診療所	グループホーム	社会福祉施設	幼稚園	
		住宅																	
地下2階	0																		
地下1階	0																		
1階	822	643	71	12							2	1	1	1					
2階	283	138	67	16								3	1	7		1			
3階	41		25											1				1	
4階	13	1	7																
5階	10		6											2					
6階	6	1	4																
7階	1		1																
8階	4		4																
9階以上	2		2																
不明	38	19	3									1		1	1				
合計	1,220 (割合%)	802 (100.0)	190 (83.6)	28	0	0	0	0	0	0	2	5	2	12	1	1	1	1	0
平成26年	1,269 (割合%)	896 (100.0)	198 (88.4)	28	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3	4	0	1	1	0
割合%					(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.2)	(0.4)	(0.2)	(1.0)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.0)

建物用途 階層	学	図	特	公	停	神	工	ス	車	航	倉	事	複	複	地	準	文	そ	
	校	書	殊	衆	車	社	場	タ	庫	空	庫	務	合	合	下	地	化	の	
	校	館	浴	浴	場	院	作	ジ	場	機	納	所	用	用	街	下	財	他	
	校	館	場	場	場	院	業	オ	場	格	屋	所	途	途	街	街	財	他	
	校	館	場	場	場	院	業	オ	場	格	屋	所	途	途	街	街	財	他	
地下2階																			
地下1階																			
1階	1					1	8				3	3	4	11					60
2階							2						14	17					17
3階													10	3					1
4階							2						1	2					
5階													1	1					
6階														1					
7階																			
8階																			
9階以上																			
不明									1		1			2					9
合計	1 (割合%)	0 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.1)	12 (1.0)	0 (0.0)	1 (0.1)	0 (0.0)	4 (0.3)	3 (0.2)	30 (2.5)	37 (3.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	87 (7.1)
平成26年	0 (割合%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (0.4)	9 (0.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (0.3)	6 (0.5)	19 (1.5)	22 (1.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	71 (5.6)
割合%																			

- (注) 1 この表は、放火自殺者等を含めた数である。  
 2 住宅における死者1,020人に含まれる放火自殺者等は106人。  
 3 防火対象物(一般住宅、併用住宅及びその他を除く。)の区分は、消防法施行令別表第1による区分であり、施設の名称はその例示である。  
 4 階層は死者の発生した場所の存する階を示す。

(7) 建物構造別の死者発生状況

建物構造別の死者発生状況をみると、「木造」での死者が832人(68.2%)と最も多く、そのうち648人(木造建物での死者の77.9%)が1階で発生している。また、建物構造別に出火件数100件当たりの死者数をみると、「木造」が9.2人、「防火造」が6.7人、「準耐木造」が3.0人、「耐火造」が2.4人の順となっている(第8、9表)。

第8表 建物構造別、焼損程度別の死者発生状況

(平成27年中)

区分		構造	木	防	準	準	耐	そ	計
			造	火	耐	耐	火	の	
			造	造	木	非	造	他	
			造	造	造	木	造	他	
死者数 (人)	計		832	130	9	51	148	50	1,220
	割合 (%)		68.2	10.7	0.7	4.2	12.1	4.1	100.0
	全 焼		634	49	4	5	6	33	731
	半 焼		93	38	1	20	9	6	167
	部分焼		65	37	4	21	115	8	250
	ぼ や		40	6	0	5	18	3	72
出火件数 (件)			9,060	1,944	298	2,432	6,205	2,258	22,197
火災100件当たりの死者数 (人)			9.2	6.7	3.0	2.1	2.4	2.2	5.5

第9表 建物構造別、焼損程度別、階層別の死者発生状況

(平成27年中)(単位:人)

焼損程度	階層 構造	地下		地上									不明	計	
		2階	1階	1階	2階	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階以上			
全焼	木造			523	92									19	634
	防火造			35	12									2	49
	準耐火木造			3	1										4
	準耐火非木造			5											5
	耐火造			4	2										6
	その他の他			21	9	1	1							1	33
	計	0	0	591	116	1	1	0	0	0	0	0	0	22	731
半焼	木造			55	37									1	93
	防火造			15	21									2	38
	準耐火木造				1										1
	準耐火非木造			10	9	1									20
	耐火造			2	5		2								9
	その他の他			1	2		2							1	6
	計	0	0	83	75	1	4	0	0	0	0	0	0	4	167
部分焼	木造			38	24									3	65
	防火造			23	13					1					37
	準耐火木造			1	3										4
	準耐火非木造			10	9	2									21
	耐火造			27	31	32	6	8	4	1	3	2	1	1	115
	その他の他			5	1	1								1	8
	計	0	0	104	81	35	6	8	5	1	3	2	5	250	
ぼや	木造			30	3									3	36
	防火造			5	1										6
	準耐火木造														0
	準耐火非木造			1	3		1								5
	耐火造			5	3	4	1	2	1		1		1	1	18
	その他の他			1	1										2
	計	0	0	42	11	4	2	2	1	0	1	0	4	67	
不明	木造			2										2	4
	防火造														0
	準耐火木造														0
	準耐火非木造														0
	耐火造														0
	その他の他													1	1
	計	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	5	
計	木造	0	0	648	156	0	0	0	0	0	0	0	0	28	832
	防火造	0	0	78	47	0	0	0	1	0	0	0	0	4	130
	準耐火木造	0	0	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
	準耐火非木造	0	0	26	21	3	1	0	0	0	0	0	0	0	51
	耐火造	0	0	38	41	36	9	10	5	1	4	2	2	2	148
	その他の他	0	0	28	13	2	3	0	0	0	0	0	0	4	50
	計	0	0	822	283	41	13	10	6	1	4	2	38	1,220	

(注) 階層は死者の発生した場所の存する階を示す。

### (8) 建物用途別、構造別の火災発生件数、死者発生状況

建物用途別、構造別の死者発生状況をみると、「木造」のうち「住宅」での死者が733人で「木造」での死者(832人)の88.1%を占めている。また、「防火造」のうち「住宅」での死者は115人で防火造建物での死者(130人)の88.5%となっている。また、火災100件当たりの「住宅」の死者数をみると、「準耐火木造の併用住宅」が16.7人と最も多く、次いで「木造の共同住宅」が12.1人となっている(第10表)。

第10表 建物用途別、構造別の死者発生状況

(平成27年中)

構造	建物用途	計	住宅			劇 場 等	公 会 堂	キ ャ バ レ ー	遊 技 場	性 風 俗	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス	料 理 店	飲 食 店
			一般住宅	共同住宅	併用住宅								
木 造	出火件数(件)	9,060	5,764	397	327	3	16	2	1	0	1	11	216
	死者数(人)	832	667	48	18	0	0	0	0	0	0	2	5
	100件当たりの死者数(人)	9.2	11.6	12.1	5.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	2.3
防 火 造	出火件数(件)	1,944	1,035	368	31	0	2	0	2	0	1	0	48
	死者数(人)	130	84	29	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者数(人)	6.7	8.1	7.9	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
準 耐 火 木 造	出火件数(件)	298	142	52	6	0	0	0	5	0	0	0	11
	死者数(人)	9	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者数(人)	3.0	4.2	1.9	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
準 耐 火 非 木 造	出火件数(件)	2,432	278	284	46	0	4	5	24	0	3	3	73
	死者数(人)	51	15	11	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者数(人)	2.1	5.4	3.9	10.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
耐 火 造	出火件数(件)	6,205	227	2,562	38	9	13	5	23	0	4	1	126
	死者数(人)	148	10	94	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者数(人)	2.4	4.4	3.7	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そ の 他	出火件数(件)	2,258	365	111	64	0	5	1	4	0	2	2	62
	死者数(人)	50	20	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者数(人)	2.2	5.5	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	出火件数(件)	22,197	7,811	3,774	512	12	40	13	59	0	11	17	536
	死者数(人)	1,220	802	190	28	0	0	0	0	0	0	2	5
	100件当たりの死者数(人)	5.5	10.3	5.0	5.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	0.9

(注) 防火対象物(一般住宅、併用住宅を除く。)の区分は、消防法施行令別表第1による区分であり、施設の名称はその例示である。

構造		建物用途												
		物 品 販 売 店 舗	旅 館 ・ ホ テ ル	病 院 ・ 診 療 所	グ ル ー プ ホ ー ム	社 会 福 祉 施 設	幼 稚 園	学 校	図 書 館	特 殊 浴 場	公 衆 浴 場	停 車 場	神 社 ・ 寺 院	
木 造	出火件数 (件)	47	28	6	7	25	4	7	1	0	0	6	59	
	死者数 (人)	0	9	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	100件当たりの死者数(人)	0.0	32.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	
防 火 造	出火件数 (件)	11	4	3	3	7	2	2	0	0	0	2	0	
	死者数 (人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100件当たりの死者数(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
準 耐 火 木 造	出火件数 (件)	2	1	0	1	1	1	2	0	0	1	0	0	
	死者数 (人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100件当たりの死者数(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
準 耐 火 非 木 造	出火件数 (件)	89	7	2	9	9	2	15	0	1	0	1	8	
	死者数 (人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100件当たりの死者数(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
耐 火 造	出火件数 (件)	137	78	81	34	33	3	147	6	1	4	22	6	
	死者数 (人)	1	3	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	
	100件当たりの死者数(人)	0.7	3.8	1.2	0.0	3.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
そ の 他	出火件数 (件)	30	9	3	0	9	0	8	0	0	2	1	6	
	死者数 (人)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100件当たりの死者数(人)	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
計	出火件数 (件)	316	127	95	54	84	12	181	7	2	7	32	79	
	死者数 (人)	2	12	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1	
	100件当たりの死者数(人)	0.6	9.4	1.1	1.9	1.2	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	



構造		建物用途											
		工場・作業場	スタジオ	車庫・駐車場	航空機格納庫	倉庫・納屋	事務所	複合用途・特定	複合用途・非特定	地下街	準地下街	文化財	その他
木造	出火件数 (件)	187	0	5	1	144	145	140	103	0	0	2	1,405
	死者数 (人)	2	0	0	0	2	0	3	13	0	0	0	61
	100件当たりの死者数(人)	1.1	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	2.1	12.6	0.0	0.0	0.0	4.3
防火造	出火件数 (件)	59	0	1	0	15	24	96	141	0	0	0	87
	死者数 (人)	1	0	0	0	0	0	3	7	0	0	0	4
	100件当たりの死者数(人)	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	5.0	0.0	0.0	0.0	4.6
準耐火木造	出火件数 (件)	19	0	0	0	4	6	14	11	0	0	0	19
	死者数 (人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	100件当たりの死者数(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3
準耐火非木造	出火件数 (件)	788	9	12	3	136	129	150	75	0	0	0	267
	死者数 (人)	5	0	0	0	0	0	7	4	0	0	0	4
	100件当たりの死者数(人)	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	5.3	0.0	0.0	0.0	1.5
耐火造	出火件数 (件)	188	4	12	1	39	296	1,511	392	4	0	3	195
	死者数 (人)	1	0	0	0	0	2	14	13	0	0	0	5
	100件当たりの死者数(人)	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.9	3.3	0.0	0.0	0.0	2.6
その他	出火件数 (件)	357	4	16	0	164	157	73	36	0	0	0	767
	死者数 (人)	3	0	1	0	2	1	3	0	0	0	0	12
	100件当たりの死者数(人)	0.8	0.0	6.3	0.0	1.2	0.6	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6
計	出火件数 (件)	1,598	17	46	5	502	757	1,984	758	4	0	5	2,740
	死者数 (人)	12	0	1	0	4	3	30	37	0	0	0	87
	100件当たりの死者数(人)	0.8	0.0	2.2	0.0	0.8	0.4	1.5	4.9	0.0	0.0	0.0	3.2

(9) 防火対象物政令用途区分別の死者発生状況

防火対象物(政令用途区分別)の火災発生件数は、(5)項口(共同住宅等)での3,784件、(16)項イ(複合用途防火対象物)での1,998件、(12)項イ(工場等)での1,660件の順に多く、死者数は(5)項口(共同住宅等)で190人、(16)項ロ((16)項イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物)で37人、(16)項イ(複合用途防火対象物)で30人となっている(第11表)。死者が発生した防火対象物を建物構造別、階層別、規模別(延べ面積)で分類すると第12表のとおりであり、さらに建物構造別、焼損程度別、発生階別に分類すると、それぞれ第13表及び第14表のとおりとなっている。特に全焼の場合においては、木造建物で6割以上の48人(75.0%)の死者が発生している。

次に死者が発生した防火対象物における防火管理状況をみると、消防法第8条第1項に該当する防火対象物(99件)のうち、防火管理者を選任しているものは85件(85.9%)、消防計画を作成しているものは79件(79.8%)となっている(第15表)。

第11表 防火対象物政令用途区分別の火災発生件数、死者発生状況

(平成27年中)

政令用途	区分	火災発生件数 (件)	死者を伴った 火災件数 (件)	死者発生数 (人)	
(一)	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	12		
	ロ	公会堂又は集会場	40		
(二)	イ	キャバレー、カフェ、ナイトクラブその他これらに類するもの	13		
	ロ	遊技場又はダンスホール	62		
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗			
	ニ	カラオケボックス等			
(三)	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	18	1	2
	ロ	飲食店	541	3	5
(四)		百貨店、マーケット、その他の物品販売店舗又は展示場	335	2	2
(五)	イ	旅館、ホテル又は宿泊所	132	4	12
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	3,784	177	190
(六)	イ	病院、診療所又は助産所	99	1	1
	ロ	グループホーム等			
	ハ	社会福祉施設等	87	1	1
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	12		
(七)		小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学	198	1	1
(八)		図書館、博物館、美術館	7		
(九)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場	2		
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	8		
(十)		車両の停車場、船舶又は航空機の発着場	33		
(十一)		神社、寺院、教会	88	1	1
(十二)	イ	工場、作業場	1,660	8	12
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	18		
(十三)	イ	自動車車庫、駐車場	48	1	1
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫	5		
(十四)		倉庫	509	4	4
(十五)		前各項に該当しない事業所	785	3	3
(十六)	イ	(一)～(四)、(五)イ、(六)、(九)イを含む複合用途防火対象物	1,998	27	30
	ロ	イに掲げる複合防火対象物以外の複合防火対象物	760	34	37
(十六)の2		地下街	4		
(十六)の3		準地下街			
(十七)		重要文化財、重要有形民俗文化財、史跡等の建造物	5		
(十八)		延長50メートル以上のアーケード			
(十九)		市町村長の指定する山林	36		
(二十)		自治省令で定める舟車	2		
計			11,301	268	302

(注) 死者の発生した対象物の用途にかかわらず、出火した火元の対象物の用途別の数を示す。

第12表 防火対象物政令用途区分別、建物構造別、階層別、規模別の死者を伴った火災発生状況

(平成27年中) (単位：件)

区分	料 理 店	飲 食 店	物 品 販 売 店 舗	旅 館 ・ ホ テ ル	共 同 住 宅	病 院	グ ル ー プ ホ ー ム	社 会 福 祉 施 設	幼 稚 園	学 校	神 社 ・ 寺 院	停 車 場	工 場 ・ 作 業 場	車 庫 ・ 駐 車 場	倉 庫	事 務 所	複 合 用 途 特 定	複 合 用 途 非 特 定	計	
出火件数	1	3	2	4	177	1	0	1	0	1	1	0	8	1	4	3	27	34	268	
建物構造	木造	1	3	1	43						1		2		2		3	12	68	
	防火造				28								1				3	7	39	
	準耐火木造				1														1	
	準耐火非木造				10								2				5	4	21	
	耐火造			1	3	89	1	1		1			1			2	13	11	123	
	その他			1		6							2	1	2	1	3		16	
階層	地下3階以下																		0	
	地下2階															1			1	
	地下1階	1			1	10											3	1	16	
	1				2	1							4	1	3	2		2	15	
	2	1	3		1	87				1	1		3		1		11	18	127	
	3			2	15											1	8	5	31	
	4			1	16								1				3	3	24	
	5				25												1	2	28	
	6				5			1									1	2	9	
	7			1	7												2	1	11	
	8			1	4												1		6	
	9				2														2	
	10																		0	
	11				6														6	
	12				1														1	
	13																		0	
	14				6														1	7
	15				1															1
	16階以上																			0
	不明																			0
計	2	3	2	5	187	1	0	1	0	1	1	0	8	1	4	4	30	35	285	
(㎡)	～150		1		26								5	1	4	2	5	9	53	
	151～300	1	1	1	45						1		1				8	12	70	
	301～500				27												9	6	42	
	501～1,000		1	1	1	22	1											2	28	
	1,001～				3	57		1		1			2			1	5	5	75	

(注) 階層は死者の発生した階ではなく、単に建物の階層を表している。地階と地上階の数は重複する場合もある。

第13表 防火対象物区分別、建物構造別、焼損程度別の死者発生状況

(平成27年中) (単位：人)

		料	飲	物	旅	共	病	グ	社	幼	学	神	停	工	車	倉	事	複	複		
		理	食	品	館	同		ル	会	稚	校	社	車	場	庫	倉	務	合	合	計	
		店	店	販	・	住	院	ー	福	園	校	・	場	・	庫	庫	所	用	用		
		店	店	売	ホ	宅		プ	祉			寺	場	作	・			途	途		
				店	テ	宅		ホ	施			院	場	業	駐			特	特		
				舗	ル	宅		ム	設					場	車	庫		定	定		
全 焼	木造	2	5		9	18		1				1		1		2				9	48
	防火造					4														1	5
	準耐火木造																				0
	準耐火非木造																				0
	耐火造					1								1							2
	その他の			1		3									1	2	1	2			10
計		2	5	1	9	26	0	1	0	0	0	1	0	3	0	4	1	2	10		65
半 焼	木造					11													1	2	14
	防火造					7													2	2	11
	準耐火木造																				0
	準耐火非木造													4					4		8
	耐火造					2													1	3	6
	その他の					1								2							3
計		0	0	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	8	7		42
部 分 焼	木造					18													1	1	20
	防火造					16								1					1	3	21
	準耐火木造					1															1
	準耐火非木造					7													3	4	14
	耐火造			1	2	78	1		1		1							1	13	10	108
	その他の					3													1		4
計		0	0	1	2	123	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	19	18		168
ぼ や	木造					1								1					1	1	4
	防火造					2														1	3
	準耐火木造													1							1
	準耐火非木造				1	4												1			6
	耐火造					13									1						14
	その他の																				0
計		0	0	0	1	20	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	1	2		28
計	木造	2	5	0	9	48	0	1	0	0	0	1	0	2	0	2	0	3	13		86
	防火造	0	0	0	0	29	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	7		40
	準耐火木造	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0		2
	準耐火非木造	0	0	0	1	11	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	1	7	4		28
	耐火造	0	0	1	2	94	1	0	1	0	1	0	0	1	1	0	1	14	13		130
	その他の	0	0	1	0	7	0	0	0	0	0	0	0	3	0	2	1	3	0		17
計	2	5	2	12	190	1	1	1	0	1	1	0	12	1	4	3	30	37		303	

第14表 防火対象物区分別、建物階層別の死者発生状況

(平成27年中) (単位：人)

政令用途	区分	地下2階	地下1階	1階	2階	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階以上	不明	計
(二)	イ															0
	ロ															0
(三)	イ			2												2
	ロ			1	3										1	5
(四)				1	1											2
(五)	イ			1	7	1		2							1	12
	ロ			71	67	25	7	6	4	1	4		2		3	190
(六)	イ														1	1
	ロ				1											1
	ハ					1										1
(七)	ロ			1												1
(九)	イ															0
(十一)				1												1
(十二)	イ			8	2		2									12
(十三)	イ														1	1
(十四)				3											1	4
(十五)				3												3
(十六)	イ			4	14	10	1	1								30
	ロ			11	17	3	2	1	1						2	37
計		0	0	107	112	40	12	10	5	1	4	0	2	0	10	303

(注) 区分は建物の階層ではなく、死者の発生した場所の存する階を示している。

第15表 死者が発生した防火対象物の防火管理等の状況

(平成27年中) (単位：件)

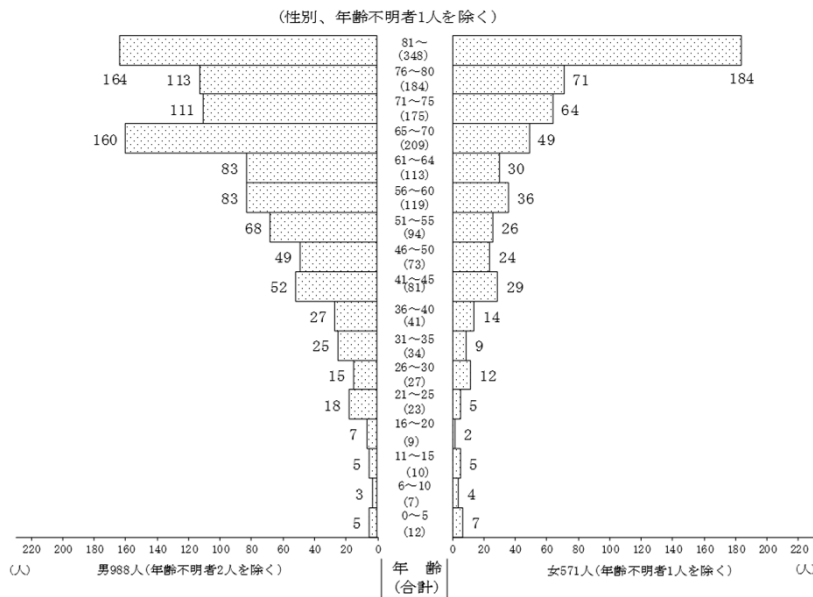
政令用途	区分	防火対象物において死者が発生した火災	消防法第8条第1項に該当する対象物		
			防火管理者選任済対象物	消防計画内容適正対象物	
(三)	イ	1			
	ロ	3	3	3	
(四)		2	1	1	1
(五)	イ	4	12	12	12
	ロ	177	59	48	44
(六)	イ	1	1	1	1
	ロ		1	1	1
	ハ	1	1	1	1
(七)		1	1	1	1
(十一)		1			
(十二)	イ	8	4	4	4
(十三)	イ	1			
(十四)		4			
(十五)		3	1	1	1
(十六)	イ	27	8	6	7
	ロ	34	7	6	6
計		268	99 (100.0%)	85 (85.9%)	79 (79.8%)

(注) 防火管理者選任済対象物は届出済の件数を示す。

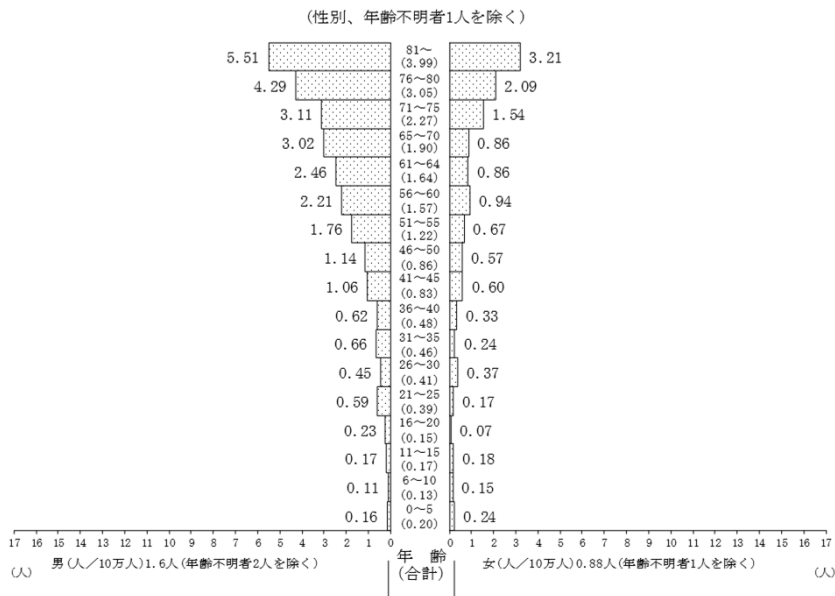
### (10) 年齢別、性別の死者発生状況

年齢別の火災による死者発生状況をみると、「81歳以上」が348人で最も多く、次いで「65～70歳」の209人となっており、65歳以上の高齢者は916人で全死者(1,563人)の58.6%を占めている。また、性別では、「0歳から5歳、6歳から10歳、81歳以上」の年齢層を除いて「男性」が上回っており、全死者の63.3%(990人)を占めている(第6図)。年齢別及び性別の人口10万人当たりの死者発生状況をみると、年齢層が高くなるにしたがって増加してる(第7図)。

第6図 年齢別、性別の死者発生状況



第7図 年齢別の人口10万人当たりの死者数



(注)1 ( )は、年齢別人口10万人当たりの死者数を示す。  
2 人口は、国勢調査(平成27年10月1日現在)による。

(11) 1件で3人以上の死者を出した火災

1件で3人以上の死者を出した火災は19件で、前年(17件)より2件増加している。これによる死者は71人で、前年(56人)より15人(26.8%)増加している(第16表)。

第16表 1件で3人以上の死者を出した火災の都道府県別発生状況

(平成27年中)

区分 都道府県	死者数 (人)	火災件数 (件)	火災1件で発生した死者数別の火災件数(件)						計
			3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	
北海道	68	1,909		1					1
秋田	40	373					1		1
茨城	48	1,159	1						1
群馬	35	880	1						1
東京	99	4,477	1						1
神奈川	90	2,064						1	1
静岡	40	1,080	1						1
愛知	75	2,022	1						1
大阪	78	2,233		1					1
兵庫	62	1,610	1						1
奈良	16	467	2						2
広島	43	859	1						1
福岡	54	1,395	2						2
長崎	23	394	1						1
大分	20	379	1	1					2
宮崎	19	481		1					1
計	1,563	39,111	13	4	0	0	1	1	19
死者数(人)			39	16	0	0	7	9	71

ア 火災種別別発生状況

火災種別についてみると「建物火災」によるものが18件68人、「航空機火災」によるものが1件3人となっている(第17表)。

第17表 1件で3人以上の死者を出した火災の火災種別別発生状況

(平成27年中)(単位:件、人)

火災種別		区分	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	計
建物火災	全焼		10 (30)	2 (8)			1 (7)	1 (9)	14 (54)
	半焼		1 (3)	2 (8)					3 (11)
	部分焼		1 (3)						1 (3)
	ぼや								0 (0)
航空機火災			1 (3)						1 (3)
その他の火災									0 (0)
合計			13 (39)	4 (16)	0 (0)	0 (0)	1 (7)	1 (9)	19 (71)

(注)( )は、死者数を表す。

イ 時間帯別発生状況

時間帯別にみると、「2時台、3時台」が最も多く12人、次いで「0時台、5時台、21時台」が6人となっており、これを昼夜別にみると、夜間における死者は80人で死者の84.5%を占め、就寝時間帯に多くの死者が発生している(第18表)。

第18表 1件で3人以上の死者を出した火災の時間帯別発生状況

(平成27年中)

区分	時間帯	0～	1～	2～	3～	4～	5～	6～
出火件数 (件)		2	1	2	4	1	2	0
死者数 (人)		6	3	12	12	4	6	0
区分	時間帯	7～	8～	9～	10～	11～	12～	13～
出火件数 (件)		0	1	0	1	1	0	0
死者数 (人)		0	4	0	3	4	0	0
区分	時間帯	14～	15～	16～	17～	18～	19～	20～
出火件数 (件)		0	0	0	0	0	0	1
死者数 (人)		0	0	0	0	0	0	7
区分	時間帯	21～	22～	23～	不明	計		
出火件数 (件)		2	0	1	0	19		
死者数 (人)		6	0	4	0	71		



ウ 建物用途別、階層別発生状況

建物用途別にみると、「住宅」での死者が46人で最も多く建物火災全体の70.8%を占めている。死者の発生した階層別にみると、1階における死者が50.8%(33人)を占めている(第19表)。

第19表 1件で3人以上の死者を出した建物火災の建物用途別、階層別の死者発生状況

(平成27年中)(単位:件、人)

区 分	出火件数 (件)	死 者 数 (人)								
		合 計	一般 住宅	共同 住宅	併用 住宅	飲食店	旅館 ホテル	工場 作業所	複合 用途 特定	その他
			住 宅							
屋外		0								
地下1階		0								
地上1階	7	33	24	3			1	4	1	
2階	9	27	12		4	3	7		1	
3階	1	4		3					1	
4階		0								
5階以上		0								
不明	1	1					1			
合計	18	65	36	6	4	3	9	4	3	0
			46							

(注) 出火件数の階は出火階を示す。

(12) 出火原因別の死者発生状況

出火原因別の死者発生状況をみると、最も多いのは「放火」で324人、次いで「たばこ」の145人、「ストーブ」の99人となっている。なお、死者発生状況を年齢層別で見ると、「たばこ」、「ストーブ」、「こんろ」、「配線器具」、「灯火」、「たき火」、「マッチ・ライター」、「こたつ」、「火入れ」等を原因とする火災による死者は、高齢者層の割合が高くなる傾向にある(第20表)。

第20表 出火原因別の死者発生状況

(平成27年中)

区分	年齢																		計
	0~	6~	11~	16~	21~	26~	31~	36~	41~	46~	51~	56~	61~	65~	71~	76~	81~	不明	
放 火			2		5	10	13	18	27	28	37	32	24	48	36	25	18	1	324
た ば こ					1	2	1	1	1	7	10	11	12	35	17	21	26		145
ス ト ー ブ	1			2					5	4	3	7	5	9	7	18	38		99
放 火 疑 い	2	2	1		2	1	1	2	7	7	5	5	7	13	9	8	5	1	78
こ ん ろ					1	1	1		2	3	4	4	3	11	10	5	25		70
電 灯 ・ 電 話 線			1						4		3	4	2	2	4	3	9	1	33
配 線 器 具				1	2			1			1		5	3	2	7	10		32
灯 火						3				1	2	3	2	1	4	4	11		31
た き 火														2		4	19		25
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー					1					1	1	5	1	2	5		7		23
こ た つ												1			2	1	6		10
火 花				2	4		1	1				1			1				10
火 入 れ	1													1	1	2	5		10
溶 接 機									2			1		2	1	1			7
煙 突 ・ 煙 道													1			1	3		5
電 気 機 器										1		1					3		5
内 燃 機 関							1	2	1										4
排 気 管					1		1	1											3
焼 却 炉																1	1		2
電 気 装 置																1	1		2
火 あ そ び	1	1																	2
か ま ど																1			1
風 呂 か ま ど																	1		1
取 灰																	1		1
そ の 他				2			2	1	4		3	5	7	6	5	8	19	1	63
不 明 調 査 中	7	4	6	2	6	10	13	14	28	21	25	39	44	74	71	73	140		577
計	12	7	10	9	23	27	34	41	81	73	94	119	113	209	175	184	348	4	1,563

### 3 放火自殺者を除いた死者の実態について

平成27年中の放火自殺者(心中の道づれを含む。以下同じ。)を除いた火災による死者は、前年の1,269人に比べ55人減少して1,214人発生している(第1表、第1図)。

#### (1) 放火自殺者を除いた月別の死者発生状況

放火自殺者を除いた月別の死者発生状況を見ると、1月から3月、12月の4ヶ月の月平均149.3人は、年間の月平均101.2人を大きく上回っており、この期間で49.2%に当たる597人の死者が発生している。一般的にこの時季は、暖房器具等の火気を使用する機会が多く、空気も乾燥しているため火災が発生しやすく、それに伴って死者も多いものと考えられる(第21表及び第8図)。

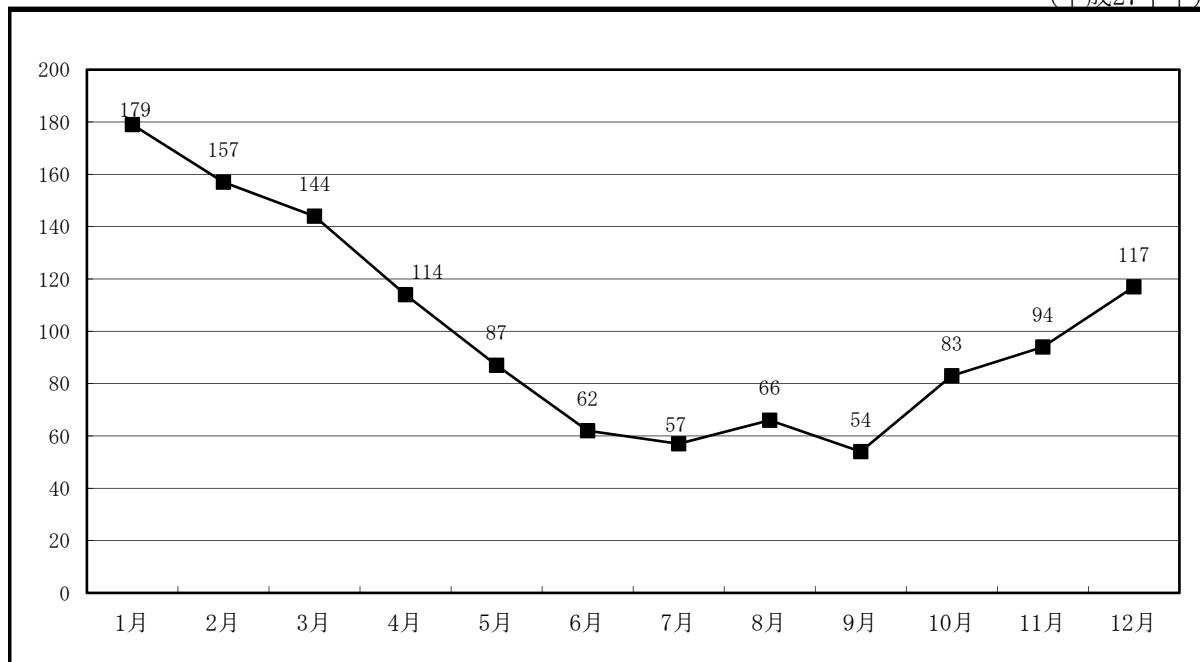
第21表 放火自殺者を除いた月別の死者発生状況

(平成27年中)

区分 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
死者(人)	179	157	144	114	87	62	57	66	54	83	94	117	1,214
割合(%)	14.7	12.9	11.9	9.4	7.2	5.1	4.7	5.4	4.4	6.8	7.7	9.6	100.0

第8図 放火自殺者を除いた月別の死者発生状況

(平成27年中)



## (2) 放火自殺者を除いた時間帯別の死者発生状況

放火自殺者を除いた時間帯別の死者発生状況をみると、「4時台」が70人と最も多く、次いで「2時台」が69人、「3時台」が68人となっている。一方、死者の発生が少ないのは、「13時台」の25人、「12時台」の29人、「16時台」の34人となっている(第22表、第9図)。

第22表 放火自殺者を除いた時間帯別の死者発生状況

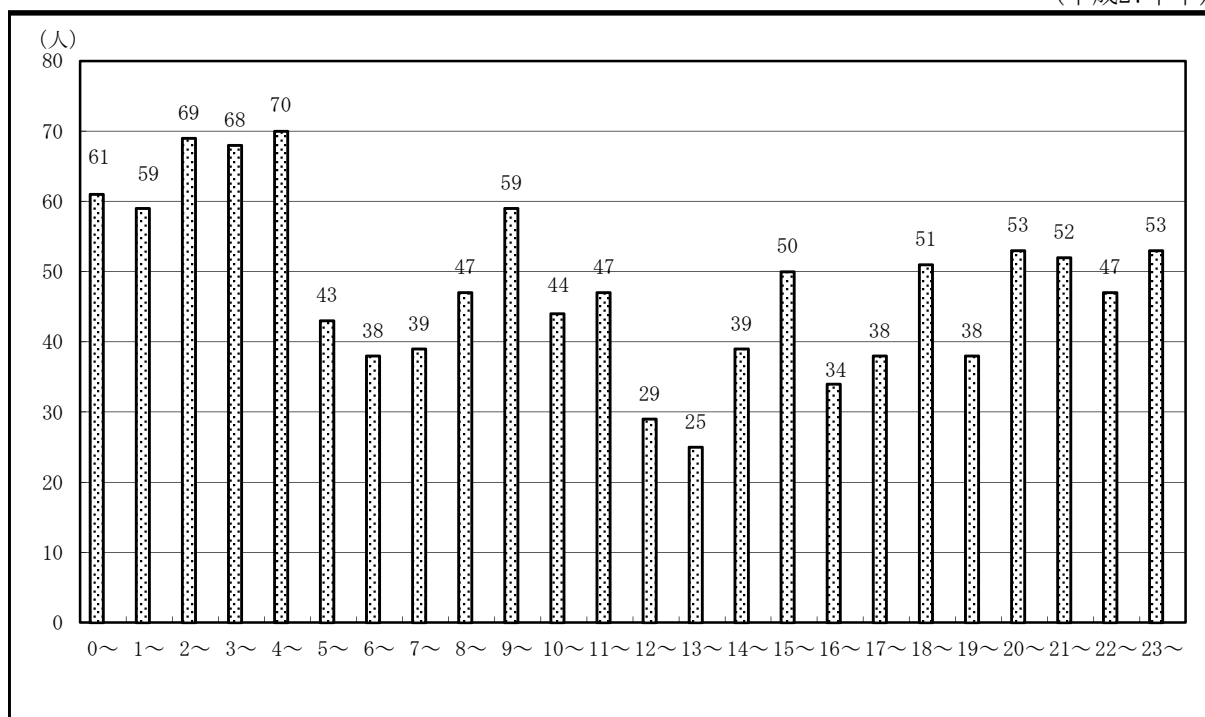
(平成27年中)

区分 \ 時間帯	0～	1～	2～	3～	4～	5～	6～	7～	8～	9～	10～	11～	12～
死者(人)	61	59	69	68	70	43	38	39	47	59	44	47	29
割合(%)	5.0	4.9	5.7	5.6	5.8	3.5	3.1	3.2	3.9	4.9	3.6	3.9	2.4

区分 \ 時間帯	13～	14～	15～	16～	17～	18～	19～	20～	21～	22～	23～	不明	計
死者(人)	25	39	50	34	38	51	38	53	52	47	53	61	1,214
割合(%)	2.1	3.2	4.1	2.8	3.1	4.2	3.1	4.4	4.3	3.9	4.4	5.0	100.0

第9図 放火自殺者を除いた時間帯別の死者発生状況

(平成27年中)



(注) 死亡時刻不明61名を除く。

### (3) 放火自殺者を除いた火災種別ごとの死者発生状況

放火自殺者を除いた火災種別ごとの死者発生状況をみると、「建物火災」による死者が1,092人で死者総数の9割を占めている。また、前年に比べ「車両火災」による死者(前年32人)が24人増加している。(第23表)。

第23表 放火自殺者を除いた死者の火災種別ごとの発生状況

(平成27年中)

区分	火災種別	計	建 物 火 災					林野 火災	車両 火災	船舶 火災	航空機 火災	その他 の火災
			全焼	半焼	部分焼	ぼや	不明					
死者数(人)		1,214	695	147	200	45	5	7	56	5	5	49
割合(%)		(100.0%)	1,092 (90.0%)					(0.6%)	(4.6%)	(0.4%)	(0.4%)	(4.0%)
死者の出た火災件数(件)		1,071	598	123	190	45	4	7	51	3	2	48
割合(%)		(100.0%)	960 (89.6%)					(0.7%)	(4.8%)	(0.3%)	(0.2%)	(4.5%)

#### (4) 放火自殺者を除いた建物用途別、階層別の死者発生状況

放火自殺者を除いた建物用途別の死者発生状況を見ると、「住宅」での死者が919人で全体の84.2%を占めていることから、住宅防火対策を一層推進していくことが重要である。放火自殺者を除いた建物階層別の死者発生状況を見ると、「1階」での死者が736人(67.4%)、「2階」が257人(23.5%)と「1階」と「2階」で全体の90.9%を占めている。また、「3階」以上での死者(69人)のうち、共同住宅での死者が42人、「複合用途特定」及び「複合用途非特定」での死者が19人で合わせて88.4%を占めている(第24表)。

第24表 放火自殺者を除いた建物用途別、階層別の死者発生状況  
(平成27年中)(単位:人)

区分 階層	計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	劇場	公会堂	キャバレー	遊技場	性風俗	カラオケボックス	料理店	飲食店	物品販売店舗	旅館ホテル	病院診療所	グループホーム	社会福祉施設	幼稚園
		住宅																
地下2階	0																	
地下1階	0																	
1階	736	580	66	10							2	1	1	1				
2階	257	122	62	16								3	1	7		1		
3階	37		21											1			1	
4階	12	1	6															
5階	9		6											1				
6階	4	1	2															
7階	1		1															
8階以上	6		6															
不明	30	16	3									1		1				
合計	1,092	720	173	26	0	0	0	0	0	0	2	5	2	11	0	1	1	0
(割合%)	(100.0)	(84.2)			(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.2)	(0.5)	(0.2)	(1.0)	(0.0)	(0.1)	(0.1)	(0.0)
平成26年	1,132	803	179	26	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3	4	0	0	0
(割合%)	(100.0)	(89.0)			(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.2)	(0.1)	(0.3)	(0.4)	(0.0)	(0.0)	(0.0)

区分 階層	学校	図書館	特殊浴場	公衆浴場	停車場	神社	工場作業所	スタジオ	車庫駐車場	航空機格納庫	倉庫	事務所	複合用途特定	複合用途非特定	地下街	準地下街	文化財	その他
	地下2階																	
地下1階																		
1階	1					1	7				2	2	3	10				49
2階							2						13	16				14
3階													10	3				1
4階							2						1	2				
5階													1	1				
6階														1				
7階																		
8階以上																		
不明											1			2				6
合計	1	0	0	0	0	1	11	0	0	0	3	2	28	35	0	0	0	70
(割合%)	(0.1)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.1)	(1.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.3)	(0.2)	(2.6)	(3.2)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(6.4)
平成26年	0	0	0	0	0	5	8	0	0	0	2	4	19	20	0	0	0	56
(割合%)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.4)	(0.7)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.2)	(0.4)	(1.7)	(1.8)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(4.9)

(注)1. 防火対象物(一般住宅、併用住宅及びその他を除く。)の区分は消防法施行令別表第1による区分であり、施設の名称はその例示である。

2. 階層は死者の発生した場所の存する階を示す。

(5) 放火自殺者を除いた建物構造別の死者発生状況

放火自殺者を除いた建物構造別の死者発生状況をみると、「木造」での死者が最も多く753人で69.0%を占め、次いで「耐火造」での死者が132人(12.1%)となっている。また、火災件数と死者数を建物構造別に火災件数100件当たりの割合で見ると、「木造」が7.2件(8.3人)と最も多く、次いで「防火造」が5.2件(5.7人)、「準耐火木造」2.7件(2.7人)となっている(第25、26表)。

第25表 放火自殺者を除いた建物構造別、焼損程度別、階層別の死者発生状況

(平成27年中)(単位:人)

焼損程度	階層別 構造	地下	地下	1階	2階	3階	4階	5階	6階	7階	8階	不明	計	
		2階	1階								以上			
全焼	木造			493	90							19	602	
	防火造			31	11							2	44	
	準耐火木造			3	1								4	
	準耐火非木造			4									4	
	耐火造			5	2								7	
	その他			21	9	1	1						2	34
	計		0	0	557	113	1	1	0	0	0	0	23	695
半焼	木造			45	34							1	80	
	防火造			14	19							2	35	
	準耐火木造				1								1	
	準耐火非木造			8	9	1							18	
	耐火造			2	4		2						8	
	その他			1	2		2						5	
計		0	0	70	69	1	4	0	0	0	0	3	147	
部分焼	木造			28	15							1	44	
	防火造			13	12				1				26	
	準耐火木造			1	2								3	
	準耐火非木造			7	8	2							17	
	耐火造			24	29	30	6	7	2	1	5		104	
	その他			4	1	1							6	
計		0	0	77	67	33	6	7	3	1	5	1	200	
ぼや	木造			23	2							2	27	
	防火造			4	1								5	
	準耐火木造												0	
	準耐火非木造			1	2								3	
	耐火造			3	2	2	1	2	1		1	1	13	
	その他			1	1								2	
計		0	0	32	8	2	1	2	1	0	1	3	50	
計	木造	0	0	589	141	0	0	0	0	0	0	23	753	
	防火造	0	0	62	43	0	0	0	1	0	0	4	110	
	準耐火木造	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	8	
	準耐火非木造	0	0	20	19	3	0	0	0	0	0	0	42	
	耐火造	0	0	34	37	32	9	9	3	1	6	1	132	
	その他	0	0	27	13	2	3	0	0	0	0	2	47	
	計	0	0	736	257	37	12	9	4	1	6	30	1,092	

第26表 放火自殺者を除いた死者の建物構造別による火災100件当たりの  
火災発生及び死者の状況

(平成27年中)(単位:件、人)

区分		構造別	木造	防火造	準耐火木造	準耐火非木造	耐火造	その他	計
火災 件数	出火件数		9,060	1,944	298	2,432	6,205	2,258	22,197
	放火自殺者を除いた死者を 伴った火災件数		656	102	8	31	122	41	960
	火災100件当たりの割合		7.2	5.2	2.7	1.3	2.0	1.8	4.3
死者 数	放火自殺者を除いた死者数		753	110	8	42	132	47	1,092
	火災100件当たりの割合		8.3	5.7	2.7	1.7	2.1	2.1	4.9



(6) 放火自殺者を除いた建物用途別、構造別の死者発生状況

放火自殺者を除いた建物用途別、構造別の死者発生状況をみると、「木造」のうち「住宅」での死者が665人（一般住宅604人、共同住宅44人、併用住宅17人）で88.3%を占めている。また、「防火造」のうち「住宅」での死者は98人（一般住宅70人、共同住宅27人、併用住宅1人）で89.1%となっている。

「住宅」における火災100件当たりの死者の割合を構造別にみると、「木造」、「防火造」において、ともに高い割合となっている（第27表）。

第27表 放火自殺者を除いた建物用途別、構造別の死者状況

(平成27年中)

区分	計	住宅			劇場	公会堂	キャバレー	遊技場	性風俗	カラオケボックス	料理店	飲食店舗待合	物品販売店舗	旅館・ホテル	病院・診療所	グループホーム	社会福祉施設	幼稚園	
		一般住宅	共同住宅	併用住宅															
木造	出火件数(件)	8,982	5,702	393	326	3	16	2	1	0	1	11	216	47	28	6	7	25	4
	死者(人)	753	604	44	17	0	0	0	0	0	0	2	5	9	1	1	1	1	1
	100件当たりの死者(人)	8.4	10.6	11.2	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	2.3	0.0	32.1	0.0	14.3	0.0	0.0
防火造	出火件数(件)	1,924	1,021	366	30	0	2	0	2	0	1	0	48	11	4	3	3	7	2
	死者(人)	116	70	27	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者(人)	5.7	6.9	7.4	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
準耐火木造	出火件数(件)	297	142	52	6	0	0	0	5	0	0	11	2	1	0	1	1	1	1
	死者(人)	8	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者(人)	2.7	4.2	1.9	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
準耐火非木造	出火件数(件)	2,423	275	282	46	0	4	5	24	0	3	3	73	89	7	2	9	9	2
	死者(人)	42	12	9	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者(人)	1.7	4.4	3.2	10.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
耐火造	出火件数(件)	6,189	225	2553	38	9	13	5	23	0	4	1	126	137	77	80	34	33	3
	死者(人)	132	8	85	2	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	0	1	1	0
	100件当たりの死者(人)	2.1	3.6	3.3	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	2.6	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0
その他	出火件数(件)	2,255	365	111	64	0	5	1	4	0	2	2	62	30	9	3	9	9	0
	死者(人)	47	20	7	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者(人)	2.1	5.5	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	出火件数(件)	22,076	7,730	3,757	510	12	40	13	59	0	11	17	536	316	126	94	54	84	12
	死者(人)	1,092	720	173	26	0	0	0	0	0	0	2	5	2	11	0	1	1	0
	100件当たりの死者(人)	4.9	9.3	4.6	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	0.9	0.6	8.7	0.0	1.9	1.2	0.0

区分	計	学校	図書館	特殊浴場	公衆浴場	停車場	神社	工場・作業場	スタジアム	車庫・駐車場	航空機・格納庫	倉庫	事務所	複合用途特定	複合用途非特定	地下街	準地下街	文化財	その他
死者(人)	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	2	13	13	0	0	0	52
100件当たりの死者(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	1.1	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	1.4	12.6	0.0	0.0	0.0	3.7
防火造	出火件数(件)	2	0	0	0	2	0	59	0	1	0	15	24	96	140	0	0	0	85
	死者(人)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	6	6	0	0	0	2
	100件当たりの死者(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4
準耐火木造	出火件数(件)	2	0	0	0	0	0	19	0	0	0	4	6	14	11	0	0	0	18
	死者(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
準耐火非木造	出火件数(件)	15	0	1	0	1	8	787	9	12	3	136	129	150	74	0	0	0	265
	死者(人)	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	7	3	3	0	0	0	0	2
	100件当たりの死者(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8
耐火造	出火件数(件)	147	6	1	4	22	6	188	4	12	1	39	295	1510	392	4	0	3	194
	死者(人)	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	13	13	0	0	0	4
	100件当たりの死者(人)	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.9	3.3	0.0	0.0	0.0	2.1
その他	出火件数(件)	8	0	0	2	1	6	357	4	15	0	164	157	73	36	0	0	0	765
	死者(人)	0	0	0	0	0	0	2	1	3	0	10	10	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	50.0	6.7	0.0	6.4	6.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	出火件数(件)	181	7	2	7	32	79	1597	17	45	5	501	756	1982	756	4	0	5	2,723
	死者(人)	0	0	0	0	0	1	11	2	1	3	1	11	25	35	0	0	0	60
	100件当たりの死者(人)	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.7	11.8	2.2	60.0	0.2	1.5	1.3	4.6	0.0	0.0	0.0	2.2

(注) 1. 出火件数とは、建物火災件数から放火自殺者出火件数を除いたものをいう。  
 2. 防火対象物（一般住宅、併用住宅及びその他を除く。）の区分は消防法施行令別表第1による区分であり、施設の名称はその例示である。

### (7) 死因別の死者発生状況

放火自殺者を除いた死因別の死者発生状況をみると、「一酸化炭素中毒・窒息」による死者が501人で放火自殺者を除いた死者(1,214人)の41.3%を占め、次いで「火傷」による死者が487人で40.1%となっている。

第28表 放火自殺者を除く死因別の死者及び放火自殺者の発生状況

(単位:人、%)

区分 年	一酸化炭素 中毒・窒息	火傷	打撲 骨折等	その他	不明	小計	放火 自殺	合計
平成14年	581 (42.3)	623 (45.4)	5 (0.4)	37 (2.8)	126 (9.2)	1,372 (100.0)	863 [38.6]	2,235
平成15年	602 (42.0)	625 (43.6)	7 (0.5)	67 (4.7)	132 (9.2)	1,433 (100.0)	815 [36.3]	2,248
平成16年	589 (42.7)	590 (42.8)	9 (0.7)	53 (3.9)	139 (10.1)	1,380 (100.0)	624 [31.1]	2,004
平成17年	674 (43.2)	671 (43.0)	1 (0.0)	64 (4.1)	149 (9.6)	1,559 (100.0)	636 [29.0]	2,195
平成18年	626 (42.4)	687 (46.6)	2 (0.1)	57 (3.9)	103 (7.0)	1,475 (100.0)	592 [28.6]	2,067
平成19年	613 (42.9)	650 (45.5)	5 (0.3)	50 (3.5)	112 (7.8)	1,430 (100.0)	575 [28.7]	2,005
平成20年	610 (42.5)	628 (43.8)	5 (0.3)	47 (3.3)	144 (10.0)	1,434 (100.0)	535 [27.2]	1,969
平成21年	565 (43.0)	571 (43.5)	13 (1.0)	49 (3.7)	115 (8.8)	1,313 (100.0)	564 [30.0]	1,877
平成22年	559 (42.8)	531 (40.7)	3 (0.2)	63 (4.8)	149 (11.4)	1,305 (100.0)	433 [24.9]	1,738
平成23年	563 (41.8)	544 (40.4)	5 (0.4)	60 (4.5)	176 (13.1)	1,348 (100.0)	418 [23.7]	1,766
平成24年	535 (40.1)	581 (43.6)	4 (0.3)	67 (5.0)	147 (11.0)	1,334 (100.0)	387 [22.5]	1,721
平成25年	493 (38.3)	573 (44.5)	2 (0.2)	65 (5.0)	155 (12.0)	1,288 (100.0)	337 [20.7]	1,625
平成26年	473 (37.3)	596 (47.0)	10 (0.8)	47 (3.7)	143 (11.3)	1,269 (100.0)	409 [24.4]	1,678
平成27年	501 (41.3)	487 (40.1)	3 (0.2)	76 (6.3)	147 (12.1)	1,214 (100.0)	349 [22.3]	1,563

(注) 1( )内は構成比を示す。また、[ ]は火災による死者総数に対する放火自殺者の割合を示す。

第29表 建物構造別、焼損程度別、死因別の死者及び放火自殺者の発生状況

(平成27年中)(単位:人)

区分	全 焼								半 焼								部 分 焼							
	一酸化炭素中毒窒息	火傷	打撲・骨折	その他	不明	小計	放火自殺	合計	一酸化炭素中毒窒息	火傷	打撲・骨折	その他	不明	小計	放火自殺	合計	一酸化炭素中毒窒息	火傷	打撲・骨折	その他	不明	小計	放火自殺	合計
死者数	木造	244	230	0	35	93	602	33	635	46	25	1	8	80	11	91	22	14	4	4	44	22	66	
	防火造	21	19	0	2	2	44	5	49	13	18	2	2	35	3	38	16	7	3	0	26	10	36	
	準耐火木造	1	1	0	0	2	4	0	4	1	0	0	0	1	0	1	2	1	0	0	0	3	1	4
	準耐火非木造	2	2	0	0	4	1	0	5	12	1	4	1	18	2	20	10	5	0	2	0	17	3	20
	耐火造	2	5	0	0	7	0	0	7	3	4	0	1	8	1	9	58	36	2	3	5	104	12	116
	その他	14	13	0	2	5	34	0	34	1	2	2	0	5	1	6	5	1	0	0	0	6	0	6
計	284	270	0	39	102	695	39	734	76	50	0	9	12	147	18	165	113	64	2	12	9	200	48	248

区分	ぼ や								不 明								合 計							
	一酸化炭素中毒窒息	火傷	打撲・骨折	その他	不明	小計	放火自殺	合計	一酸化炭素中毒窒息	火傷	打撲・骨折	その他	不明	小計	放火自殺	合計	一酸化炭素中毒窒息	火傷	打撲・骨折	その他	不明	小計	放火自殺	合計
死者数	木造	5	15	0	2	1	23	13	36	1	2	0	1	4	0	4	318	286	0	42	107	753	79	832
	防火造	0	3	0	1	0	4	2	6	0	1	0	0	1	0	1	50	48	0	8	4	110	20	130
	準耐火木造	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	0	0	2	8	1	9
	準耐火非木造	2	0	0	0	1	3	3	6	0	0	0	0	0	0	0	26	8	0	6	2	42	9	51
	耐火造	6	5	0	2	0	13	3	16	0	0	0	0	0	0	0	69	50	2	5	6	132	16	148
	その他	0	2	0	0	0	2	2	4	0	0	0	0	0	0	0	20	18	0	4	5	47	3	50
計	13	25	0	5	2	45	23	68	1	3	0	0	1	5	0	5	487	412	2	65	126	1,092	128	1,220

(8) 死に至った経過と年齢別の死者発生状況

死に至った経過別の死者発生状況をみると、「逃げ遅れ」が591人で放火自殺者を除く死者総数(1,214人)の48.7%を占め、次いで「着衣着火」が87人で7.2%、「出火後再進入」が22人で1.8%となっている。「逃げ遅れ」の死者を詳しくみると、「病気・身体不自由」が131人で「逃げ遅れ」による死者(591人)の22.2%を占め、次いで「熟睡」が122人で20.6%と高い割合を示している(第30表)。次に、放火自殺者を除いた年齢別の死者発生状況をみると、高齢者の死者が多く、「81歳以上」が333人、次いで「76歳～80歳」が159人となっており、65歳以上の高齢者の死者(784人)が放火自殺者を除く死者総数(1,214人)の64.6%を占めている(第10図、第31表)。また、放火自殺者を除いた死者の年齢別の人口10万人当たりの死者発生状況をみても同様に、高齢者の死者発生の割合が非常に高くなっている(第11図)。高齢者人口は今後更に増加すると予想されるので、高齢者に対する火災予防対策をより一層推進することが必要である。

第30表 死に至った経過と年齢別の死者発生状況

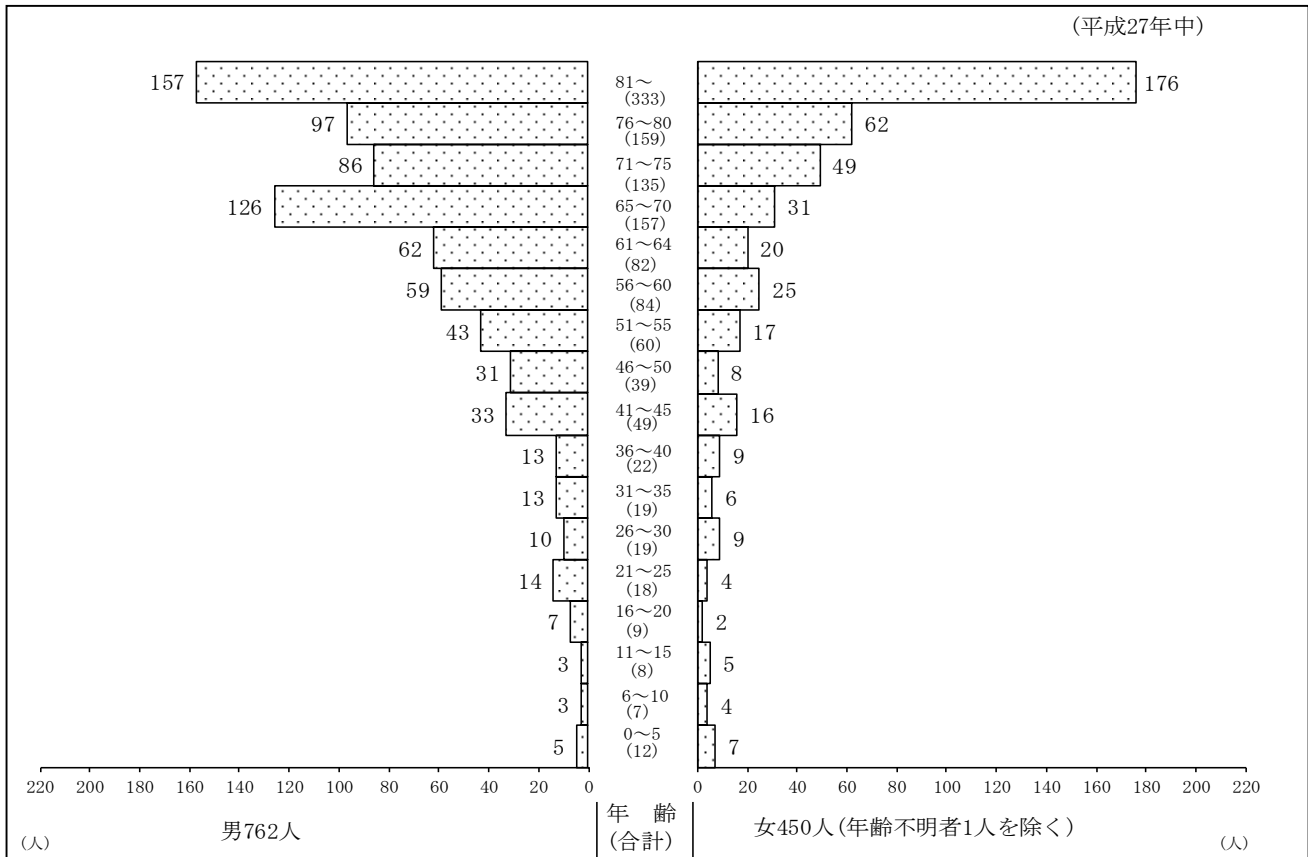
年 齢 区 分 等	逃 げ 遅 れ																							
	発見が遅れ、気付いた時は火煙が回り、既に逃げ道がなかったと思われるもの  〔全く気づかなかった場合を〕				判断力に欠け、あるいは、体力的条件が悪く、ほとんど避難できなかったと思われるもの				延焼拡大が早かった等のため、ほとんど避難できなかったと思われるもの				逃げれば逃げられたが、逃げる機会を失ったと思われるもの				避難行動を起こしているが、逃げきれなかったと思われるもの  〔一応自力避難したが、避難中、火傷、ガス吸引により、病院等で死亡した場合を含む。〕							
	熟睡	泥酔	病気・身体不自由	その他	乳児	泥酔	病気・身体不自由	老衰	その他	ガス爆発のため	危険物燃焼のため	その他	ろばいして	持出品・服装に気をとられ	火災をふれ回っているうち	消火しようとして	人を救助しようとしていて	その他	身体不自由のため	延焼拡大が早く	逃げ道を間違えて	出入口施錠のため	その他	
0～5	1				6							1												
6～10	1							1													1			
11～15	3						1														1			
16～20				1				1											1	1				
21～25	4							4		1										1		2		
26～30	3			1						1			1							1		2		
31～35	1			1				1		2	1													
36～40	1			2				1		3	1									2		3		
41～45	5	2	1	3						1	1						2	1	1	2		2		
46～50	3			2		1	1	1										1	1	1		4		
51～55	9					1	1			2		1								5		6		
56～60	13		1	2			5	1		1	2					2		3	3	4		3		
61～64	2	1	5	6			1	2				1	2		1		1	2	3	1	1	2		
65～70	24	1	7	9		1		1	2	1	1				6		2	5	12	1		7		
71～75	9	1	4	5		1	6		1		2	1	1		9		2	10	6			5		
76～80	10	1	5	7			7		1						6	2		9	11	2		8		
81～	33		6	12		1	19	3	2		1	9	1		12	1	7	29	26	3	2	19		
不明																								
合計	122	6	29	51	6	5	41	4	18	3	11	18	3	4	0	36	5	17	61	77	7	4	63	
(割合%)	208 (17.1)				74 (6.1)				32 (2.6)				65 (5.4)				212 (17.5)							
	591 (48.7)																							
平成26年	122	8	28	77	9	7	55	6	11	5	10	12	5	2	4	52	6	21	66	63	10	2	66	
(割合%)	235 (18.5)				88 (6.9)				27 (2.1)				90 (7.1)				207 (16.3)							
	647 (51.0)																							

(平成27年中) (単位:人)

出火後再進入		着 衣 着 火										自 損 ・ 殺 人		そ の 他		小 計		放 火 自 殺 者 ( 心 中 の 道 づ れ を 含 む )	合 計		
いったん、屋外へ避難後、再進入したと思われるもの。出火時屋外にいて出火後進入したと思われるもの		着衣着火し、火傷(熱傷)あるいはガス中毒により死亡したと思われるもの										放火自殺の巻き添え者		放火殺人の犠牲者		左記以外の経過等		不明・調査中		計	
救助・物品搬出のため	消火のため	その他	喫煙中	炊事中	採暖中(たき火を除く)	たき火中	火あそび中	その他火気取扱い中	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	
																	4	12		12	
																	4	7		7	
																	3	8	2	10	
																2	3	9		9	
											1	1				1	3	18	5	23	
																1		9	19	8	27
			1													1	11	19	15	34	
																	9	22	19	41	
																3	25	49	32	81	
1					1											2	20	39	34	73	
1	1										3	2				4	24	60	34	94	
	1	2							1	1						2	36	84	35	119	
1		1	1						1				1	2	44	82		31	113		
	1	2	1	1					1	3				2	66	157		52	209		
	2		1	1		1			2	4				3	58	135		40	175		
1	2	3		2	1	3			6	4	2	1	4	61	159		25	184			
	2		2	10	2	14			15	4	1	1	2	94	333		15	348			
																	2	2	2	4	
4	9	9	5	14	4	18	0	26	20	7	3	28	476	1,214			349		1,563		
22 (1.8)		87 (7.2)										10 (0.8)		504 (41.5)		100.0	[22.3]	100.0			
6	2	6	11	14	6	17	0	50	28	5	2	31	444	1,269			409		1,678		
14 (1.1)		126 (9.9)										7 (0.6)		475 (37.4)		100.0	[24.4]	100.0			

第10図 放火自殺者を除いた年齢別、性別の死者発生状況

(平成27年中)



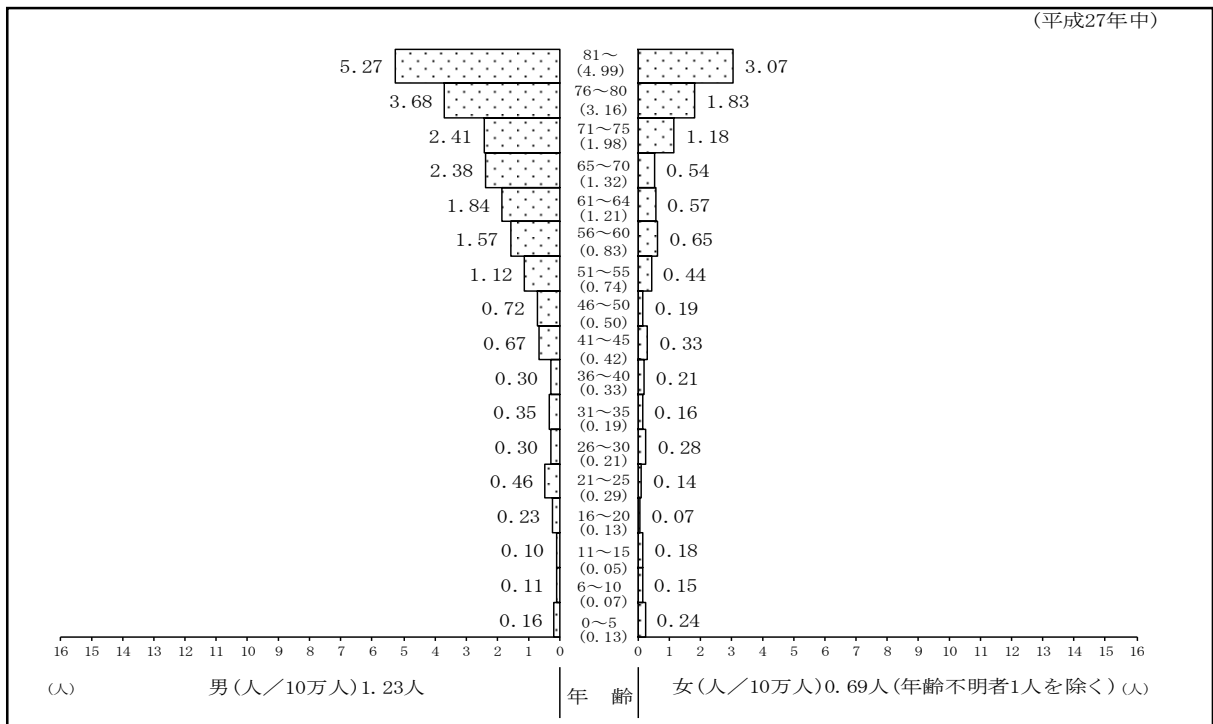
- (注)1 年齢性別不明者1人を除く。  
 2 ( )は、放火自殺者を除いた年齢別の死者数を示す。  
 3 人口は、国勢調査(平成27年10月1日現在)による。

第31表 放火自殺者を除いた乳幼児、高齢者の死者数の推移

年	区分	放火自殺者を除いた死者数(人)	乳幼児(5歳以下)			高齢者(65歳以上)		
			人口(千人)	死者数(人)	人口10万人当たりの死者数(人)	人口(千人)	死者数(人)	人口10万人当たりの死者数(人)
60年		1,089	9,055	86	0.95	16,620	505	3.04
61年		1,257	8,841	98	1.11	17,220	592	3.44
62年		1,086	8,668	66	0.76	18,014	522	2.90
63年		1,166	8,466	92	1.09	18,736	524	2.80
平成 元年		1,035	8,219	46	0.56	19,481	515	2.64
2年		1,108	7,931	72	0.91	20,218	526	2.60
3年		1,101	7,717	59	0.76	15,583	505	3.24
4年		1,203	7,551	65	0.86	16,242	539	3.32
5年		1,194	7,395	51	0.69	16,897	537	3.18
6年		1,274	7,308	67	0.92	17,586	556	3.16
7年		1,820	7,224	70	0.97	18,260	918	5.03
8年		1,267	7,183	64	0.89	19,017	657	3.45
9年		1,321	7,165	50	0.70	19,760	649	3.28
10年		1,206	7,155	66	0.92	20,510	572	2.79
11年		1,346	7,148	41	0.57	21,187	691	3.26
12年		1,302	7,108	44	0.62	22,005	645	2.93
13年		1,390	7,088	44	0.62	22,867	670	2.93
14年		1,372	7,067	32	0.45	23,629	683	2.89
15年		1,433	6,997	36	0.51	24,310	744	3.06
16年		1,380	6,904	39	0.56	24,878	726	2.92
17年		1,559	6,761	57	0.84	25,672	839	3.27
18年		1,475	6,671	41	0.84	26,601	826	3.27
19年		1,430	6,585	57	0.87	27,465	814	2.96
20年		1,434	6,520	17	0.26	28,217	864	3.06
21年		1,313	6,464	24	0.37	29,006	781	2.69
22年		1,305	6,464	27	0.42	29,006	783	2.70
23年		1,348	6,364	16	0.25	29,750	866	2.91
24年		1,334	6,342	12	0.19	30,792	839	2.72
25年		1,288	6,312	8	0.13	31,899	881	2.76
26年		1,269	6,258	16	0.26	32,999	866	2.62
27年		1,214	6,032	12	0.20	33,465	784	2.34

(注) 1 平成3年以降は高齢者を65歳以上としたデータである。  
2 人口は、国勢調査(平成27年10月1日現在)による。

第11図 放火自殺者を除いた年齢別の人口10万人当たりの死者数



(注) 1 年齢性別不明者1名を除く。  
2 ( )は、放火自殺者を除いた年齢別人口10万人当たりの死者数を示す。  
3 人口は、国勢調査(平成27年10月1日現在)による。

(9) 高齢者、身体不自由者等の建物用途別、階層別の死者発生状況

建物火災で発生した死者のうち、高齢者、身体不自由者及び病人であった833人について、建物用途別、階層別にみると、一般住宅における死者(発生階層不明を除く556人)の発生割合は、2階以上(74人)で13.3%であるが、共同住宅における死者の2階以上(78人)の発生割合は60.9%と多くなっている(第32表)。

第32表 高齢者、身体不自由者等の建物用途別、階層別の死者発生状況  
(平成27年中)(単位:人、%)

階層	建物用途	計	住宅			劇場	公会堂	キャバレー	遊技場	性風俗	ボウリング	料理店	飲食店	物品販売店舗	旅館・ホテル	病院等	グループホーム	社会福祉施設等
			一般住宅	共同住宅	併用住宅													
地下2階		0																
地下1階		0																
1階		599	482	50	9						2	1	1	1				
2階		168	73	47	10								1	6		1		
3階		24		13														1
4階		4		4														
5階		7		5										1				
6階		3	1	2														
7階		1		1														
8階以上		6		6														
不明		21	9	3								1						
計		833	565	131	19	0	0	0	0	0	2	2	2	8	0	1	1	
(割合%)		100.0	(85.8)	(15.7)	(2.3)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.2)	(0.2)	(0.2)	(1.0)	(0.0)	(0.1)	(0.1)		
平成26年		893	653	130	19	0	0	0	0	0	0	1	1	3	3	0	0	
(割合%)		100.0	(73.1)	(14.6)	(2.1)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.1)	(0.1)	(0.3)	(0.3)	(0.0)	(0.0)	

階層	建物用途	幼稚園等	学校	図書館	特殊浴場	公衆浴場	停車場	神社・寺院	工場・作業場	スタジアム	車庫・駐車場	航空機格納庫	倉庫	事務所	複合用途・特定	複合用途・非特定	文化財	その他
地下1階																		
1階								1	3				1	1	2	7		38
2階															8	13		9
3階															8	1		1
4階																		
5階															1			
6階																		
7階																		
8階以上													1					
不明																2		5
計		0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	2	1	19	23	0	53
(割合%)		(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.1)	(0.4)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.2)	(0.1)	(2.3)	(2.8)	(0.0)	(6.4)
平成26年		0	0	0	0	0	0	2	3	0	1	0	0	2	16	13	0	46
(割合%)		(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.2)	(0.3)	(0.0)	(0.1)	(0.0)	(0.0)	(0.2)	(1.8)	(1.5)	(0.0)	(5.2)

(注) 1. 防火対象物(一般住宅、併用住宅及びその他を除く。)の区分は、消防法施行令別表第1による区分であり、施設の名称はその例示である。  
2. 階層は死者の発生した場所の存する階を示す。

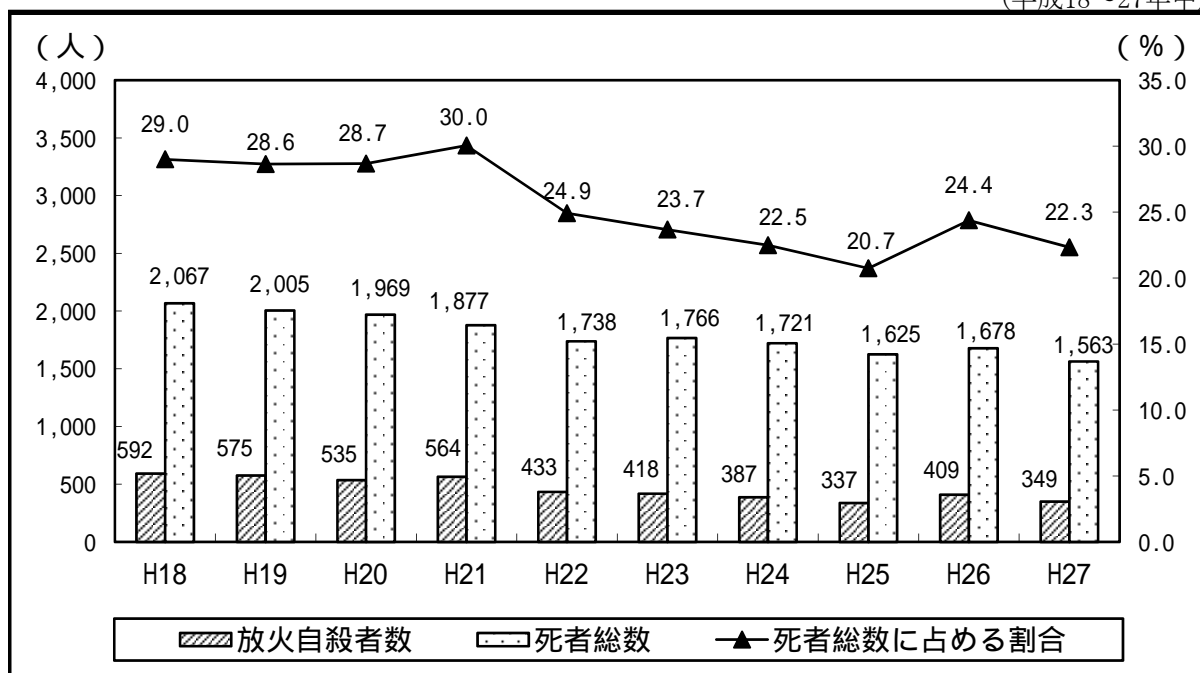


#### 4 放火自殺者の実態について

平成27年中の放火自殺者は349人で前年(409人)より60人減少している。また、死者総数(1,563人)に占める割合は、22.3%を占めている。過去10年間の傾向をみると平成21年、平成26年を除き前年を下回り、減少傾向を示している。(第2表、第12図)。都道府県別の放火自殺者は「千葉県」が30人と最も多く、次いで「愛知県」の20人となっている。(第2図)

第12図 過去10年間における放火自殺者の推移

(平成18～27年中)



#### (1) 放火自殺者の火災種別ごとの死者発生状況

放火自殺者を火災種別ごとにみると、「その他の火災」が166人(47.6%)で最も多く、次いで「建物火災」が128人(36.7%)、「車両火災」が54人(15.5%)となっている(第33表)。

第33表 火災種別ごとの放火自殺者数

(平成27年中)(単位:人)

建物火災		林野火災	車両火災	航空機火災	その他の火災	計
全焼	39					
半焼	18					
部分焼	48	1	54	0	166	349
ぼや	23					
不明	0					
小計	128					
割合(%)	36.7	0.3	15.5	0.0	47.6	100.0

## (2) 放火自殺者の月別、時間帯別の死者発生状況

放火自殺者の発生状況を月別にみると、「7月」が49人で最も多く、次いで「3月」が37人、「1月」が34人となっている(第34表、第13図)。また、時間帯別にみると、「4時台」が20人で最も多く、次いで「11時台」が19人、「7時台、18時台」が17人となっている(第35表、第14図)。

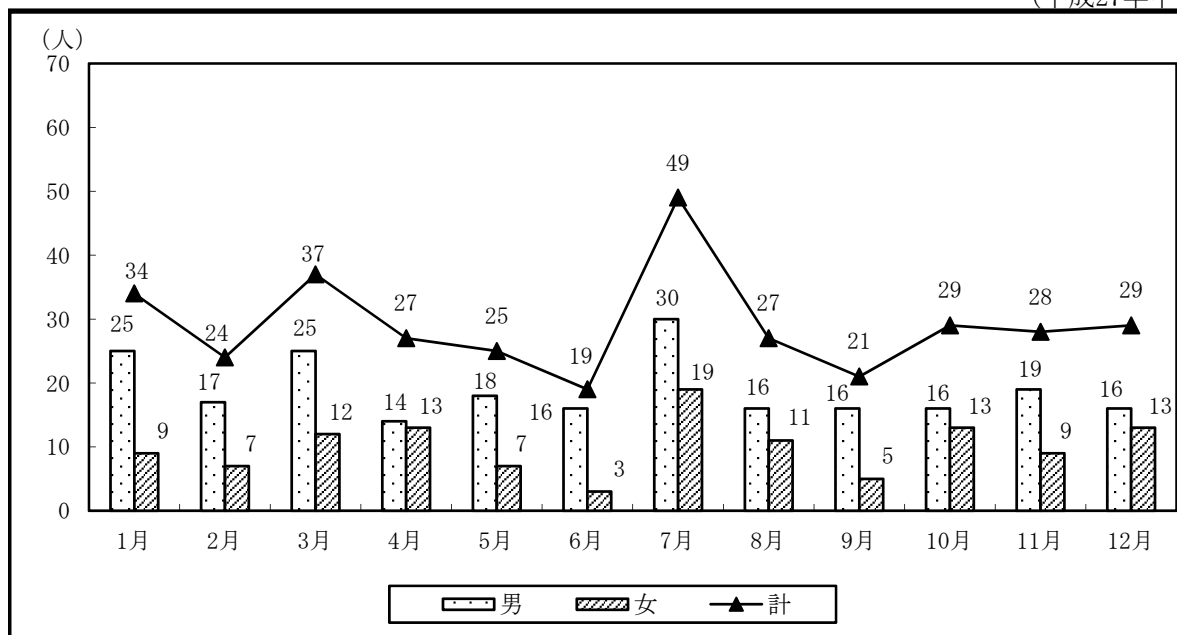
第34表 月別、年齢別、性別の放火自殺者数

(平成27年中)

年齢	月	性別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
0~5	男														0	0
	女														0	
6~10	男														0	0
	女														0	
11~15	男				1					1					2	2
	女														0	
16~20	男														0	0
	女														0	
21~25	男											2		2	4	5
	女												1	1	1	
26~30	男		1		1				2			1			5	8
	女		1		1					1					3	
31~35	男		1	2		1	2	1	1	1			2	1	12	15
	女				1	1								1	3	
36~40	男		2	1	1	1			3		2	2	1	1	14	19
	女					1			1			1		2	5	
41~45	男		1	1	2	2	1	1	2	1	5		2	1	19	32
	女			1	3	2	2		3	1			1		13	
46~50	男		1		2	3	1		3	1	2		4	1	18	34
	女		3	1	1	2	1	2	4	2					16	
51~55	男		5	1	4	1	1	4	2	1	1		4	1	25	34
	女		1	2	1				2		1	1	1		9	
56~60	男		4	3	2		6	1	1	2		1	1	3	24	35
	女		1	1	2	1	1			1		2	2		11	
61~64	男		2	1	4	3	2	2	1	1	1	3		1	21	31
	女		1	1		2	1		1	1	1	1	1		10	
65~70	男		1	4	4	1	3	2	6	4	2	5	2		34	52
	女		1		3	1		1	3	2		3	1	3	18	
71~75	男		6	2	2			3	5	1	1	2	1	2	25	40
	女		1			1	2		3	1	2		1	4	15	
76~80	男		1	1	1	1	1	2	3	3	1			2	16	25
	女			1		1			1			4	1	1	9	
81~	男			1	1		1		1				2	1	7	15
	女					1			1	2	1	1	1	1	8	
不明	男				1						1				2	2
	女														0	
計	男		25	17	25	14	18	16	30	16	16	16	19	16	228	
	女		9	7	12	13	7	3	19	11	5	13	9	13	121	
	性別不明														0	
	計		34	24	37	27	25	19	49	27	21	29	28	29	349	

第13図 月別の放火自殺者発生状況

(平成27年中)



第35表 時間帯別の放火自殺者発生状況

(平成27年中)

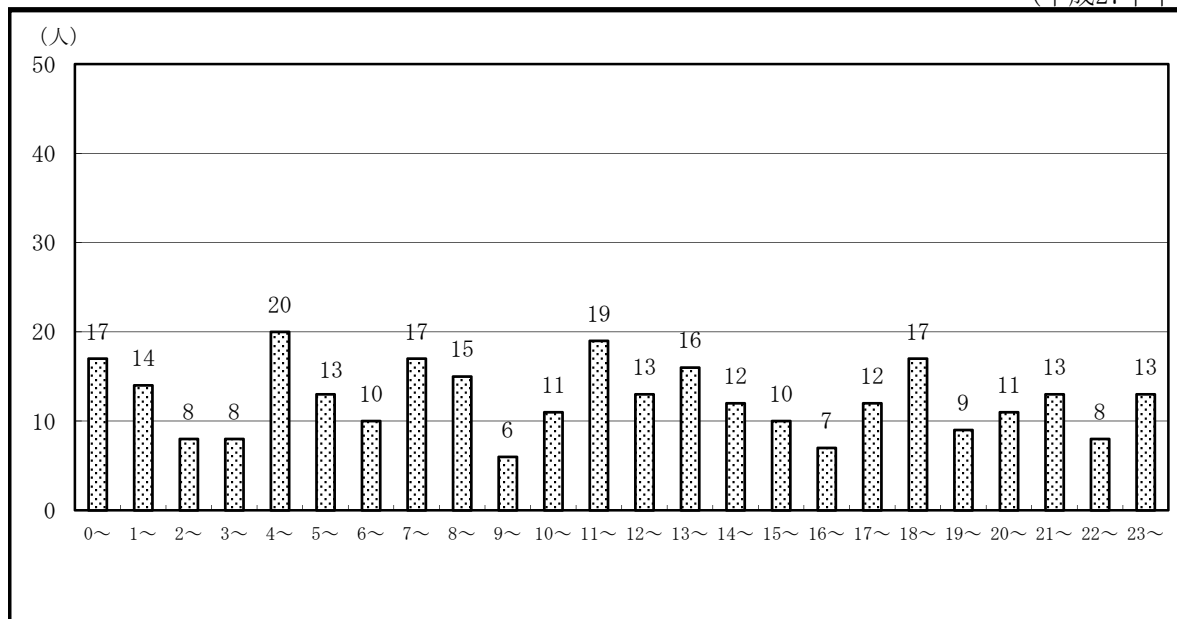
区分	時間帯	0～	1～	2～	3～	4～	5～	6～	7～	8～	9～	10～	11～	12～
死者(人)		17	14	8	8	20	13	10	17	15	6	11	19	13
割合(%)		4.9	4.0	2.3	2.3	5.7	3.7	2.9	4.9	4.3	1.7	3.2	5.4	3.7

時間帯	13～	14～	15～	16～	17～	18～	19～	20～	21～	22～	23～	不明	計
死者(人)	16	12	10	7	12	17	9	11	13	8	13	50	349
割合(%)	4.6	3.4	2.9	2.0	3.4	4.9	2.6	3.2	3.7	2.3	3.7	14.3	100.0

第14図 時間帯別の放火自殺者発生状況

(平成27年中)



(注) 時間帯不明の50名を除く。

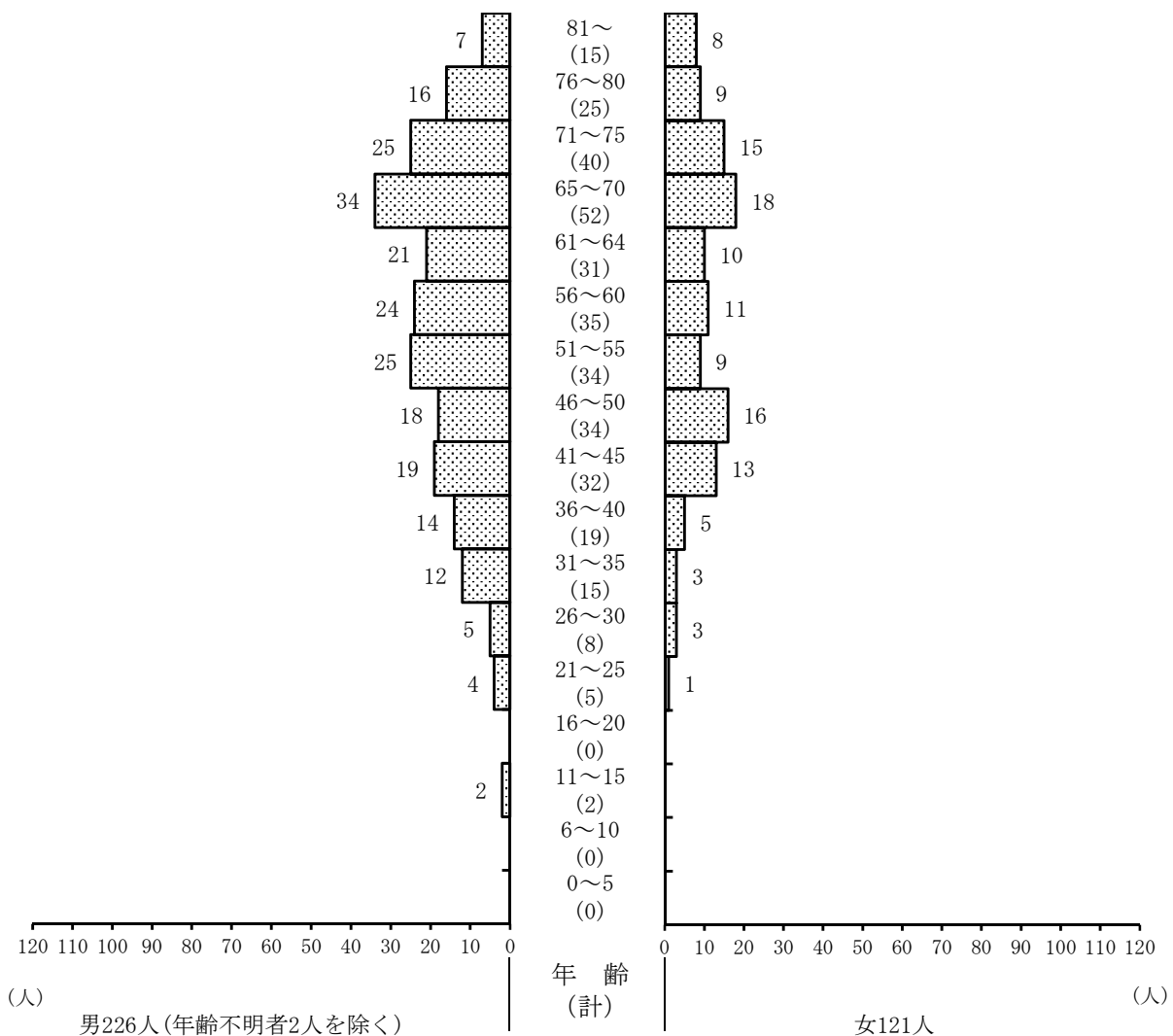
### (3) 放火自殺者の年齢別、性別の死者発生状況

放火自殺者の発生状況を年齢別にみると、「65～70歳」が52人(14.9%)、「71～75歳」が40人(11.5%)、「56～60歳」が35人(10.0%)及び「46～50歳、51～55歳」が34人(9.7%)となっており、性別では「男性」が226人(64.8%)、「女性」が121人(34.7%)と男性が女性を大きく上回っている。

年齢別、性別を併せてみると「65歳～70歳の男性」が34人で最も多く、次いで「51～55歳の男性、71～75歳の男性」が25人、「56～60歳の男性」の24人となっている(第15図)。

第15図 放火自殺者の年齢別、性別の死者発生状況

(平成27年中)



付表1 過去5年間の死者発生状況

区 分		年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
全 火 災	火災件数（件）	46,620	50,006	44,189	48,095	43,741	39,111	
	死者数（人）	1,738	1,766	1,721	1,625	1,678	1,563	
	火災100件当たり の死者数（人）	3.73	3.53	3.89	3.38	3.84	4.00	
	指数	100.0	94.7	104.5	90.6	102.9	107.2	
	人口10万人当たり の死者数（人）	1.37	1.39	1.36	1.27	1.31	1.22	
	指数	100.0	101.5	99.3	92.7	95.6	89.1	
建 物 火 災	火災件数（件）	27,137	26,795	25,583	25,053	23,641	22,197	
	死者数（人）	1,314	1,339	1,324	1,254	1,269	1,220	
	火災100件当たり の死者数（人）	4.84	5.00	5.18	5.01	5.37	5.50	
	指数	100.0	103.2	106.9	103.4	110.9	113.5	

(注) 平成7年1月1日から火災の定義が改められ、「爆発現象」も含まれることとされた

付表2 過去5年間の時間帯別の死者発生状況

区分 時間帯	死 者 数 (人)						割 合 (%)					
	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平 均	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平 均
0～	94	74	82	75	78	80.6	5.3	4.3	5.0	4.5	5.0	4.8
1～	86	94	80	74	73	81.4	4.9	5.5	4.9	4.4	4.7	4.9
2～	70	97	87	61	77	78.4	4.0	5.6	5.4	3.6	4.9	4.7
3～	94	85	98	80	76	86.6	5.3	4.9	6.0	4.8	4.9	5.2
4～	78	83	78	85	90	82.8	4.4	4.8	4.8	5.1	5.8	5.0
5～	87	78	71	78	56	74.0	4.9	4.5	4.4	4.6	3.6	4.4
6～	60	73	58	72	48	62.2	3.4	4.2	3.6	4.3	3.1	3.7
7～	68	52	53	50	56	55.8	3.9	3.0	3.3	3.0	3.6	3.3
8～	54	58	54	60	62	57.6	3.1	3.4	3.3	3.6	4.0	3.5
9～	64	62	43	52	65	57.2	3.6	3.6	2.6	3.1	4.2	3.4
10～	63	65	53	49	55	57.0	3.6	3.8	3.3	2.9	3.5	3.4
11～	54	59	57	58	66	58.8	3.1	3.4	3.5	3.5	4.2	3.5
12～	76	58	54	53	42	56.6	4.3	3.4	3.3	3.2	2.7	3.4
13～	55	74	57	60	41	57.4	3.1	4.3	3.5	3.6	2.6	3.4
14～	66	66	51	66	51	60.0	3.7	3.8	3.1	3.9	3.3	3.6
15～	73	68	56	67	60	64.8	4.1	4.0	3.4	4.0	3.8	3.9
16～	60	64	56	51	41	54.4	3.4	3.7	3.4	3.0	2.6	3.2
17～	56	53	71	50	50	56.0	3.2	3.1	4.4	3.0	3.2	3.4
18～	57	72	76	68	68	68.2	3.2	4.2	4.7	4.1	4.4	4.1
19～	63	70	59	75	47	62.8	3.6	4.1	3.6	4.5	3.0	3.7
20～	74	59	59	72	64	65.6	4.2	3.4	3.6	4.3	4.1	3.9
21～	64	59	60	52	65	60.0	3.6	3.4	3.7	3.1	4.2	3.6
22～	72	66	57	59	55	61.8	4.1	3.8	3.5	3.5	3.5	3.7
23～	78	52	58	73	66	65.4	4.4	3.0	3.6	4.4	4.2	3.9
不 明	100	80	97	138	111	105.2	5.7	4.6	6.0	8.2	7.1	6.3
計	1,766	1,721	1,625	1,678	1,563	1670.6	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

付表3 曜日別、時間帯別の死者発生状況

(平成27年中)(単位：人)

曜日 時間	日	月	火	水	木	金	土	不明	計
0～	10 (3)	14 (2)	8 (1)	15 (4)	10 (3)	13 (2)	8 (2)	0	78 (17)
1～	12 (1)	8 (1)	11 (3)	8 (3)	13 (4)	6 (1)	15 (1)	0	73 (14)
2～	25 (2)	14 (3)	12 (0)	8 (1)	6 (0)	6 (1)	6 (1)	0	77 (8)
3～	12 (2)	9 (0)	6 (0)	11 (3)	13 (0)	9 (1)	16 (2)	0	76 (8)
4～	15 (1)	16 (5)	12 (2)	7 (1)	18 (7)	7 (2)	15 (2)	0	90 (20)
5～	7 (2)	8 (2)	15 (2)	3 (1)	8 (2)	2 (2)	13 (2)	0	56 (13)
6～	4 (0)	5 (3)	7 (1)	12 (2)	6 (4)	5 (0)	9 (0)	0	48 (10)
7～	6 (2)	13 (5)	8 (1)	9 (4)	8 (1)	5 (2)	7 (2)	0	56 (17)
8～	13 (4)	7 (1)	6 (1)	6 (1)	12 (3)	12 (4)	6 (1)	0	62 (15)
9～	12 (1)	8 (2)	7 (1)	13 (0)	10 (1)	9 (1)	6 (0)	0	65 (6)
10～	9 (3)	8 (1)	6 (1)	10 (0)	7 (4)	7 (1)	8 (1)	0	55 (11)
11～	12 (3)	13 (4)	11 (4)	5 (1)	10 (3)	6 (1)	9 (3)	0	66 (19)
12～	6 (2)	1 (1)	9 (2)	8 (3)	4 (1)	8 (3)	6 (1)	0	42 (13)
13～	4 (1)	7 (5)	2 (1)	9 (2)	5 (2)	9 (5)	5 (0)	0	41 (16)
14～	9 (1)	5 (2)	9 (1)	9 (1)	7 (4)	5 (1)	7 (2)	0	51 (12)
15～	7 (3)	10 (1)	8 (0)	9 (1)	8 (2)	7 (0)	11 (3)	0	60 (10)
16～	7 (1)	10 (1)	1 (0)	3 (1)	7 (2)	3 (0)	10 (2)	0	41 (7)
17～	5 (3)	9 (0)	5 (1)	6 (1)	3 (0)	12 (4)	10 (3)	0	50 (12)
18～	15 (4)	7 (1)	10 (4)	12 (3)	7 (1)	11 (3)	6 (1)	0	68 (17)
19～	9 (1)	8 (1)	6 (2)	7 (2)	6 (0)	8 (3)	3 (0)	0	47 (9)
20～	11 (2)	15 (4)	3 (0)	7 (3)	11 (0)	13 (0)	4 (2)	0	64 (11)
21～	15 (3)	4 (2)	6 (1)	13 (2)	7 (2)	7 (1)	13 (2)	0	65 (13)
22～	6 (1)	8 (1)	10 (1)	5 (0)	6 (1)	10 (4)	10 (0)	0	55 (8)
23～	12 (0)	6 (2)	9 (0)	6 (1)	8 (2)	9 (4)	16 (4)	0	66 (13)
不明	13 (4)	12 (3)	18 (11)	8 (3)	16 (7)	6 (3)	12 (6)	26 (13)	111 (50)
計	256 (50)	225 (53)	205 (41)	209 (44)	216 (56)	195 (49)	231 (43)	26 (13)	1,563 (349)

(注) ( )は放火自殺者の数を内数で示す。

付表4 月別、年齢別、性別の死者発生状況

(平成27年中)(単位：人)

年齢	性別	月												計		
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
0～5	男	0	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	5	12
	女	1	1	1	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	7	
6～10	男	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3	7
	女	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	4	
11～15	男	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3	0	5	10
	女	0	0	2	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	5	
16～20	男	0	2	2	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	7	9
	女	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
21～25	男	0	6	0	0	4	0	2	0	0	2	1	3	18	23	
	女	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	5		
26～30	男	2	1	2	0	2	0	2	3	0	1	2	0	15	27	
	女	3	1	1	1	1	0	0	1	1	2	0	1	12		
31～35	男	3	5	1	1	3	2	2	1	1	0	4	2	25	34	
	女	1	0	1	2	0	0	1	1	0	0	1	2	9		
36～40	男	3	2	2	1	0	2	5	1	2	6	1	2	27	41	
	女	0	1	0	3	1	0	3	0	0	2	0	4	14		
41～45	男	4	4	7	9	3	3	4	2	6	1	5	4	52	81	
	女	3	3	6	3	2	0	3	1	2	1	5	0	29		
46～50	男	3	4	5	4	4	2	5	7	4	2	5	4	49	73	
	女	4	2	4	2	1	2	4	2	0	1	2	0	24		
51～55	男	12	9	8	3	3	9	4	4	1	2	8	5	68	94	
	女	3	6	3	0	0	1	3	3	2	1	2	2	26		
56～60	男	13	9	9	4	14	4	2	9	1	3	6	9	83	119	
	女	4	3	4	4	4	1	3	3	1	3	3	3	36		
61～64	男	7	13	11	11	5	6	5	5	3	6	6	5	83	113	
	女	2	5	2	5	1	1	3	3	1	2	3	2	30		
65～70	男	33	14	17	13	15	8	11	7	9	15	9	9	160	209	
	女	7	3	5	3	1	2	6	3	1	5	6	7	49		
71～75	男	16	13	11	7	8	7	6	7	10	9	8	9	111	175	
	女	9	4	8	7	6	0	3	2	5	5	4	11	64		
76～80	男	12	17	16	8	8	4	5	10	4	9	7	13	113	184	
	女	11	8	9	5	3	3	4	2	4	11	5	6	71		
81～	男	28	23	14	19	9	12	4	7	7	10	11	20	164	348	
	女	25	21	28	22	9	9	10	7	7	12	15	19	184		
不明	男	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	3	
	女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
計	男	136	123	106	83	79	61	59	64	50	66	76	87	990	1,563	
	女	77	58	75	58	33	20	46	29	25	46	46	59	572		
	性別不明	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1		
	計	213	181	181	141	112	81	106	93	75	112	122	146			



付表5 年齢別の死者発生状況

(平成27年中)

年齢・性別	区分	人口 (千人)	死者数 (人)	10万人当たりの 死者数 (人)
0～	男	3,086	5	0.16
	女	2,945	7	0.24
6～	男	2,722	3	0.11
	女	2,594	4	0.15
11～	男	2,940	5	0.17
	女	2,794	5	0.18
16～	男	3,088	7	0.23
	女	2,934	2	0.07
21～	男	3,044	18	0.59
	女	2,927	5	0.17
26～	男	3,349	15	0.45
	女	3,250	12	0.37
31～	男	3,763	25	0.66
	女	3,684	9	0.24
36～	男	4,361	27	0.62
	女	4,265	14	0.33
41～	男	4,907	52	1.06
	女	4,816	29	0.60
46～	男	4,282	49	1.14
	女	4,245	24	0.57
51～	男	3,855	68	1.76
	女	3,860	26	0.67
56～	男	3,758	83	2.21
	女	3,825	36	0.94
61～	男	3,372	83	2.46
	女	3,507	30	0.86
65～	男	5,297	160	3.02
	女	5,699	49	0.86
71～	男	3,574	111	3.11
	女	4,151	64	1.54
76～	男	2,637	113	4.29
	女	3,393	71	2.09
81～	男	2,978	164	5.51
	女	5,737	184	3.21
年齢不明	男	828	2	0.24
	女	625	1	0.16
計	男	61,842	990	1.60
	女	65,253	572	0.88
	性別不明	0	1	—
	計	127,095	1,563	1.23

(注) 人口は平成27年国勢調査人口等基本集計(総務省統計局)による。